

MUTOH
創造、大切にします

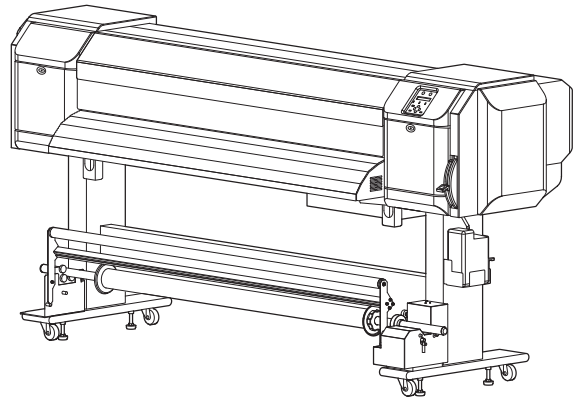
取扱説明書

**OPERATION
MANUAL**

Monochrome Marking Plotter

AR-9100

モノクロ・マーキングプロッタ



ご使用前に必ずお読みください

管理 No. AR9100-A-00

重要なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

1. 受信障害について

この製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。もしもこの製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダの方向を変えてみる
- この製品の使用方向を変えてみる
- 受信機とこの製品の距離を変えてみる
- この製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

2. 本書記載の商標

- MUTOH、Marking Jet、AR-9100、MH-GL、MH-GL2、は、武藤工業株式会社の商標および商品名です。
- 各社名、各機種名は、各社の商標もしくは商品名です。

注意

- 本製品および本書の内容の全部または一部を個人で使用する他は、著作権者である弊社の承諾を得ずに複写・複製・転載することを禁止します。
- 本製品や本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 本製品および本書を運用した結果につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

1. 本書の目的と対象者

本書は、武藤工業株式会社のモノクロ・マーキングプロッタ（AR-9100）の使用前の準備、操作等の方法について説明しています。

本書は、本製品を所有する人、使用するユーザーを対象として作成しています。本製品を使用する場合は、本書の内容および指示を理解した上で、作業を行ってください。

2. 本書の構成






セクション	内容
1 安全に関する事項	この章では、本製品を所有する人、および操作、保守を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。
2 製品の概要	この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。
3 使用前の準備	この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。
4 操作方法	この章では、本製品の操作方法について説明します。
5 保守	この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。
6 トラブルシューティング	この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。
7 付録	この章では、本製品の各仕様、オプション・サプライ用品、ユーザーサポートについて説明します。

注 記

- ・「1 安全に関する事項」～「3 使用前の準備」については、本製品の使用前に必ずお読みください。
- ・「4 操作方法」～「7 付録」については、必要に応じて各項目をお読みください。

3. 本書の表記について

本書では、情報の意味をわかりやすくするため、以下の記号を使用して表記しています。

記号	意味
 警告	回避しないと死亡または重傷を招く、可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注意	回避しないと軽傷または中程度の傷害を招く、可能性がある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用します。
注記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
参考	操作を行うときあるいは、装置に対する理解を深める上で参考になる事柄を示します。
	操作を行うときに参照する本文中の箇所を示します。

目次

1 安全に関する事項

1.1	はじめに	1-1
1.2	警告記号の種類と意味	1-1
1.3	安全遵守事項	1-2
1.4	警告ラベル	1-5
1.4.1	取扱い上の注意	1-5
1.4.2	貼付位置と種類	1-6

2 製品の概要

2.1	はじめに	2-1
2.2	特長	2-1
2.3	各部の名称と機能	2-2
2.3.1	正面部	2-2
2.3.2	背面部	2-4
2.3.3	操作パネル	2-5
2.3.4	巻取り操作パネル（オプション）	2-8
2.4	動作の概要	2-9
2.4.1	通常状態	2-9
2.4.2	設定メニュー表示状態	2-9
2.4.3	動作状態の切替え方法	2-10

3 使用前の準備

3.1	はじめに	3-1
3.2	電源ケーブルの接続	3-2
3.3	電源を ON/OFF する方法	3-7
3.3.1	電源を ON する方法	3-7
3.3.2	電源を OFF する方法	3-8
3.4	インクカートリッジの取付け	3-10
3.5	用紙の取付け	3-14
3.5.1	ロール紙の取付け	3-14
3.5.2	ロール紙のセット方法	3-19
3.5.3	巻取り装置（オプション）の使用法	3-24
3.5.4	用紙種類の設定手順	3-29

3.6	テスト作画	3-31
3.6.1	ノズルチェック	3-34
3.6.2	設定内容作画	3-35
3.7	画質微調整	3-36
3.8	コンピュータとの接続	3-44
3.8.1	接続ケーブルの準備	3-44
3.8.2	ネットワーク・インターフェイスクーブルの接続	3-45

4 操作方法

4.1	はじめに	4-1
4.2	作画フロー	4-1
4.3	用紙について	4-2
4.3.1	用紙種類	4-2
4.3.2	用紙の取扱上の注意	4-3
4.3.3	用紙の保管時の注意	4-4
4.3.4	作画領域	4-4
4.3.5	ヘッド高さ調整	4-5
4.3.5.1	ヘッド高さを高くする場合	4-5
4.3.5.2	ヘッド高さを元に戻す場合	4-7
4.3.6	用紙送り補正	4-9
4.3.6.1	用紙送り補正值の調整手順	4-9
4.3.6.2	用紙を強く固定する方法	4-13
4.4	操作パネルのメニュー設定	4-14
4.5	設定メニュー	4-17
4.5.1	用紙種類メニュー	4-19
4.5.1.1	ユーザ用紙メニュー	4-19
4.5.1.1.1	作画モードメニュー	4-20
4.5.1.1.2	用紙送り補正メニュー	4-21
4.5.1.1.3	吸着ファンメニュー	4-22
4.5.1.1.4	インク量メニュー	4-22
4.5.1.1.5	インク乾燥時間メニュー	4-23
4.5.1.1.6	紙浮き防止メニュー	4-23
4.5.1.1.7	送り量メニュー	4-23
4.5.1.1.8	先端フィードメニュー	4-24
4.5.2	ペン設定メニュー	4-24
4.5.2.1	ペン設定項目で「パネル」に設定した場合	4-24
4.5.3	コマンド設定メニュー	4-25
4.5.4	レイアウト設定メニュー	4-26
4.5.5	機能設定メニュー	4-26
4.5.6	サイドマージンメニュー	4-27
4.5.7	メディア検出メニュー	4-27
4.5.8	メディア幅メニュー	4-27
4.5.9	巻取り装置メニュー	4-28
4.5.10	パワーオンクリーニングメニュー	4-28
4.5.11	原点設定メニュー	4-29

4.5.12	メディアカットメニュー	4-30
4.5.13	カットエラーチェックメニュー	4-30
4.5.14	CR 作画移動幅メニュー	4-31
4.5.15	重ね描き回数メニュー	4-31
4.5.16	重ね描きウェイトメニュー	4-31
4.5.17	斜行チェックメニュー	4-32
4.5.18	オートクリーニングメニュー	4-32
4.5.18.1	待機オートクリーニングメニュー	4-32
4.5.18.2	作画中オートクリーニングメニュー	4-33
4.5.18.3	作画開始前オートクリーニングメニュー	4-33
4.5.19	インク残量メニュー	4-33
4.5.20	ロール紙長さ設定メニュー	4-34
4.5.20.1	ロール紙長さ設定メニュー	4-34
4.5.21	ヘッド洗浄メニュー	4-35
4.5.22	カッター交換メニュー	4-35
4.5.23	初期化メニュー	4-36
4.5.24	寿命確認メニュー	4-37
4.5.25	IP アドレスメニュー	4-37
4.5.26	サブネットマスクメニュー	4-38
4.5.27	ゲートウェイメニュー	4-38
4.5.28	MAC アドレスメニュー	4-38
4.6	テスト作画メニュー	4-39
4.7	調整作画メニュー	4-40
4.8	クリーニングメニュー	4-41
4.9	簡易選択メニュー	4-42
4.10	バージョンメニュー	4-44
4.11	操作パネルからの各種操作	4-45
4.11.1	用紙送り	4-45
4.11.2	作画の中断	4-46
4.11.3	用紙のカット	4-47
4.11.4	用紙のマニュアルカット	4-48
4.11.5	作画の一時停止	4-50
5	保守	
5.1	はじめに	5-1
5.2	消耗品の交換	5-2
5.2.1	インクカートリッジの交換	5-2
5.2.2	ロール紙の交換	5-6
5.2.3	カッターの交換	5-10
5.3	清掃	5-19
5.3.1	製品外装の清掃	5-20
5.3.2	製品内部の清掃	5-21
5.3.3	ヘッドクリーニング	5-24

5.4	廃液の処理	5-25
5.5	輸送・移動	5-27
5.5.1	移動の方法	5-27
5.5.2	輸送の方法	5-29

6 トラブルシューティング

6.1	はじめに	6-1
6.2	製品の異常・故障	6-2
6.2.1	設置・導入時のトラブル	6-2
6.2.2	全く作画しない場合	6-2
6.2.3	用紙に関するトラブル	6-4
6.2.4	作画に関するトラブル	6-7
6.3	表示の詳細	6-9
6.3.1	動作状態表示	6-9
6.3.2	メッセージ型エラー表示と対処方法	6-11
6.3.3	データエラー表示と対処方法	6-12
6.3.4	コマンドエラー表示と対処方法	6-13
6.3.5	再起動が必要なエラー	6-14
6.4	用紙が詰まった場合	6-15

7 付録

7.1	はじめに	7-1
7.2	製品仕様	7-2
7.3	インターフェイス仕様	7-3
7.3.1	ネットワーク・インターフェース仕様	7-3
7.4	オプション・サプライ用品リスト	7-4
7.4.1	オプション類	7-4
7.4.2	サプライ用品	7-4
7.5	改訂履歴	7-5

1 安全に関する事項

1.1	はじめに	1-1
1.2	警告記号の種類と意味	1-1
1.3	安全遵守事項.....	1-2
1.4	警告ラベル	1-5
1.4.1	取扱い上の注意	1-5
1.4.2	貼付位置と種類	1-6

1 安全に関する事項

1.1 はじめに

この章では、本製品の操作を行う人が知っておかなければならない警告記号の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。



- 本製品の操作を行う場合は、必ず本書の指示・警告に従ってください。
-

1.2 警告記号の種類と意味












取扱説明書に記載している警告表示、および製品本体に貼り付けてある警告ラベルの内容を危険度の高さ（または事故の大きさ）に応じて、次の3段階に分類しています。以下の、警告記号が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告記号	意味
	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。
	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。

1.3 安全遵守事項

本製品を安全に使用するために、守らなければならない一般的な注意事項について説明します。

警告

-  本装置を以下の場所には設置しないでください。転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
 - ぐらついた台の上
 - 傾いている場所
 - 他の機械等の振動が伝わる場所
-  本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。転倒・転落によりけがをする恐れがあります。
-  毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本体内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。
-  湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。感電・火災の恐れがあります。
-  破損した電源ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因になります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
 - 引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
 - 落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
 - 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
-  通風口などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
-  異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「7.5.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。
-  必ず同梱品の電源ケーブルを使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
-  必ず指定の電源（AC100V～AC120VまたはAC220V～240V）を使用してください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



電源コンセント（AC100V～AC120VまたはAC220V～240V）から直接電源を取ってください。タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。



電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

注意



電源ケーブルを取扱う場合は、以下の点に注意してください。

- 電源ケーブルを加工しないこと。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
- 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。



電源プラグを取扱う場合は、以下の事項に注意してください。取扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差込む



インクカートリッジを取扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



インクカートリッジを分解しないでください。分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。



フロントカバー開閉時には、指を挟まないように注意してください。



ロール紙をカットする場合は、以下の事項に注意してください。取扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。

- 用紙を押える場合は、用紙カット溝の上に指を乗せない
- カッターは用紙カット溝に沿ってゆっくり動かす



シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。塗装を傷める原因となります。



製品内部に水気が入らないように注意してください。製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。



ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。感電または故障する恐れがあります。



カッターの刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。



カッターの刃先を硬いものに当てたり、カッターを落としたりしないでください。カッター刃が傷ついたり、欠けたりする恐れがあります。



廃液チューブは、折り曲げたり引っ張ったりしないでください。廃液が漏れて、製品が故障する恐れがあります。



製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。製品内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。



本製品の開梱または組立を行う場合は、必ず4人以上で作業してください。



本製品を移動させる場合は、必ず2人以上で作業してください。



本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線
- D 種接地工事を行っている接地端子



清掃を行うときは、必ず電源を OFF して、電源プラグをコンセントから抜いてください。



製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。

1.4 警告ラベル

警告ラベルの取扱い、貼付位置、種類について説明します。
本製品には、特に注意を要する個所に警告ラベルが使用されています。これらの正確な位置および危険の内容について、十分に理解をしたうえで作業を行ってください。

1.4.1 取扱い上の注意

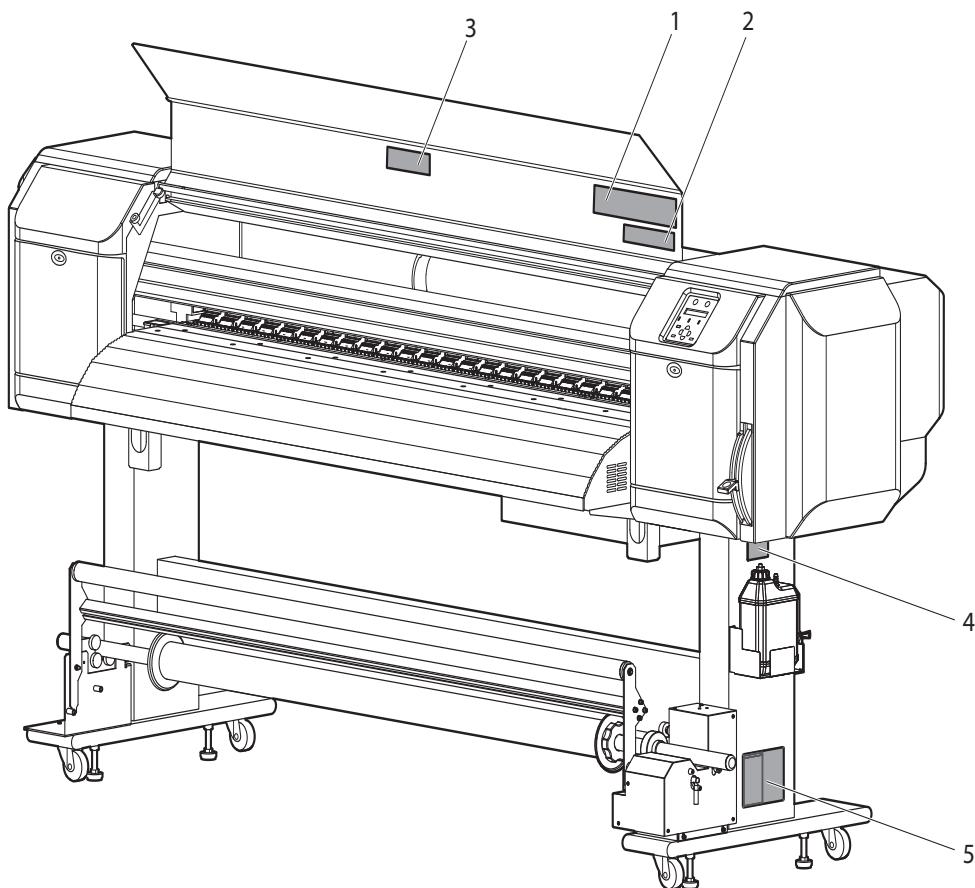
警告ラベルを取扱うときは、以下の点に注意してください。


注 記

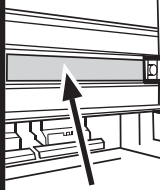
- 警告ラベルの内容がすべて読めるか確認してください。文字やイラストが見えない場合は、ラベルの汚れを落とすか交換してください。
 - 警告ラベルの汚れ落としには、布、水、中性洗剤を使用してください。有機溶剤やガソリンなどは使用しないでください。
 - 警告ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、ラベルを交換する必要があります。警告ラベルの交換が必要な場合は、「7.5.1 製品に関するお問い合わせ窓口」にご連絡ください。
-

1.4.2 貼付位置と種類

警告ラベルの貼付位置を下図に示します。



番号	警告ラベル種類
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">⚠ CAUTION / ATTENTION / 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Do not give a direct wind from a fan or air conditioner to the machine. ※ A wind may dry the ink in the head nozzles causing clogging that affects ink jetting, and you will not be able to obtain satisfactory printing results. ◆ Normal cleaning should be done once a week if the printer is not used for a long period. ※ If the printer is left without cleaning, the ink will be hardened inside the head nozzle, and may cause the head trouble. ◆ Do not open the front cover while printing. Moreover, do not touch the media while printing. Good printing result might not be obtained. ※ Please remove the media and hold the lever up when not using for a long time. Due to the environment conditions, media float and wrinkle might happen that does not obtain the good result. ◆ Paper guides, platen and paper holding plate will become hot due to the heater temperature setting. Beware of being burned. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Ne pas exposer directement l'imprimante aux courants d'air des appareils de ventilation ou de climatisation. ※ Un courant d'air peut affecter la projection d'encre, empêchant ainsi l'obtention d'une qualité d'impression satisfaisante; ou entraîner un dysfonctionnement de la tête d'impression, suite à l'assèchement de l'encre à l'intérieur des buses. ◆ Si vous n'utilisez pas l'imprimante durant une longue période, effectuez un nettoyage normal une fois par semaine. ※ Si vous ne le faites pas, cela pourrait entraîner un dysfonctionnement de la tête d'impression, suite à l'assèchement de l'encre à l'intérieur des buses. ◆ Ne pas ouvrir le capot frontal en cours d'impression. De plus, en cours d'impression, ne pas introduire vos mains par les ouvertures, et ne pas toucher au papier. Vous pourriez vous blesser, ou ne pas obtenir une qualité d'impression satisfaisante. ※ Si vous n'imprimez pas durant une longue période, retirez le papier, et maintenez le levier en position haute. À défaut, vous risquez de ne pas obtenir une qualité d'impression satisfaisante. ◆ Le réglage de la température du chauffe-eau, papier - depuis le guide, platine, papier plaque de pression est une température élevée, il peut provoquer des brûlures. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 直接機械に送風機や空調装置の風を当てないで下さい。 ※ 風によりヘッドノズル内のインクが固まりヘッド故障の原因になったり、インクの吐出に影響を与え、満足な印刷結果が得られないことがあります。 ◆ 長期印刷を使用しない場合は、週に一度ノズルクリーニングを行ってください。 ※ クリーニングを行わずに放置すると、ヘッドノズル内でインクが固まりヘッド故障の原因となります。 ◆ 作業中はフロントカバーを開けないでください。また、作業中は開口部から手を入れたり用紙に触れないでください。思わぬケガをしたり、良好な作業結果が得られないことがあります。 ※ 長時間作業を行わない時は、用紙を外しホールドレバーをアップ状態にしてください。良好な作業結果が得られないことがあります。 ◆ ヒーターの温度設定により、ペーパーガイド、プラテン、用紙押えプレートが高温となるため、火傷をする恐れがあります。 </div>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 2px 5px; border: 1px solid black;">⚠ CAUTION</div> <div style="background-color: yellow; padding: 2px 5px; border: 1px solid black;">⚠ ATTENTION</div> <div style="background-color: yellow; padding: 2px 5px; border: 1px solid black;">⚠ 注意</div> </div> <p style="font-size: small;">Do not insert your fingers the cutting blade inside may injure your fingers.</p> </div> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p style="font-size: small;">N'introduisez pas vos doigts. La lame racleuse qui est à l'intérieur peut vous blesser.</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p style="font-size: small;">カッター刃でけがをする可能性がありますので、指を入れないでください。</p> </div> </div>

番号	警告ラベル種類										
3	<div data-bbox="564 309 1091 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">⚠ CAUTION / ATTENTION / 注意</p>  <p>Steel belt Bande métallique スチールベルト</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Sharp Edges. Do not touch steel belt. ※ You may be injured. ◆ Ne pas toucher les bords de la bande métallique, car ceux-ci sont tranchants. ※ Vous pourriez vous blesser. ◆ スチールベルトは端が鋭く尖っていますので触らないでください。 ※ けがをする恐れがあります。 </div>										
4	<div data-bbox="552 698 1104 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">⚠ CAUTION / ATTENTION / 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Do not bend or pull the waste ink drain tube. The ink may be leaked and damages the printer. ◆ Ne pas tirer ou plier le drain d'encre usagé; cela pourrait provoquer une fuite d'encre, et endommager l'imprimante. ◆ 廃液チューブを折り曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。インクが漏れて製品が故障する恐れがあります。 </div>										
5	<div data-bbox="360 1102 1295 1832" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <div data-bbox="379 1115 858 1160" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p style="text-align: center;">⚠ CAUTION / ATTENTION / 注意</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● Before using this product, please be sure to read the Safety Data Sheet, (SDS) ● The workplace should be free from open flame and well ventilated. ● Please handle the ink with care to avoid the ink touch to your skin, eyes and clothing, also to avoid accidental ingestion. Be careful not to inhale the steam. ● Please wear a protective mask, eyewear, gloves, long sleeves and long trousers to avoid contact with the ink during the operation. ● Work clothes that soiled with the ink should be thoroughly cleaned. ● Please wash your hands and gargle well after using. ● Do not bring food near. ● Please store out of reach of children. ● Do not use for anything other than VJ. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● Avant utilisation de ce produit, lisez sa fiche de données de sécurité. (SDS) ● Veuillez travailler dans un lieu bien ventilé et sans flamme ouverte. ● Manipuler l'encre avec précaution, afin qu'il n'entre pas en contact avec la peau, les yeux ou les vêtements, et d'éviter toute ingestion accidentelle. Prendre également garde à ne pas inhaler les vapeurs d'encre. ● Pour éviter d'entrer en contact avec l'encre lors de la manipulation, prendre soin de porter un masque, des lunettes et des gants de protection, ainsi que des pantalons et des vêtements aux manches longues. ● Les habits de travail tachés par l'encre devront être bien nettoyés. ● Après manipulation, bien vous laver les mains et vous rincer la bouche avec soif. ● Ne pas amener de la nourriture à proximité. ● A conserver hors de portée des enfants. ● Ne pas utiliser pour un autre usage que la VJ. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● ご使用前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。 ● 取扱作業場所は火気の無い所で行い、換気を十分に行ってください。 ● インクを皮膚、目、衣服に接触させたり、誤飲しないよう十分に注意して取扱ってください。また、蒸気を吸込まないよう注意してください。 ● 取扱中はなるべくインクとの接触を避けるため、保護マスク、保護メガネ、保護手袋、長袖、長ズボン等を着用してください。 ● 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落としてください。 ● 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。 ● 食品に近づけないでください。 ● 子供の手の届かないところへ保管してください。 ● VJ以外には使用しないでください。 </div> <div style="width: 48%;"> <h3 style="margin-top: 0;">Emergency Measures</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● If it sticks to your skin, wash well with plenty of soapy water. Consult your doctor if your skin feels irritated or is discolored. ● If it gets in your eyes, wash well with plenty of tap water and see your doctor as soon as possible. ● If accidentally swallowed, do not vomit. Consult your doctor as soon as possible. ● If you inhaled the steam, move to clean air and consult your doctor if you feel giddy or nauseous. ● If breathing has stopped, apply artificial respiration immediately, and get an emergency medication. ● If spilled from the container, remove heat sources, sparks and flame first, then wipe up with cloth. Used cloths containing ink should be soaked in water until disposal. <h3 style="margin-top: 10px;">Mesures d'urgence</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● En cas de contact avec la peau, bien laver et rincer abondamment avec de l'eau savonneuse. Consulter un médecin si la peau est irritée ou si vous constatez une modification de son aspect. ● En cas de contact avec les yeux, rincer abondamment avec de l'eau du robinet, et consulter un médecin le plus rapidement possible. ● Ne pas régurgiter si vous avez ingéré de l'encre par mégarde. Ne pas régurgiter si vous avez ingéré de l'encre par mégarde. ● En cas d'inhalation de vapeurs, déplacez-vous dans un endroit où l'air est propre, consultez un médecin si vous êtes pris de vertiges ou de nausées. ● En cas d'arrêt de la respiration, pratiquez immédiatement une ventilation artificielle, et contactez les urgences. ● Si l'encre a coulé du réservoir, l'éloigner d'abord des sources de chaleur, des étincelles ou des flammes, puis essuyer avec un morceau de tissu. Toujours laisser tremper les tissus tachés avec de l'encre dans l'eau jusqu'à leur élimination. <h3 style="margin-top: 10px;">応急処置</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い流し、皮膚に刺激を感じたり変化がある場合は医師の診断を受けてください。 ● 目に入った場合は多量の水道水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。 ● 誤って飲み込んだ場合は吐き出さないでください。その後できるだけ早く医師の診断を受けてください。 ● 蒸気を吸した場合は空気の清浄な場所へ移動し、めまいや吐き気を感じる場合は医師の診断を受けてください。 ● 呼吸が止まった場合はただちに人工呼吸を行い、救急医療を受けてください。 ● 容器からこぼれた場合は、熱源、火花、炎からまず離し、布等で拭き取ってください。インクが付着した布等は廃棄するまで必ず水につけておいてください。 </div> </div> <div data-bbox="986 1796 1289 1832" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">消防法表示</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="font-size: x-small; vertical-align: middle;"> 危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性 火気厳禁 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; font-size: x-small;">警告</td> <td style="text-align: center; font-size: x-small;">引火性</td> <td style="text-align: center; font-size: x-small;">有害性</td> <td></td> </tr> </table> </div> </div>	消防法表示				危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性 火気厳禁		警告	引火性	有害性	
消防法表示				危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性 火気厳禁							
	警告	引火性	有害性								

2 製品の概要

2.1	はじめに	2-1
2.2	特長	2-1
2.3	各部の名称と機能	2-2
2.3.1	正面部	2-2
2.3.2	背面部	2-4
2.3.3	操作パネル	2-5
2.3.4	巻取り操作パネル（オプション）	2-8
2.4	動作の概要	2-9
2.4.1	通常状態	2-9
2.4.2	設定メニュー表示状態	2-9
2.4.3	動作状態の切替え方法	2-10

2 製品の概要

2.1 はじめに

この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。

2.2 特長

本製品の主な特長について説明します。

(1) 高速出力

新型プリントヘッドを採用し、高速化を実現。
また、AR-9100 では最大 1,615 mm までの作画幅を可能にしています。

(2) 豊富な対応メディア

ヘッドの高さが 2 段階に調節可能なので、厚さ 0.08 ~ 1.3 mm までの様々な用紙に対応できます。

(3) インクカートリッジ

専用 IC チップ付き 220 ml の大容量のインクカートリッジを採用。インク使用量の管理ができるようになり、生産性が大きく向上しました。

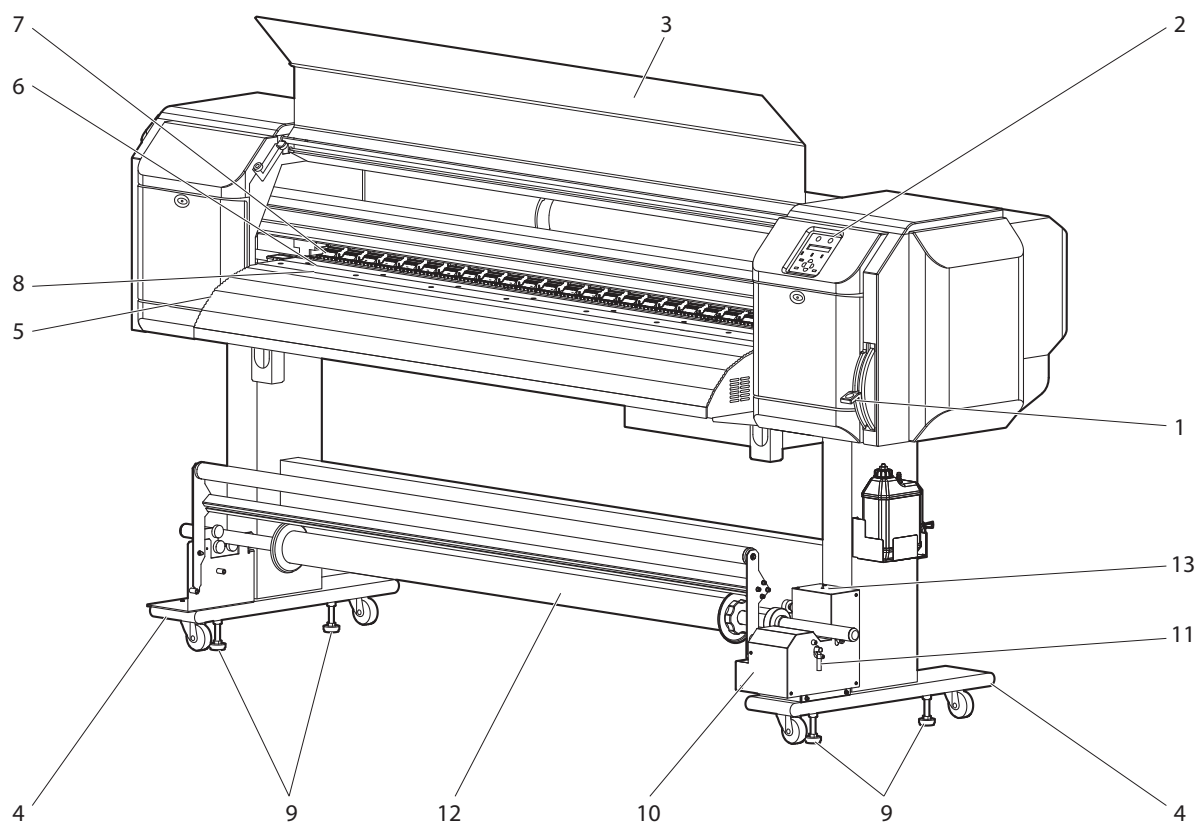
(4) メディアの有効活用



任意に印刷開始位置を設定する事ができる JOG 機能を搭載。すでに印刷されているメディアに再度印刷することができるため、余白部分を有効に利用する事ができます。

2.3 各部の名称と機能

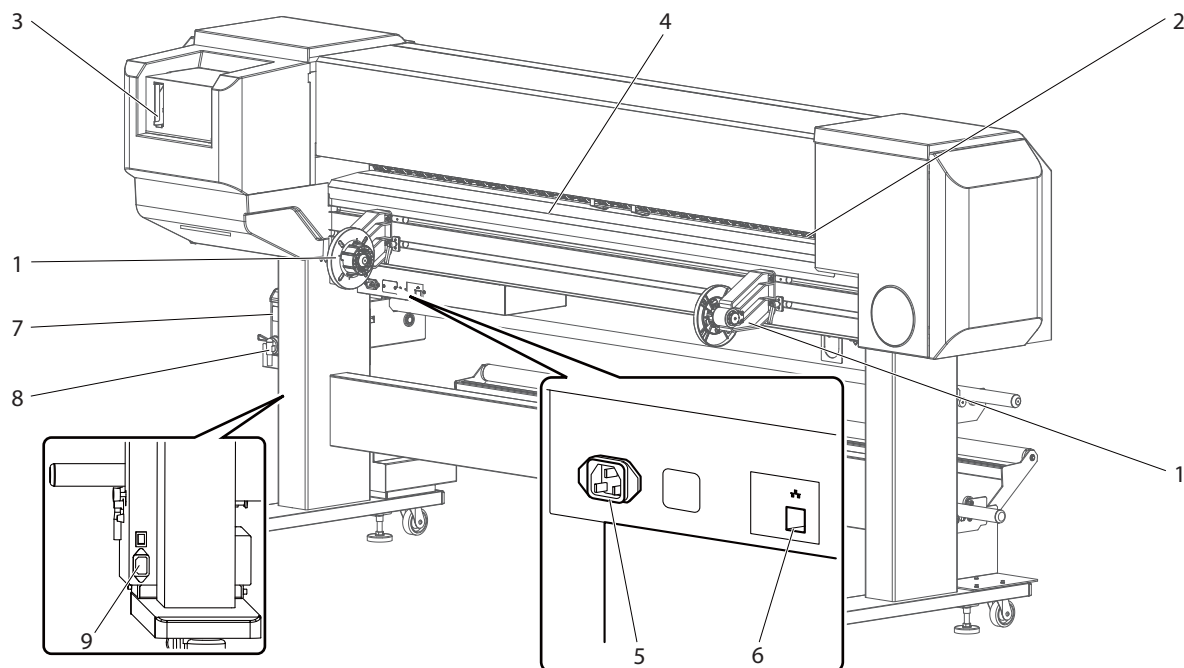
各部の名称とその機能について説明します。

2.3.1 正面部



番号	名称	機能
1	用紙セットレバー	用紙を固定または解除するレバーです。 <ul style="list-style-type: none"> レバーを下げると、用紙を固定します。通常はこの位置で使用します。 レバーをさらに下げると、用紙を強く固定します。 通常の固定位置でうまく搬送できない、重い用紙の搬送精度を向上させたい時に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> レバーを上げると、用紙の固定を解除します。
2	操作パネル	動作条件の設定、プロッタの状態表示、各種機能の設定を行います。  2.3.3 操作パネル
3	フロントカバー	本製品の動作中に、使用者を駆動部から保護するためのカバーです。 用紙セット時や紙詰まり時等に開閉します。 通常は閉じておきます。
4	専用スタンド	本製品を水平な床の上に設置する場合に使用します。
5	用紙ガイド	用紙セット・作画等を行う場合に、用紙をスムーズに搬送するために使用します。
6	プラテン	フロントカバー内にあります。 用紙の印字面を安定させます。
7	加圧ローラ	フロントカバー内にあります。 作画時に、用紙幅全体を上から押さえて保持します。
8	用紙カット溝	フロントカバー内にあります。 用紙を手動でまっすぐカットするために使用します。
9	アジャスタ	製品を水平に設置するために使用します。
10	巻取り装置 (オプション)	作画された用紙を巻取ります。
11	スクローラ解除レバー	オプションの巻取り装置を使用する時、巻取りスクローラを手で回転させる場合に、スクローラを巻取り装置から少し浮かせるために使用します。
12	巻取りスクローラ	オプションの巻取り装置を使用する時、作画された用紙を巻取る場合に使用します。
13	巻取り操作部	巻取り装置の動作条件の設定、製品の状態表示を行います。  2.3.4 巻取り操作パネル (オプション)

2.3.2 背面部



番号	名称	機能
1	ロール紙受け	ロール紙をセットします。 ロール紙をはめ込むフランジと、ロール紙受けを固定する固定レバーが付いています。
2	給紙スロット	用紙セット時に、用紙を差込むための給紙口です。
3	インクカートリッジスロット	インクカートリッジを装着します。
4	用紙ガイド	用紙セット・作画等を行う場合に、用紙をスムーズに搬送するために使用します。
5	AC インレット	電源ケーブルのプラグを差込みます。
6	ネットワーク・インターフェイスコネクタ	ネットワーク・インターフェイスケーブルを接続するコネクタです。
7	廃液タンク	製品から排出された廃インクを貯めておく場合に使用します。
8	廃液コック	廃液タンクから廃液を排出する場合に開閉します。 通常は閉じておきます。
9	AC インレット (巻取り装置用)	オプションの巻取り装置を使用する場合、巻取り装置用の電源ケーブルのプラグを差込みます。

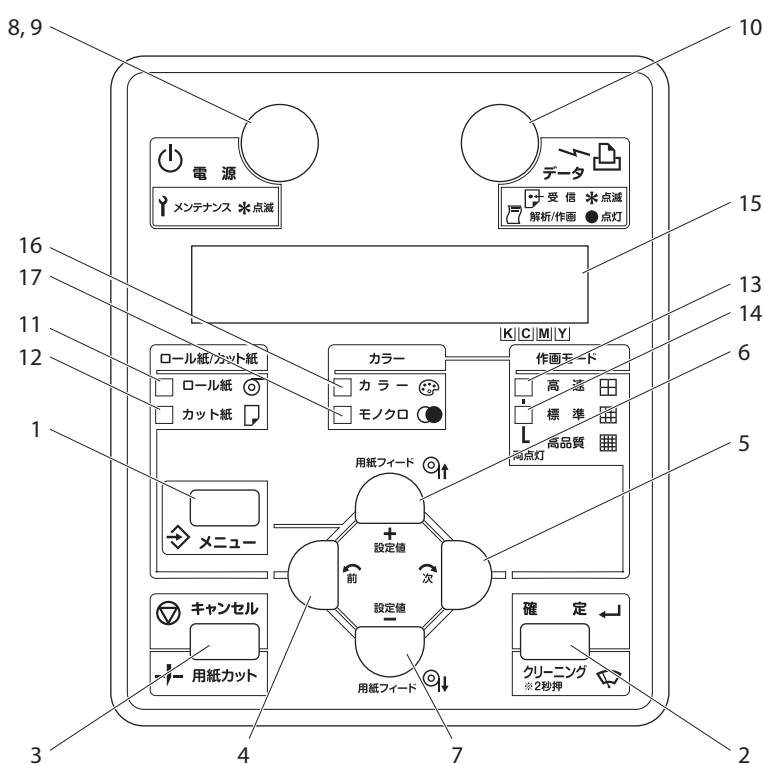
2.3.3 操作パネル

操作パネルは、動作状態の設定、製品の状態表示、各種機能の設定を行う場合に使用します。

操作キー部および状態表示部の各名称、機能について説明します。

参考

- 操作パネルの操作方法の詳細については、以下を参照してください。
 - 操作パネルからメニュー設定を行う場合：4.4 操作パネルのメニュー設定
 - 操作パネルでの各種操作を行う場合：4.11 操作パネルからの各種操作



(1) 操作キー部

注 記

- 操作キー部には、動作状態（通常状態または設定メニュー表示状態）によって異なる機能・名称が割り当てられています。動作状態の詳細については、「2.4 動作の概要」を参照してください。


番号	名称	通常状態	設定メニュー表示状態
1	[メニュー] キー	設定メニュー状態に切り替えます。	—
2	[確定] キー	作画の一時停止中に押すと、作画を再開します。	<ul style="list-style-type: none"> 設定するメニューを選択し、次階層に移行します。 設定値を確定して保存します。
	[クリーニング] キー	2 秒以上押しつづけると、プロッタヘッドのクリーニングを行います。	—
3	[キャンセル] キー	<ul style="list-style-type: none"> 作画中：作画を強制終了して、残ったデータを 1 ファイル削除します。 受信・解析中：すでに受信、解析したデータを削除して、以降の受信データを 1 ファイル無視します。 インク乾燥時間待ち状態：インク乾燥時間待ち状態を解除して、用紙を排出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとつ前のメニュー階層に戻ります。設定値変更は IP アドレスメニュー、サブネットマスクメニュー、ゲートウェイメニュー以外の時は無効となります。 設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
	[用紙カット] キー	ロール紙がセットされている場合、その時の用紙位置でロール紙をカットします。	—
4	[前] キー	—	以下のメニューで設定値を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 原点設定メニュー
5	[次] キー	作画モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定した作画モードのランプが点灯（緑色）します。 	メニューを下階層に移行させます。
6	[用紙フィード↑] キー	用紙を逆方向に送ります。	—
	[設定値+] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> メニュー表示を逆方向に変更します。 設定値を順方向に変更します。 数値入力時には値を増加させます。
7	[用紙フィード↓] キー	用紙を順方向に送ります。	—
	[設定値-] キー	作画中に押すと、作画を一時停止します。	<ul style="list-style-type: none"> メニュー表示を順方向に変更します。 設定値を逆方向に変更します。 数値入力時には値を減少させます。
8	[電源] キー	製品の電源を ON/OFF します。	製品の電源を ON/OFF します。

(2) 状態表示部

番号	名称	色	状態	機能
9	電源ランプ	緑色	点灯	電源が ON になっています。
			点滅	エラーが発生しています。エラー内容は液晶表示部に表示されます。
			消灯	電源が OFF になっています。
10	データランプ	橙色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 受信したデータを解析しています。 作画中です。
			点滅	データを受信しています。
			消灯	データを受信・解析していません。
11	ロール紙ランプ	緑色	点灯	セットされている用紙がロール紙に設定されています。
12	カット紙ランプ	—	—	本製品では機能しません。
13	高速ランプ	緑色	点滅	作画モードが超高速に設定されています。
			点灯	<ul style="list-style-type: none"> 作画モードが高速に設定されています。 標準ランプも点灯している場合は、作画モードが高品質に設定されています。
			消灯	作画モードが標準に設定されています。
14	標準ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 作画モードが標準に設定されています。 高速ランプも点灯している場合は、作画モードが高品質に設定されています。
			消灯	作画モードが超高速、または高速に設定されています。
15	液晶表示部	—	—	製品の動作状態やエラーメッセージを表示します。
16	カラーランプ	—	—	本製品では機能しません。
17	モノクロランプ	緑色	点灯	カラー設定がモノクロに設定されています。

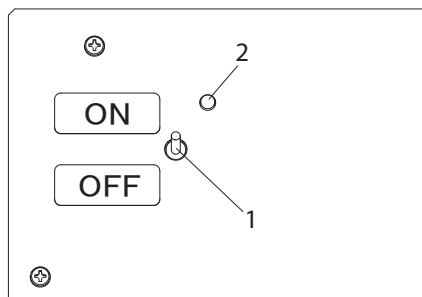
参 考

- 再起動が必要なエラー（本製品が動作する上で致命的な障害）が発生した場合は、警告音とともに全てのランプが点滅します。
障害を取除いても再起動が必要なエラーが再発する場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。

 6.3.5 再起動が必要なエラー

2.3.4 巻取り操作パネル（オプション）

操作部は、動作条件の設定、製品の状態表示の確認を行う場合に使用します。



(1) 操作スイッチ部

番号	名称	機能
1	切替スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ON：巻取り装置が動作します。 OFF：巻取り装置が動作しません。

(2) 状態表示部

番号	名称	状態	機能
2	動作ランプ	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 電源が ON になっています。 待機中です。
		点滅	巻取り動作中です。
		消灯	電源が OFF になっています。

2.4 動作の概要

本製品の動作状態について説明します。

2.4.1 通常状態

製品に用紙がセットされている場合に、作画をすることができる状態です。操作パネルで作画に関する各種操作を行うことができます。

2.4.2 設定メニュー表示状態

本製品の作画に関する各種設定を、操作パネルから行うことができる状態です。操作パネルで作画に関する各種操作を行うことができます。操作パネルの液晶表示部の表示内容は以下のとおりです。

2.4.3 動作状態の切替え方法

以下の手順に従って、動作状態の切替えを行ってください。

(1) 通常状態 → 設定メニュー表示状態

製品が通常状態の時に、操作パネルの [メニュー] キーを押します。

- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示され、設定メニュー表示状態に移行します。

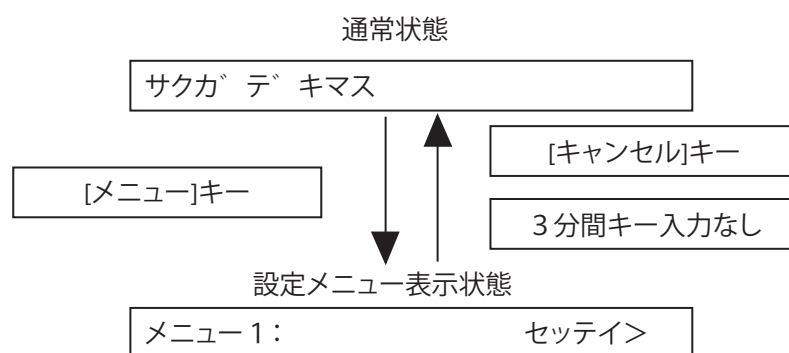
注 記

- 設定メニューの詳細については、「4.4 操作パネルのメニュー設定」を参照してください。

(2) 設定メニュー表示状態 → 通常状態

製品が設定メニュー表示状態の時に、以下のいずれかの操作を行うと、操作パネルが通常状態の表示に移行します。

- 操作パネルの [キャンセル] キーを押す。
- 設定メニュー状態のときに、3 分間何もキー操作をせずに放置する。



注 記

- 動作状態表示の詳細については、「6.3.1 動作状態表示」を参照してください。

3 使用前の準備

3.1	はじめに	3-1
3.2	電源ケーブルの接続	3-2
3.3	電源を ON/OFF する方法	3-7
3.3.1	電源を ON する方法	3-7
3.3.2	電源を OFF する方法	3-8
3.4	インクカートリッジの取付け	3-10
3.5	用紙の取付け	3-14
3.5.1	ロール紙の取付け	3-14
3.5.2	ロール紙のセット方法	3-19
3.5.3	巻取り装置（オプション）の使用方法	3-24
3.5.4	用紙種類の設定手順	3-29
3.6	テスト作画	3-31
3.6.1	ノズルチェック	3-34
3.6.2	設定内容作画	3-35
3.7	画質微調整	3-36
3.8	コンピュータとの接続	3-44
3.8.1	接続ケーブルの準備	3-44
3.8.2	ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続 ..	3-45

3 使用前の準備

3.1 はじめに

この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。

3.2 電源ケーブルの接続

電源ケーブルの接続手順について説明します。

警告

- 必ず同梱品の電源ケーブルを使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
- 破損した電源ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因になります。

注意

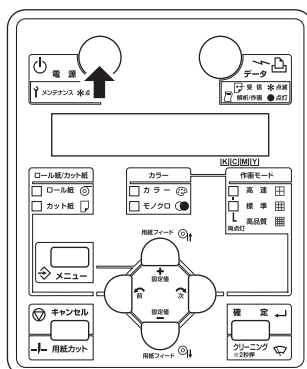
- 電源ケーブルを取扱う場合は、以下の点に注意してください。
 - 電源ケーブルを加工しないこと。
 - 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
 - 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
 - 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。

注 記

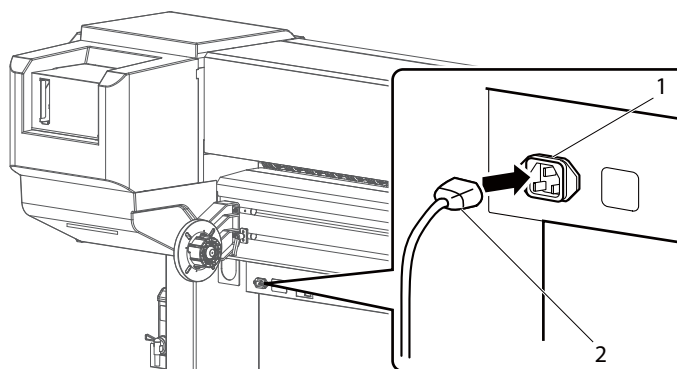
- 電源ケーブルが破損した場合は、以下のいずれかに相談してください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
☎7.5.1 製品に関するお問い合わせ窓口

以下の手順に従って、電源ケーブルを取付けてください。

1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。

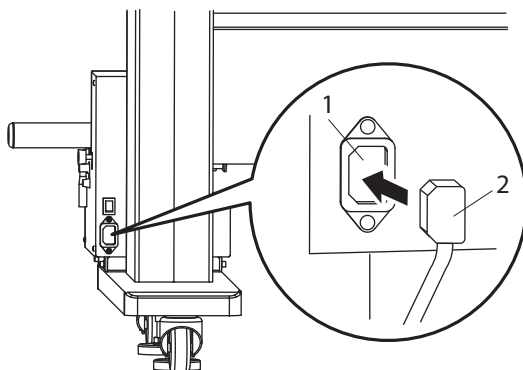


2. 製品背面の AC インレットに、電源ケーブルを接続します。



番号	名称
1	AC インレット
2	電源ケーブル

3. オプションの巻取り装置を使用する場合、巻取り装置本体背面左側の AC インレットに、電源ケーブルを接続します。



番号	名称
1	AC インレット
2	電源ケーブル

4. 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差込みます。

警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 必ず指定の電源（AC100V～AC120V または AC220V～AC240V）を使用してください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
- 電源コンセント（AC100V～AC120V または AC220V～AC240V）から直接電源を取ってください。タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。
- 電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
- 以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

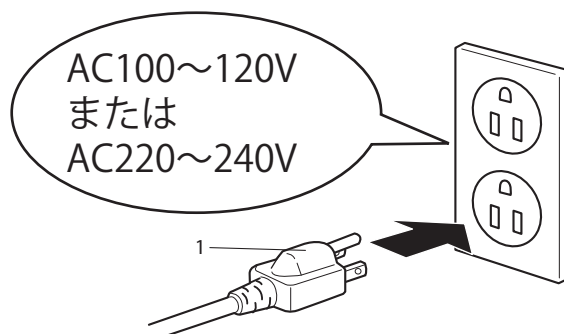
注意

- 電源プラグを取扱う場合は、以下の事項に注意してください。取扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差込まない
 - 電源プラグは刃の根元まで確実に差込む
- 本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子

注記

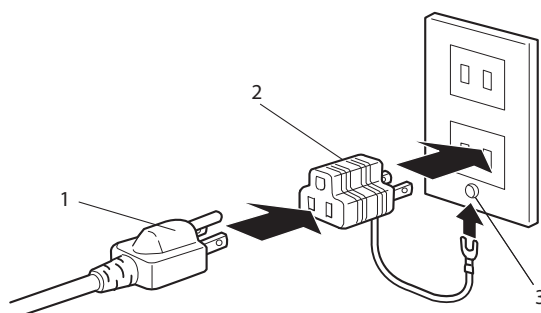
- コンセントに 3 芯プラグを差込めない場合は、同梱の 3 芯 2 芯変換コネクタを使用してください。
- アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品の電源が ON になっている場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから引抜かないでください。
もしプラグがコンセントから外れた場合は、1 分以上放置してから再びプラグをコンセントに差込んでください。

- 3 芯プラグを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ

- 3 芯 2 芯変換コネクタを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ
2	3 芯 2 芯変換コネクタ
3	アース端子

3.3 電源を ON/OFF する方法

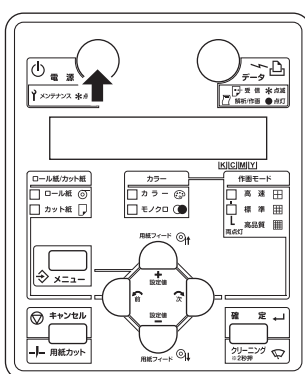
製品の電源を ON/OFF する方法について説明します。

3.3.1 電源を ON する方法

以下の手順に従って、製品の電源を ON してください。

1. 操作パネルの [電源] キーを押して、製品の電源を ON します。

- 操作パネルの電源ランプが点灯（緑色）します。



2. 製品は初期動作を開始します。

3. 初期動作が終了後、製品は通常状態に移行します。

注 記

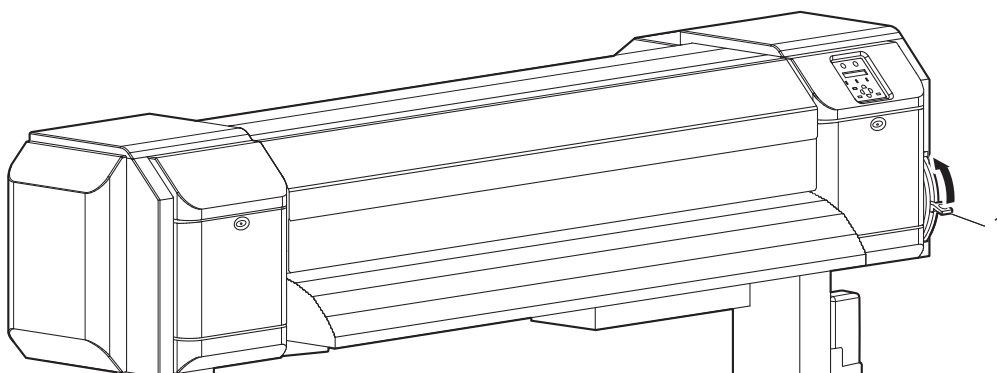
- 初期動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合は、「6 トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

- 操作パネルの全てのランプおよび液晶表示部が消灯します。
- 製品は自動的に電源を OFF します。

注 記

- 電源 OFF 動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。
動作を停止した場合は、「6 トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。
- 電源 OFF 後、再度電源を ON する場合は、10 秒以上放置してから電源を ON してください。

3. 製品を長時間使用しない場合は、用紙セットレバーを上げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

3.4 インクカートリッジの取付け

インクカートリッジの取付手順について説明します。

注意

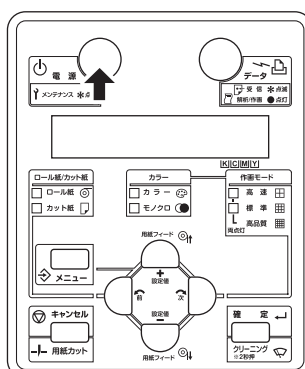
- インクカートリッジを取扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。
万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクカートリッジを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

注記

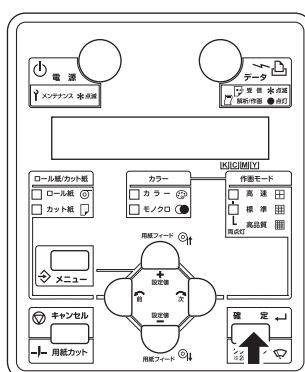
- インクを充填する場合は、純正品のインクカートリッジをご使用ください。
本製品は純正品のインクカートリッジの使用を前提に調整されています。
純正品以外を使用すると、
 - 作画結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出されなくなる恐れがあります
 - 故障しても保証対象外（有償修理）となります。
- インクカートリッジの種類および詳細については、以下を参照してください。
☞ 7.4 オプション・サプライ用品リスト
- インクカートリッジは強く振らないでください。
カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
分解したインクカートリッジは使用できません。
- インクカートリッジ取付け前に、インクカートリッジを軽く振って製品に取付けてください。
最良の作画結果が得られなくなる場合があります。
- インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、作画環境に3時間以上放置してから使用してください。

以下の手順に従って、インクカートリッジを取付けてください。

1. 製品の電源を ON します。

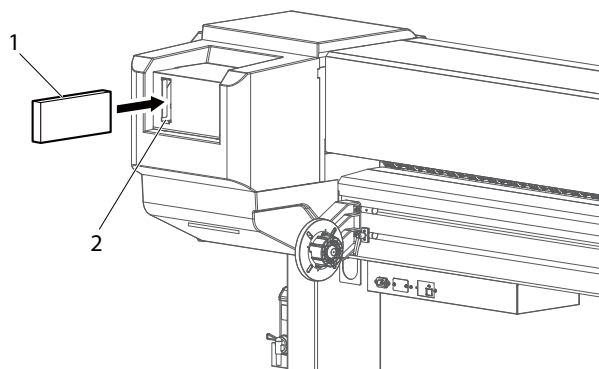


- 製品が初期動作を開始します。
 - 初期動作終了後、操作パネルに「インクシ ユウテンカイシ ー > カクテイ」と表示されます。
2. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- 操作パネルに「I n s e r t インクカートリッジ」と表示されます。

3. インクカートリッジを袋から取出し、2～3回軽く振って製品にインクカートリッジを取付けます。
- インクカートリッジの▲マークを上にして、製品側に向けて挿入してください。
 - インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

- 操作パネルに「インクシ ユウテンチュウ **%」と表示され、初期充填を開始します。
- 初期充填には約6分間かかります。
初期充填中は、インク充填動作と休止動作を繰り返します。
- メッセージの「**」部が「100」になると、初期充填が終了します。

注 記

- インク充填中は、以下のことを遵守してください。
 - 装置の電源をOFFしないこと。
 - 装置の電源ケーブルを抜かないこと。
 - フロントカバーを開けないこと。
 - 用紙セットレバーを上げないこと。
- 初期充填が終了すると、操作パネルに「サブ タンクシ ユウテンチュウ **%」と表示され、サブタンク充填が開始します。
サブタンク充填には約4分間かかります。
- メッセージの「**」部が「100」になると、サブタンク充填が終了します。
- サブタンク充填が終了すると、操作パネルに「メテ ィアナシ」が表示されます。

注 記

- 初期充填終了直後にノズルチェック作画を行うと、次のような現象が発生する場合があります。
 - 作画した線がかすれる
 - 部分的に作画されない

このような場合には、「5.3.3 ヘッドクリーニング」に従って、微量充填を行ってから作画結果を確認してください。

微量充填を行っても作画結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度微量充填を行ってから作画結果を確認してください。

それでも作画結果に変化が無い場合は、「7.5.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

3.5 用紙の取付け

用紙の取付け、セット、および用紙種類の設定方法について説明します。

注 記

- 用紙の取扱方法等の詳細については、以下を参照してください。
☞ 4.3 用紙について

3.5.1 ロール紙の取付け

ロール紙の取付け手順について説明します。

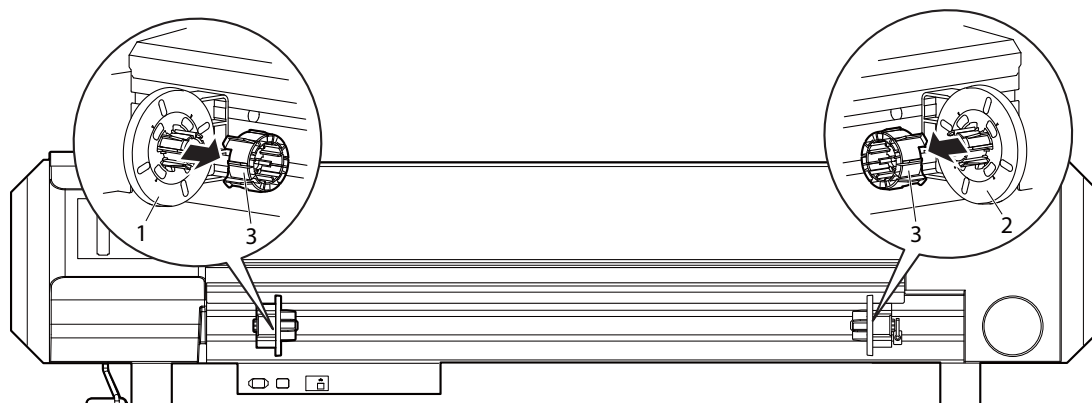
ロール紙は製品中央に配置します。

注 記

- 本製品には、次のロール紙を取付けることができます。
 - 紙管径 2/3 インチ：外径 180 mm 以下

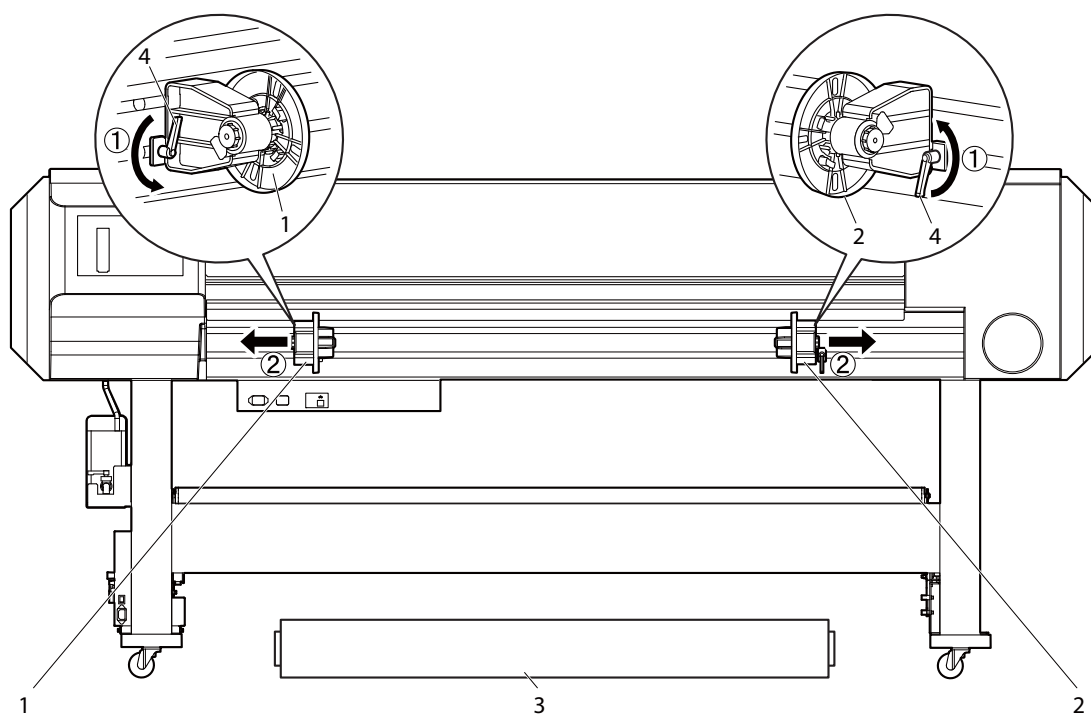
以下の手順に従って、ロール紙を取付けてください。

1. 2 インチのロール紙をセットする場合は、3 インチアダプタを取外します。



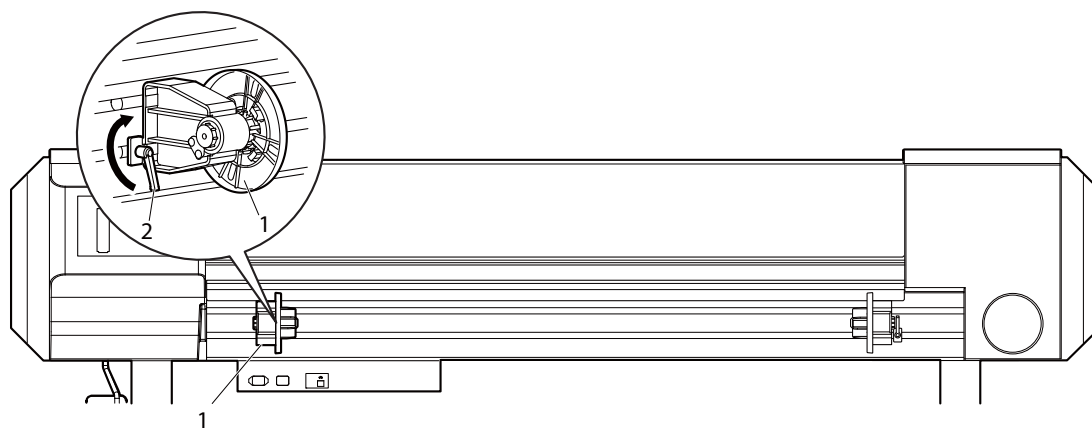
番号	名称
1	ロール紙受け (左)
2	ロール紙受け (右)
3	3 インチアダプタ

2. 製品背面左右のロール紙受けの固定レバーを緩め、セットするロール紙幅よりロール紙受けを広げます。



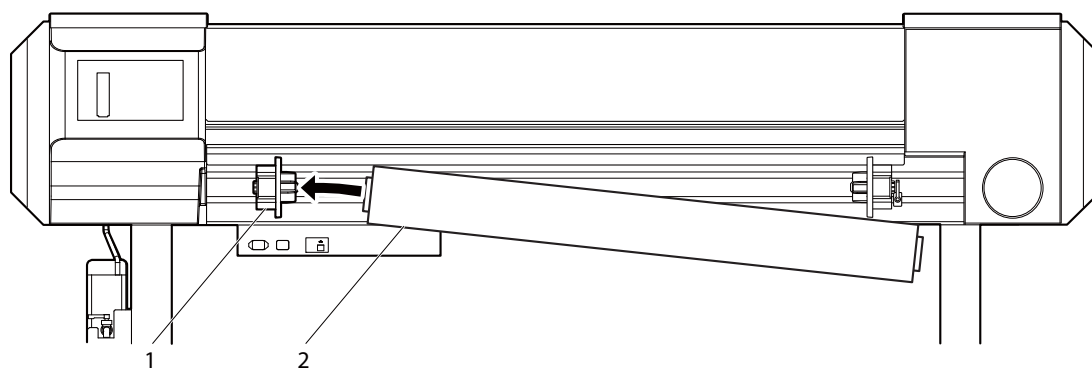
番号	名称
1	ロール紙受け (左)
2	ロール紙受け (右)
3	ロール紙
4	固定レバー

3. ロール紙受け（左）の固定レバーを締付け、ロール紙受け（左）を固定します。



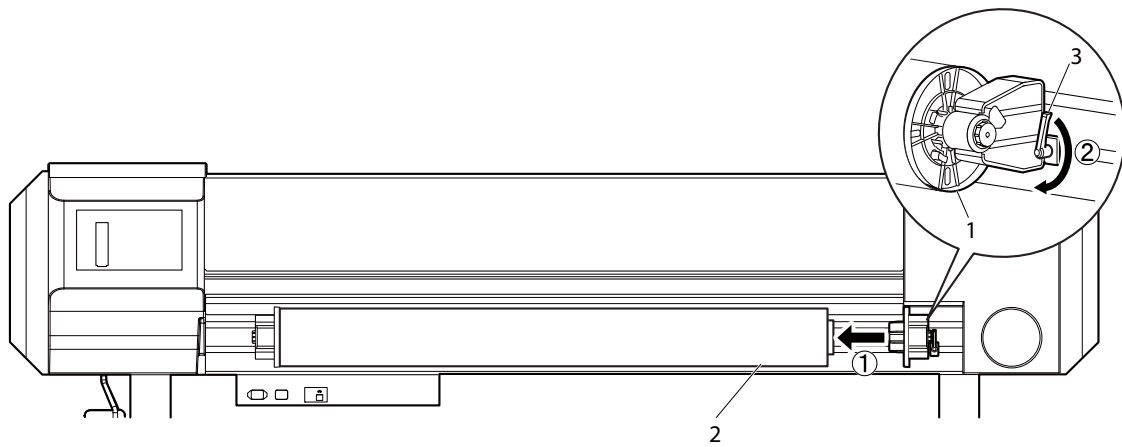
番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	固定レバー

4. ロール紙をロール紙受け（左）に取付けます。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙

5. ロール紙受け（右）をロール紙に取付け、固定レバーを締付けます。

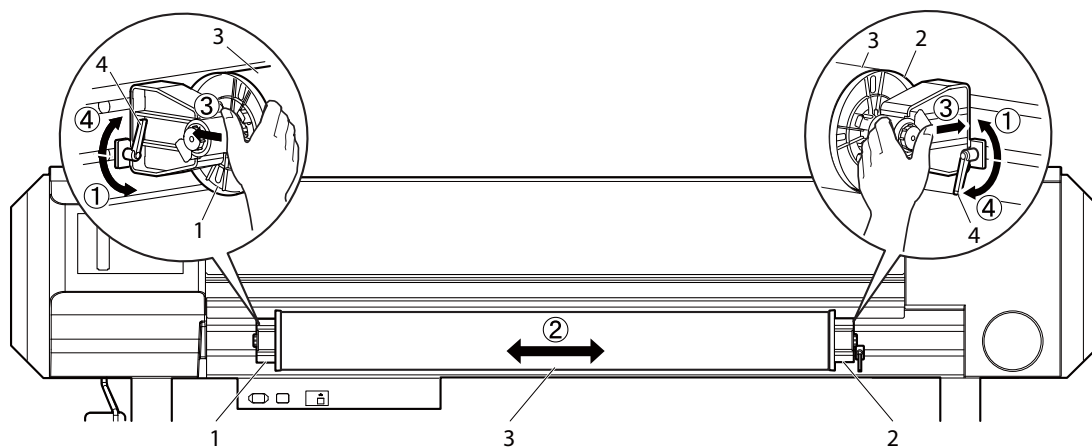


番号	名称
1	ロール紙受け（右）
2	ロール紙
3	固定レバー

6. ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を製品中央に移動させて、固定レバーを締付けます。

注 記

- ロール紙受けを固定する場合は、ロール紙受けを製品側に押当てながら固定してください。



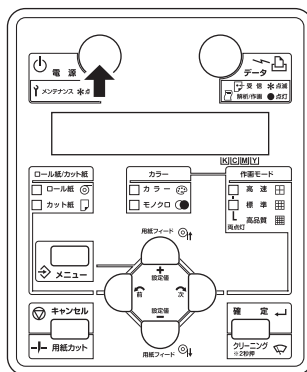
番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙受け（右）
3	ロール紙
4	固定レバー

3.5.2 ロール紙のセット方法

ロール紙のセット方法について説明します。

以下の手順に従って、ロール紙をセットしてください。

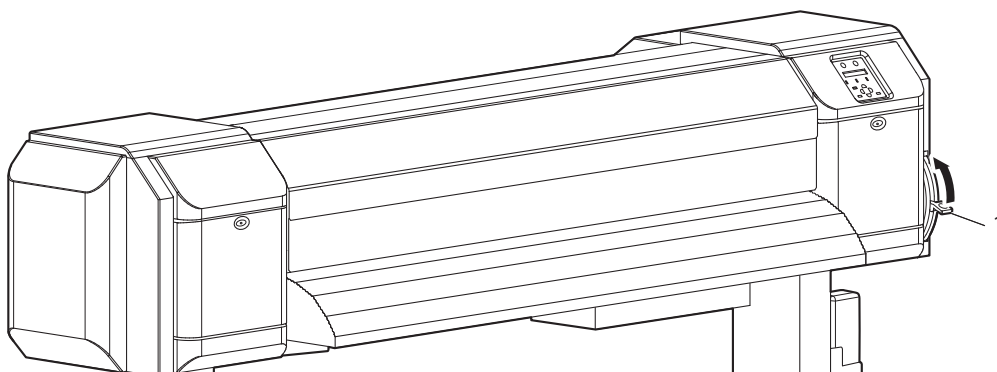
1. 製品の電源を ON します。



注 記

- 製品の初期動作中は、用紙セットレバーを操作しないでください。プリントヘッド部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。

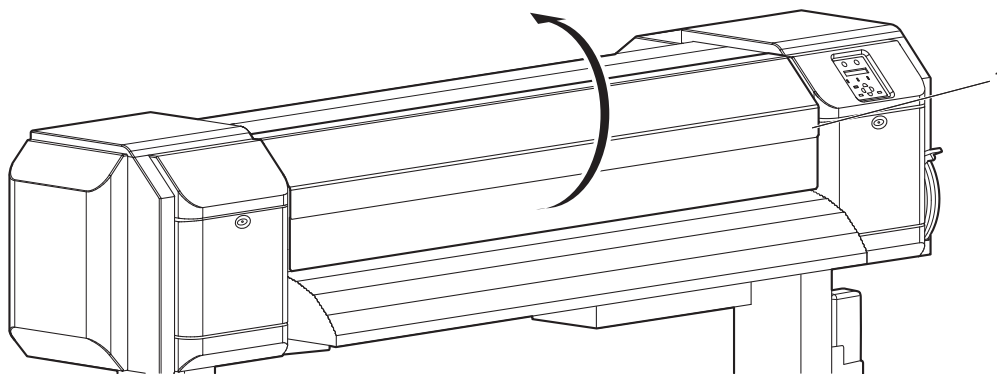
- 製品が初期動作を開始します。
 - 操作パネルに「メテ` ィアナシ」と表示されます。
2. 用紙セットレバーを上げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

- 操作パネルに「メテ` ィアヲセットシテクダ` サイ」と表示されます。

3. フロントカバーを開けます。

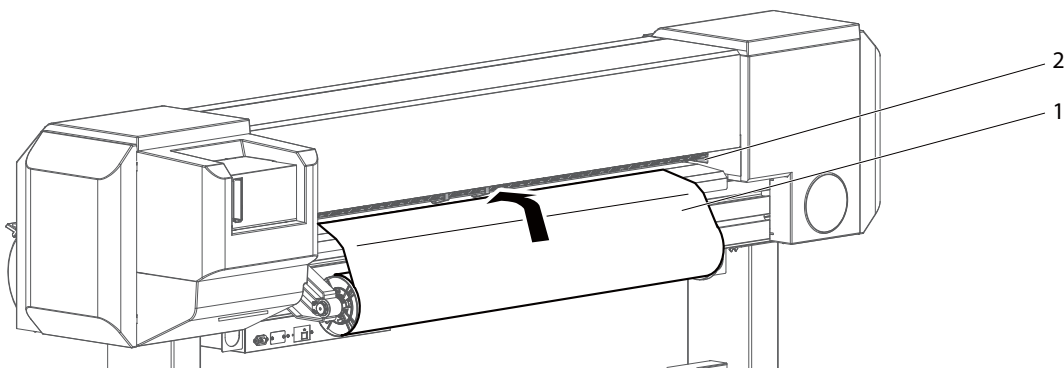


番号	名称
1	フロントカバー

4. ロール紙を給紙スロットに差込みます。

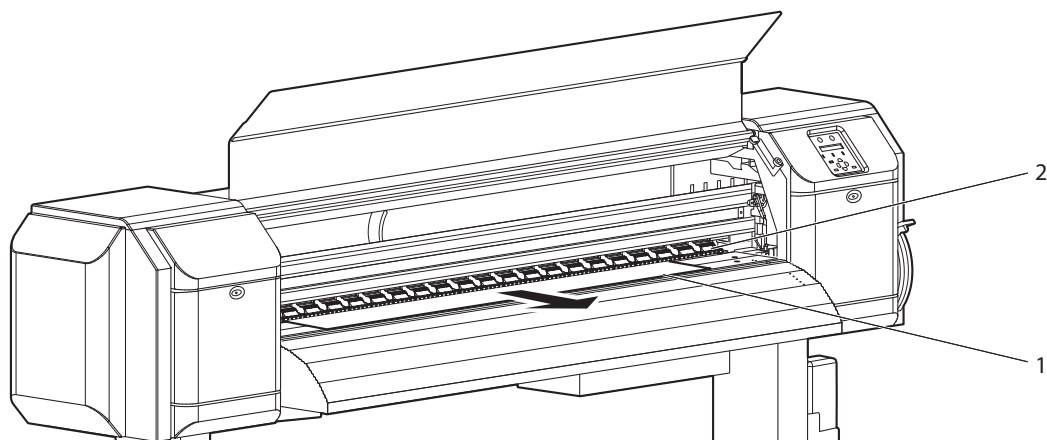
注 記

- ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。



番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

5. フロントカバー内にある正面側の給紙スロットから、ロール紙を約 1 m 引出します。

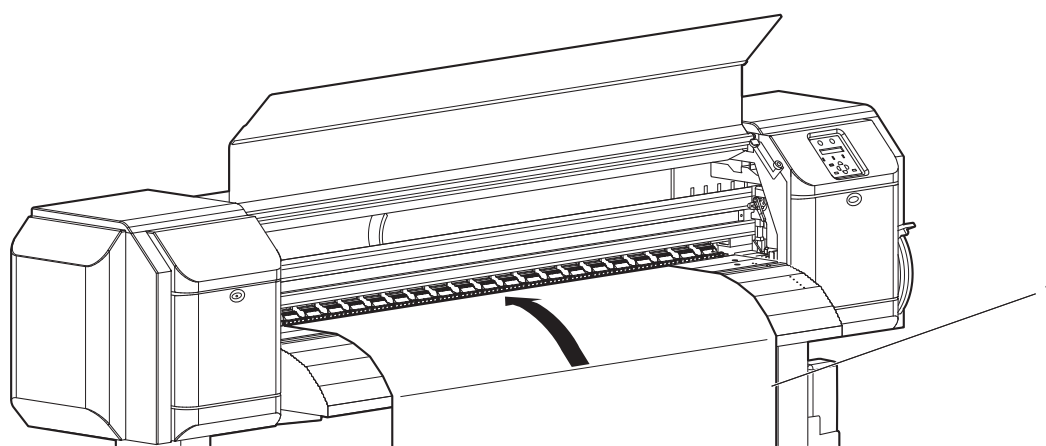


番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

6. 用紙先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻戻し、用紙のたわみおよび斜行を取除きます。

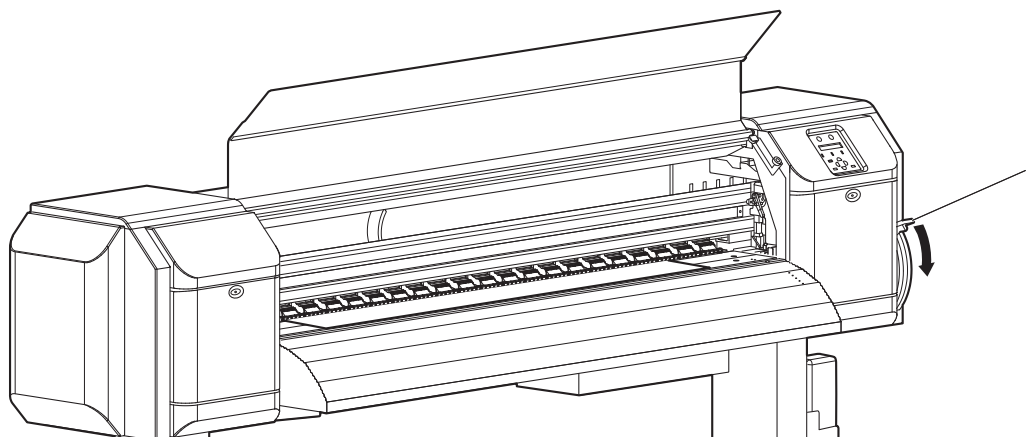
注 記

- ロール紙を巻戻している途中で手を放すと、ロール紙が給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。



番号	名称
1	ロール紙

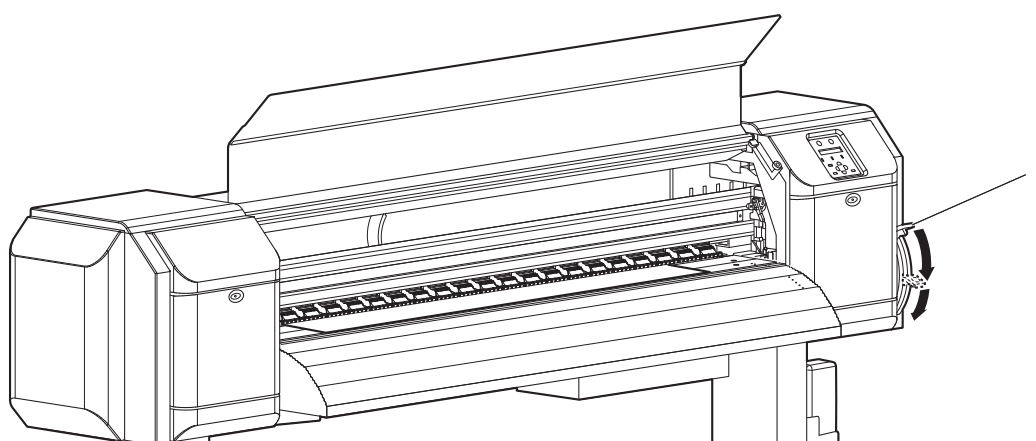
7. 用紙セットレバーを下げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

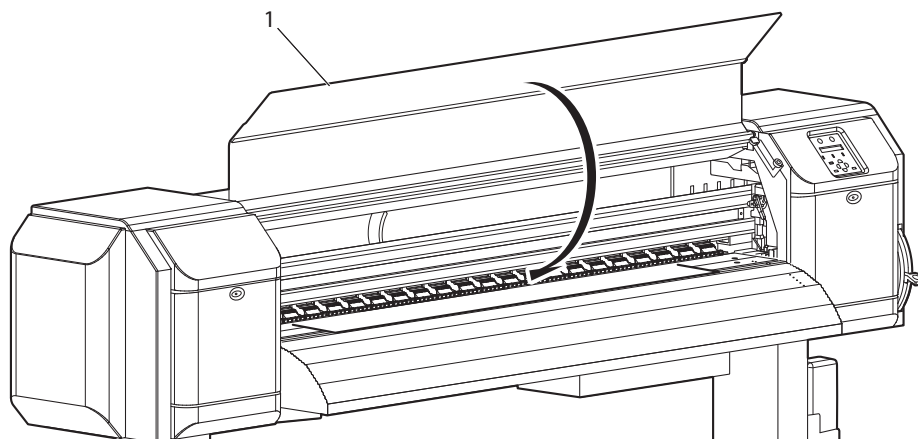
注記

- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
 ⓘ 4.11.3 用紙のカット
 ⓘ 4.11.4 用紙のマニュアルカット
- 用紙への加圧力を強くする場合は、次図のように用紙セットレバーをさらに押下げてください。



番号	名称
1	用紙セットレバー

8. フロントカバーを閉めます。



番号	名称
1	フロントカバー

- 操作パネルに用紙種類設定メニューが表示されます。

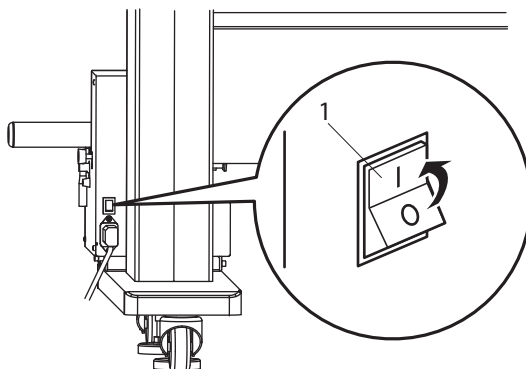
参 考

- 用紙種類を変更する場合は、「3.5.4 用紙種類の設定手順」に従って、用紙種類を設定してください。

3.5.3 巻取り装置（オプション）の使用方法

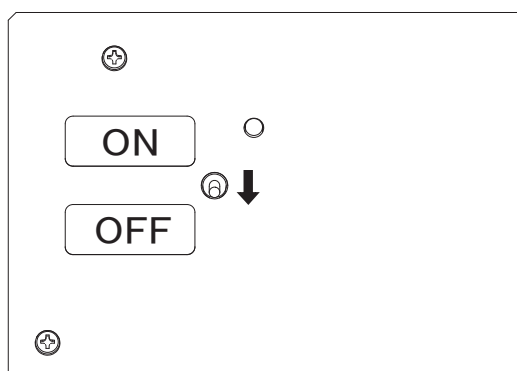
巻取り装置へのロール紙のセット方法について説明します。
以下の手順に従って、ロール紙を巻取り装置にセットしてください。

1. 巻取り装置の電源を ON します。
 - 巻取り装置の電源が ON します。
 - 動作ランプが点灯します。



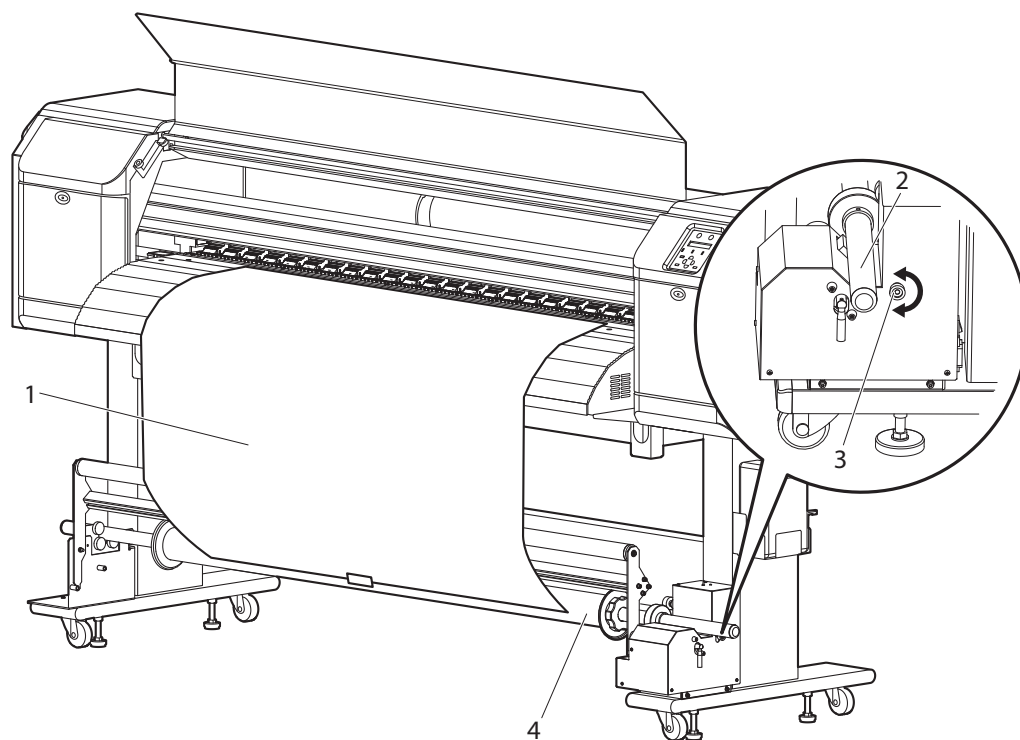
番号	名称
1	電源スイッチ

2. 切替スイッチが OFF になっていることを確認します。



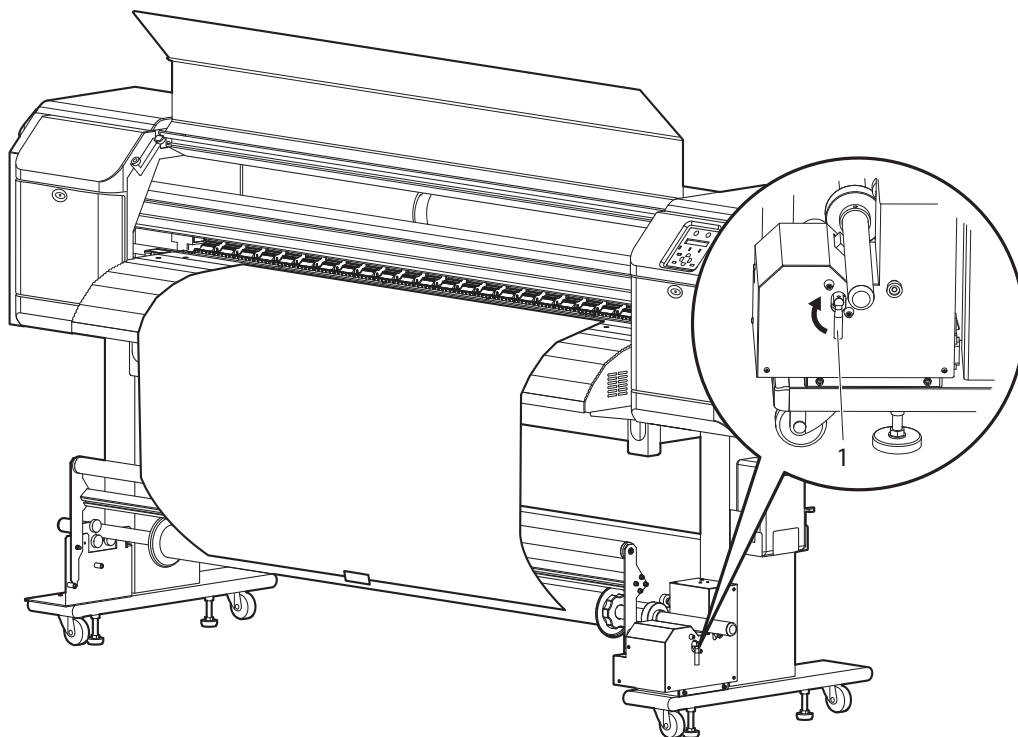
3. ロール紙がスクローラ中央にくるように、スクローラ左右調整ネジでスクローラの位置を調整します。

4. ロール紙を給紙スロットから引き出し、緩衝ローラの外側を通してから先端が紙管と平行になるようにテープで固定します。



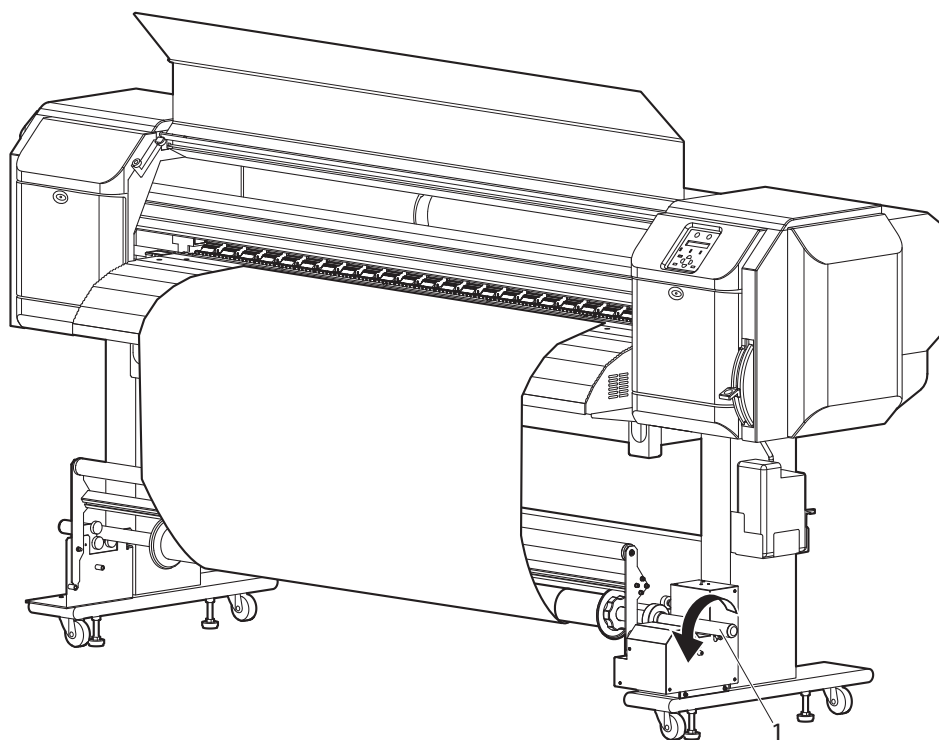
番号	名称
1	ロール紙
2	スクローラ
3	スクローラ左右調整ネジ
4	紙管

5. スクローラ解除レバーを上げます。
- スクローラが駆動部から離れます



番号	名称
1	スクローラ解除レバー

6. スクローラを手で回転させて、ロール紙を紙管に 1.5 巻き程度巻きつけます。



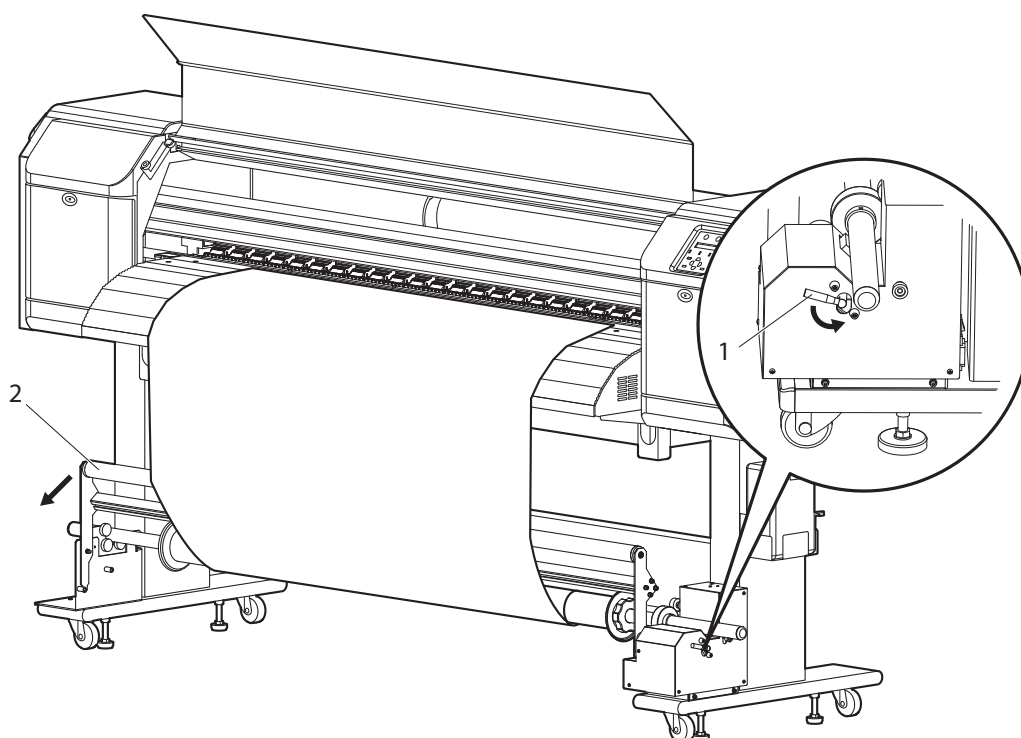
番号	名称
1	スクローラ

7. スクローラ解除レバーを下げてもとに戻します。

8. 緩衝ローラを前側に倒します。

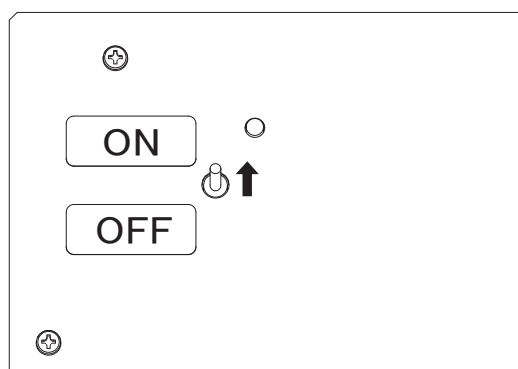
注 記

- 緩衝ローラが前側に倒れていない場合は、巻取り装置が動作しません。



番号	名称
1	スクローラ解除レバー
2	緩衝ローラ

9. 切替スイッチを ON にします。



10. 引き続きプロッタ側の用紙セットおよび用紙種類設定を行います。

- 用紙セットが終了します。
- 作画開始後、ロール紙は自動的にスクローラに巻取られます。

注 記

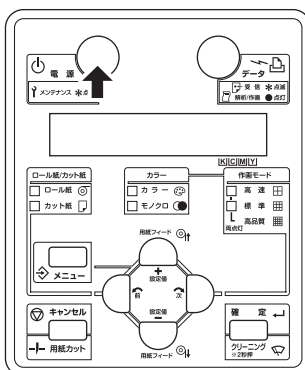
- 巻取り装置を使用する場合は、巻取り装置メニューの設定値を「オン」に設定してください。
 4.5.9 巻取り装置メニュー
- 巻取り装置メニューの設定値を「オン」に設定した場合、バックフィード動作ができなくなります。

3.5.4 用紙種類の設定手順

用紙種類の設定手順について説明します。

以下の手順に従って、用紙種類を設定してください。

1. 製品の電源を ON し、用紙をセットします。

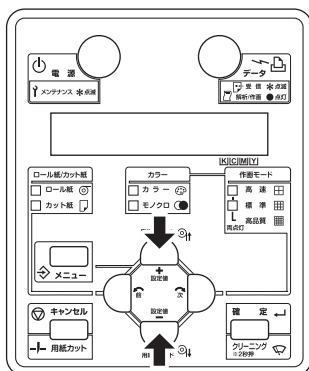


- 用紙セット後、用紙種類設定メニューに移行します。

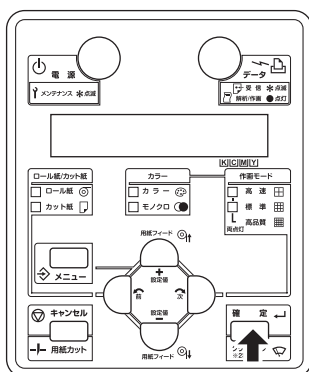
参 考

- 用紙セットの方法については、以下を参照してください。
 3.5.2 ロール紙のセット方法

2. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、セットしている用紙種類を選択します。



3. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- 用紙種類が確定します。
- 操作パネルに「メテ` ィアイニシャルチュウ」と表示され、用紙イニシャル動作を開始します。

注 記

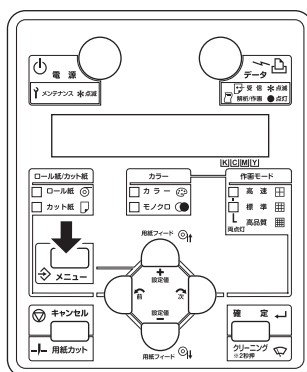
- 用紙種類設定メニューで、以下の操作を行った場合、用紙種類を設定せずに用紙イニシャル動作に移行します。
 - 操作パネルの [キャンセル] キーを押した場合
 - 操作パネルのキー操作を 10 秒間行わなかった場合

- 用紙イニシャル動作が終了すると、操作パネルに「サクカ` テ` キマス」と表示され、通常状態に移行します。
- 用紙セットが終了します。

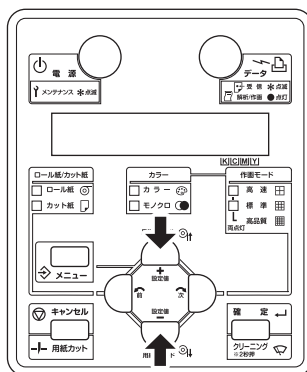
3.6 テスト作画

以下の手順に従ってテスト作画を行い、製品が正常に動作するか確認してください。

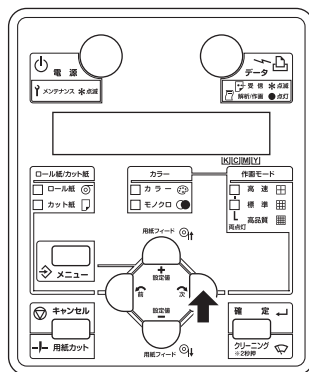
1. 製品の電源を ON にして、ロール紙をセットします。
 ④ 3.5.2 ロール紙のセット方法
2. 製品が通常状態であることを確認します。
3. 操作パネルにテスト作画メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「メニュー2 : テストサクカ>」を選択します。



- c. 操作パネルの [次] キーを押します。



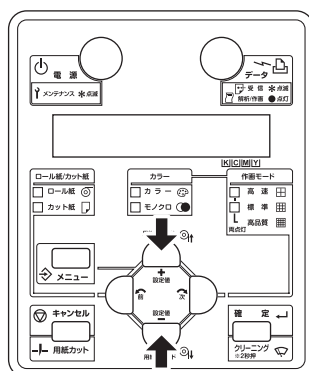
- 操作パネルに「テスト 1 : ノズルチェック」と表示されます。

- テスト作画メニューに移行します。

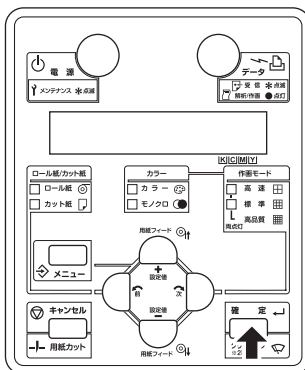
4.6 テスト作画メニュー

4. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、次の各項目から作画する項目を選択します。

- ノズルチェック
- 設定内容作画




5. 操作パネルの [確定] キーを押します。

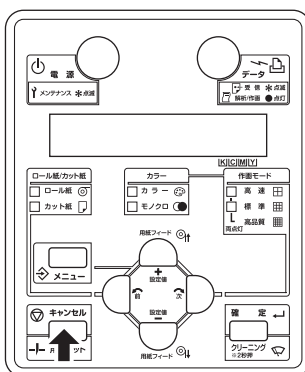


- 選択した項目のテスト作画を開始します。

参考

- 各作画内容の詳細については、以下を参照してください。
 3.6.1 ノズルチェック～3.6.2 設定内容作画

6. 他の項目のテスト作画を行う場合は、手順 4～5 を繰り返します。
7. テスト作画を終了する場合は、操作パネルの [キャンセル] キーを押します。



- 操作パネルが通常状態に戻ります
- テスト作画を終了します。

3.6.1 ノズルチェック

ヘッドの目詰まり、作画の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。

注 記

- ノズルチェックの結果、チェックパターンがかすれたり、欠けたりした場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

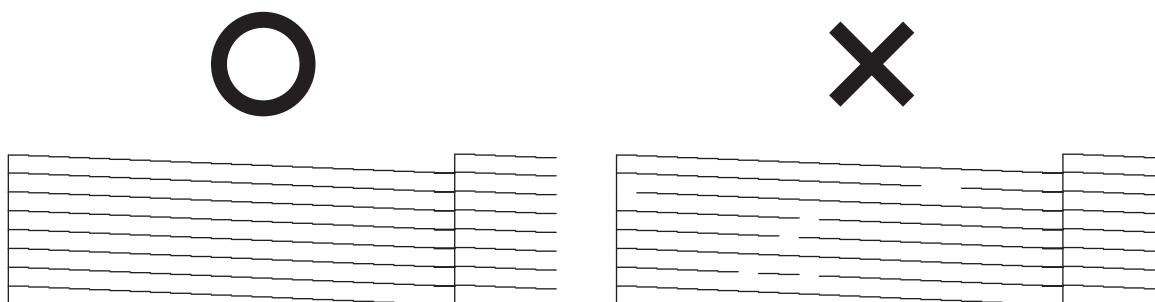
🔧 5.3.3 ヘッドクリーニング

作業終了後には、再度ノズルチェックを行なってください。

参 考

- 作画手順については、以下を参照してください。

🔧 3.6 テスト作画



3.6.2 設定内容作画

現在の製品の設定内容を確認する時に使用します。

注 記

- 作画した設定内容作画をこのページに貼付けておいてください。

現在の設定内容

<p><フロッピー情報> 2018/01/01 0:00</p> <p>シリアルNo. = ***** 機種 = AR-9100 ファームウェア M = V 1.00 [エラー発生情報] 0:なし [] 2:なし [] 4:なし [] メモリ容量 = 256MB ファームウェア C = V 1.00 1:なし [] 3:なし [] 5:なし []</p>			
<p><メニュー設定1></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [1] [*] メディア種類 = 種類 1 [1] 作画モード = 超高速 [2] 送り補正 [1] 初期調整作画 = 250.0/250mm [2] 初期調整値 [3] 確認調整作画 [3] 吸着ファン = 弱い [4] インク量 = 50% [5] インク乾燥時間 = 0sec [6] 紙浮き防止 [1] 開始時間 = オフ [2] 送り量 = 50mm [7] 先端フィード = 0mm [2] [*] ペン設定 ペン優先 = コマンド ペンNo. 幅 パレットNo. (先端) (つなぎ) 1 0.40mm 100 円弧 円弧 2 0.40mm 100 円弧 円弧 3 0.40mm 100 円弧 円弧 4 0.40mm 100 円弧 円弧 5 0.40mm 100 円弧 円弧 6 0.40mm 100 円弧 円弧 7 0.40mm 100 円弧 円弧 8 0.40mm 100 円弧 円弧</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [3] [*] コマンド設定 [1] コマンド = MH-GL GL2 [2] 作画単位 = 0.025mm [3] 原点 = 中心 [4] 描き出し位置 = P1点 [5] ターミネータ = スペシャル [6] イメージ解像度 = 360dpi [7] 簡調表紙 = 高速拡散 [8] 重ね描き = 後描き優先 [9] オンラインタイムアウト = 30sec [4] [*] レイアウト設定 [1] 配置方法 = コマンド [2] つなぎ作画 = オフ [3] カット位置 = データ優先 [4] レイアウト = オフ [5] [*] 機能設定 [1] スケール = 100.0% [2] ミラー = オフ</p> </td> </tr> </table>		<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [1] [*] メディア種類 = 種類 1 [1] 作画モード = 超高速 [2] 送り補正 [1] 初期調整作画 = 250.0/250mm [2] 初期調整値 [3] 確認調整作画 [3] 吸着ファン = 弱い [4] インク量 = 50% [5] インク乾燥時間 = 0sec [6] 紙浮き防止 [1] 開始時間 = オフ [2] 送り量 = 50mm [7] 先端フィード = 0mm [2] [*] ペン設定 ペン優先 = コマンド ペンNo. 幅 パレットNo. (先端) (つなぎ) 1 0.40mm 100 円弧 円弧 2 0.40mm 100 円弧 円弧 3 0.40mm 100 円弧 円弧 4 0.40mm 100 円弧 円弧 5 0.40mm 100 円弧 円弧 6 0.40mm 100 円弧 円弧 7 0.40mm 100 円弧 円弧 8 0.40mm 100 円弧 円弧</p>	<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [3] [*] コマンド設定 [1] コマンド = MH-GL GL2 [2] 作画単位 = 0.025mm [3] 原点 = 中心 [4] 描き出し位置 = P1点 [5] ターミネータ = スペシャル [6] イメージ解像度 = 360dpi [7] 簡調表紙 = 高速拡散 [8] 重ね描き = 後描き優先 [9] オンラインタイムアウト = 30sec [4] [*] レイアウト設定 [1] 配置方法 = コマンド [2] つなぎ作画 = オフ [3] カット位置 = データ優先 [4] レイアウト = オフ [5] [*] 機能設定 [1] スケール = 100.0% [2] ミラー = オフ</p>
<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [1] [*] メディア種類 = 種類 1 [1] 作画モード = 超高速 [2] 送り補正 [1] 初期調整作画 = 250.0/250mm [2] 初期調整値 [3] 確認調整作画 [3] 吸着ファン = 弱い [4] インク量 = 50% [5] インク乾燥時間 = 0sec [6] 紙浮き防止 [1] 開始時間 = オフ [2] 送り量 = 50mm [7] 先端フィード = 0mm [2] [*] ペン設定 ペン優先 = コマンド ペンNo. 幅 パレットNo. (先端) (つなぎ) 1 0.40mm 100 円弧 円弧 2 0.40mm 100 円弧 円弧 3 0.40mm 100 円弧 円弧 4 0.40mm 100 円弧 円弧 5 0.40mm 100 円弧 円弧 6 0.40mm 100 円弧 円弧 7 0.40mm 100 円弧 円弧 8 0.40mm 100 円弧 円弧</p>	<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [3] [*] コマンド設定 [1] コマンド = MH-GL GL2 [2] 作画単位 = 0.025mm [3] 原点 = 中心 [4] 描き出し位置 = P1点 [5] ターミネータ = スペシャル [6] イメージ解像度 = 360dpi [7] 簡調表紙 = 高速拡散 [8] 重ね描き = 後描き優先 [9] オンラインタイムアウト = 30sec [4] [*] レイアウト設定 [1] 配置方法 = コマンド [2] つなぎ作画 = オフ [3] カット位置 = データ優先 [4] レイアウト = オフ [5] [*] 機能設定 [1] スケール = 100.0% [2] ミラー = オフ</p>		

<p><メニュー設定2></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [6] [*] サイドマージン = 5mm [7] [*] メディア検出 = 幅のみ [8] [*] メディア幅 = 1600mm [9] [*] 巻取り装置 = オフ [10] [*] パワーオンクリーニング = オフ [11] [*] 原点設定 [12] [*] メディアカット = オフ-3段階 [13] [*] カットエラーチェック = オン [14] [*] OR作図移動機能 = 強制幅 [15] [*] 重ね描き回数 = 1回 [16] [*] 重ね描きウェイト = 0.0sec [17] [*] 斜行チェック = オン [18] [*] オートクリーニング 待機中 = オフ 印字中 = オフ 印字前 = オフ [19] [*] インク残量 = 100% [20] [*] ロール紙長さ設定 = オフ [21] [*] ヘッド洗浄 [22] [*] カッター交換 [23] [*] 初期化</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [24] [*] 寿命確認 ヘッド : E*****F ホンブ : E*****F QRモータ : E*****F PEモータ : E*****F [25] [*] IPアドレス = 192.168.001.253 [26] [*] サブネットマスク = 255.255.255.000 [27] [*] ゲートウェイ = 192.168.001.254 [28] [*] MACアドレス = 00:00:00:00:00:00</p> </td> </tr> </table>		<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [6] [*] サイドマージン = 5mm [7] [*] メディア検出 = 幅のみ [8] [*] メディア幅 = 1600mm [9] [*] 巻取り装置 = オフ [10] [*] パワーオンクリーニング = オフ [11] [*] 原点設定 [12] [*] メディアカット = オフ-3段階 [13] [*] カットエラーチェック = オン [14] [*] OR作図移動機能 = 強制幅 [15] [*] 重ね描き回数 = 1回 [16] [*] 重ね描きウェイト = 0.0sec [17] [*] 斜行チェック = オン [18] [*] オートクリーニング 待機中 = オフ 印字中 = オフ 印字前 = オフ [19] [*] インク残量 = 100% [20] [*] ロール紙長さ設定 = オフ [21] [*] ヘッド洗浄 [22] [*] カッター交換 [23] [*] 初期化</p>	<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [24] [*] 寿命確認 ヘッド : E*****F ホンブ : E*****F QRモータ : E*****F PEモータ : E*****F [25] [*] IPアドレス = 192.168.001.253 [26] [*] サブネットマスク = 255.255.255.000 [27] [*] ゲートウェイ = 192.168.001.254 [28] [*] MACアドレス = 00:00:00:00:00:00</p>
<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [6] [*] サイドマージン = 5mm [7] [*] メディア検出 = 幅のみ [8] [*] メディア幅 = 1600mm [9] [*] 巻取り装置 = オフ [10] [*] パワーオンクリーニング = オフ [11] [*] 原点設定 [12] [*] メディアカット = オフ-3段階 [13] [*] カットエラーチェック = オン [14] [*] OR作図移動機能 = 強制幅 [15] [*] 重ね描き回数 = 1回 [16] [*] 重ね描きウェイト = 0.0sec [17] [*] 斜行チェック = オン [18] [*] オートクリーニング 待機中 = オフ 印字中 = オフ 印字前 = オフ [19] [*] インク残量 = 100% [20] [*] ロール紙長さ設定 = オフ [21] [*] ヘッド洗浄 [22] [*] カッター交換 [23] [*] 初期化</p>	<p>[メニュー番号] [簡易選択] メニュー = 設定値 [24] [*] 寿命確認 ヘッド : E*****F ホンブ : E*****F QRモータ : E*****F PEモータ : E*****F [25] [*] IPアドレス = 192.168.001.253 [26] [*] サブネットマスク = 255.255.255.000 [27] [*] ゲートウェイ = 192.168.001.254 [28] [*] MACアドレス = 00:00:00:00:00:00</p>		

<p><各メディア種類設定></p>								
メディア種類	種類 1	種類 2	種類 3	種類 4	種類 5	種類 6	種類 7	種類 8
作画モード	超高速	超高速	超高速	超高速	超高速	超高速	超高速	超高速
送り補正>初期調整値	250.0/250mm	250.0/250mm	250.0/250mm	250.0/250mm	250.0/250mm	250.0/250mm	250.0/250mm	250.0/250mm
吸着ファン	弱い	弱い	弱い	弱い	弱い	弱い	弱い	弱い
インク量	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
インク乾燥時間	0sec	0sec	0sec	0sec	0sec	0sec	0sec	0sec
紙浮き防止>開始時間	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
紙浮き防止>送り量	50mm	50mm	50mm	50mm	50mm	50mm	50mm	50mm
先端フィード	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm

3.7 画質微調整

作画に最適な画質の調整（画質微調整）を行う時に使用します。

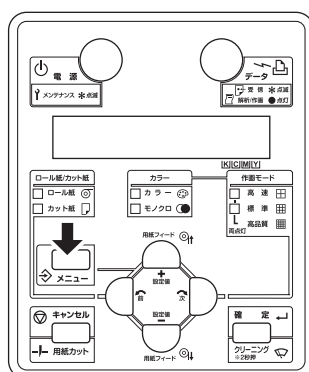
画質微調整は、作画モードごとに設定する必要があります。

使用する作画モードを選択後、以下の手順に従って画質微調整を行ってください。

注 記

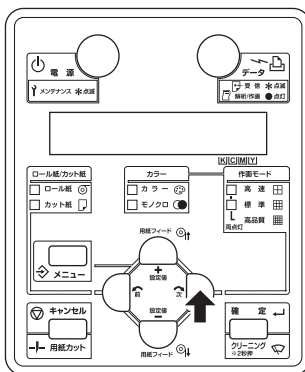
- 本製品は、工場出荷時に作画に最適な画質が得られるよう調整済みです。製品の設置環境、使用する用紙等を変更して、作画画質が変化した場合に、画質微調整を行ってください。

- 製品の電源を ON にして、ロール紙をセットします。
 ③3.5.2 ロール紙のセット方法
- 製品が通常状態であることを確認します。
- 操作パネルに作画モードメニューを表示させます。
 - 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



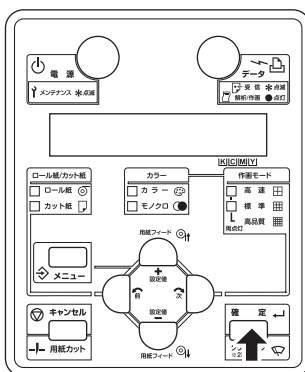
- 操作パネルに「メニュー1：セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

- b. 操作パネルの [次] キーを押します。



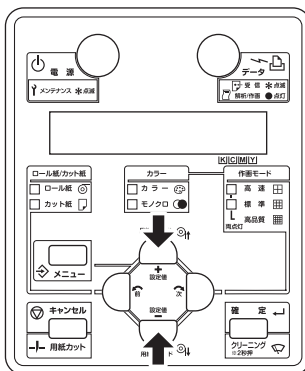
- 操作パネルに「セット 1 : メディアシュルイ」と表示されます。

- c. 操作パネルの [確定] キーを押します。

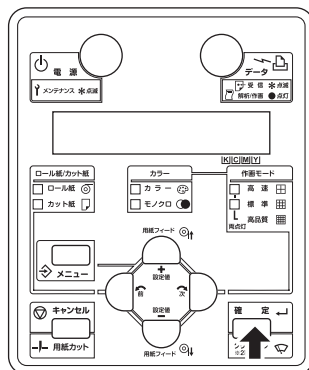


- 操作パネルに「メディア : シュルイ 1」と表示されます。

- d. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



- e. 操作パネルの [確定] キーを押します。

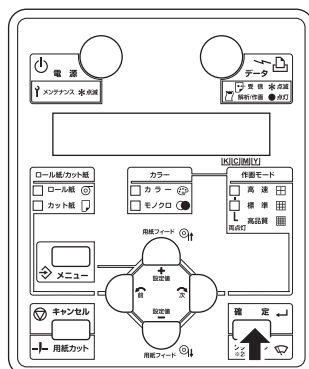


- 操作パネルに「** > 1 : サクカ`モード`」と表示されます。

参考

- 「**」には、選択した用紙種類（種類 1 ~ 8）が表示されます。
[図 4.5.1 用紙種類メニュー](#)

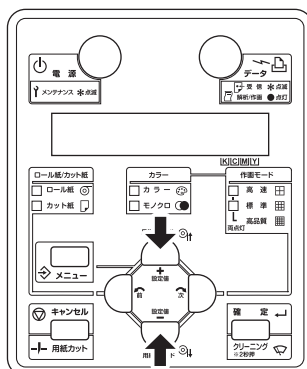
- f. 操作パネルの [確定] キーを押します。



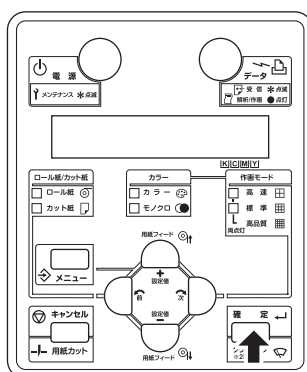
- 操作パネルに「モード` : チョウコウソク` ->」と表示されます。
- 作画モードメニューに移行します。
[図 4.5.1.1.1 作画モードメニュー](#)

4. 使用する作画モードを選択します。

- a. 操作パネルの〔設定値+〕キーまたは〔設定値-〕キーを押して、使用する作画モードを選びます。

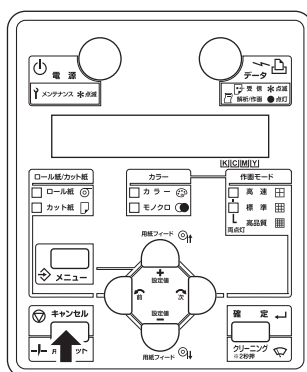


- b. 操作パネルの〔確定〕キーを押します。



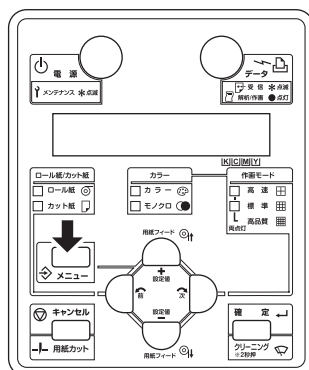
- 作画モードが設定されます。

- c. 操作パネルの〔キャンセル〕キーを3回押します。

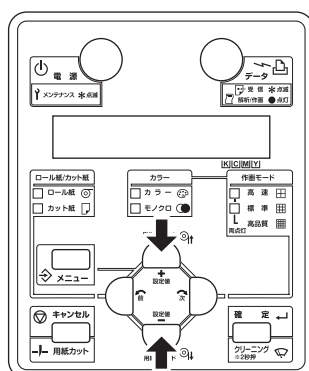


- 操作パネルが通常状態に戻ります。

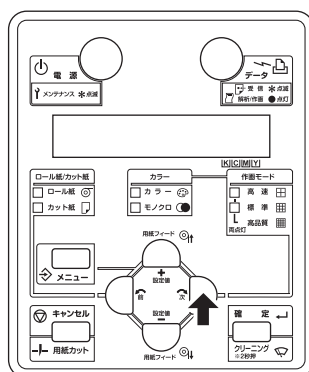
5. 操作パネルに調整作画メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー 1 : セッテイ >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「メニュー 3 : チョウセイサクカ >」を選択します。

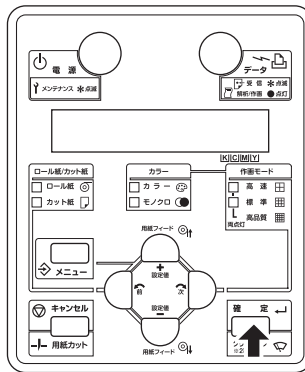


- c. 操作パネルの [次] キーを押します。

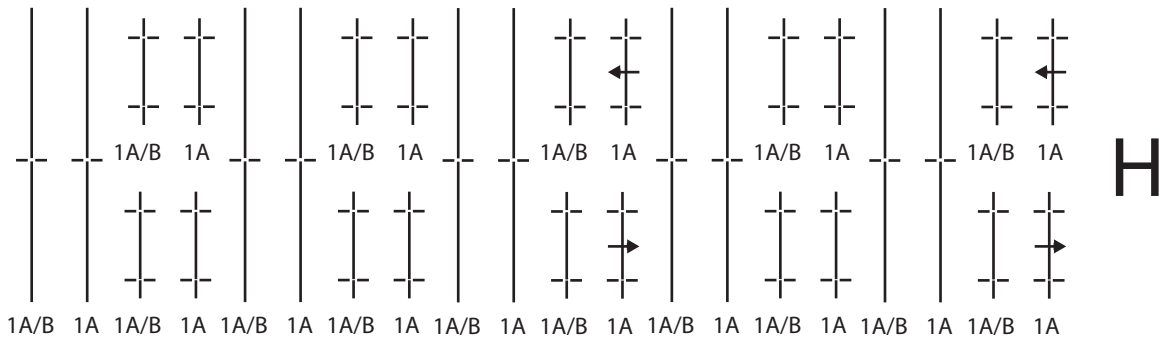


- 操作パネルに「チョウセイ 1 : カクニンハ° ターン」と表示されます。
 - 調整作画メニューに移行します。
- ☞ 4.7 調整作画メニュー

6. 操作パネルの [確定] キーを押します。

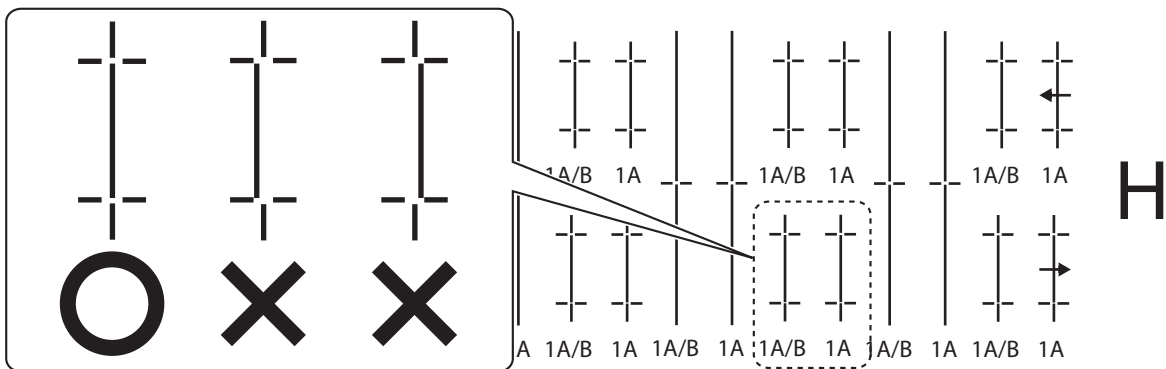


- 画質調整のための確認パターン作画を開始します。



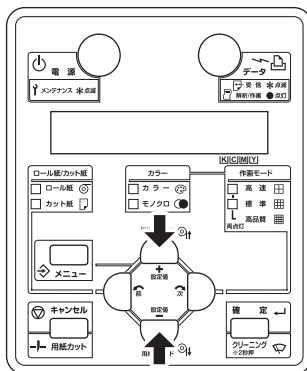
- 確認パターン作画が終了すると、操作パネルが通常状態に戻ります。

7. 確認パターンの作画結果が、次図のようになっていることを確認します。

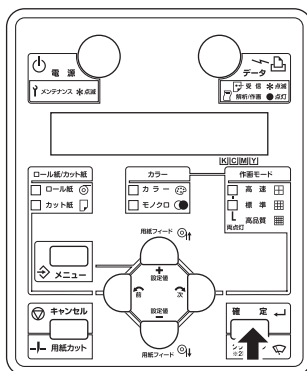


- 作画結果が○の場合：
画質微調整は不要です。
画質微調整を終了します。
- 作画結果が×の場合：
画質微調整が必要です。
手順 8 に進みます。

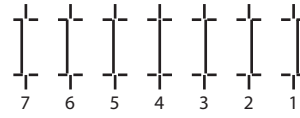
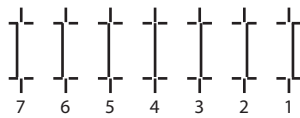
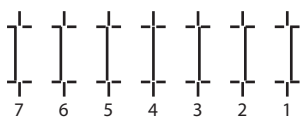
8. Bi-D Hi Speed（双方向作画・超高速モード）の設定値を登録します。
- 手順5と同様に、操作パネルに調整作画メニューを表示させます。
 - 操作パネルの〔設定値+〕キーまたは〔設定値-〕キーを押して「チョウセイ2：Bi-D Hi Speed」を選択します。



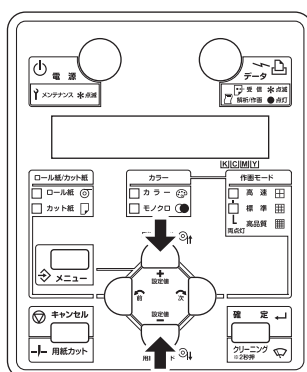
- 操作パネルの〔確定〕キーを押します。



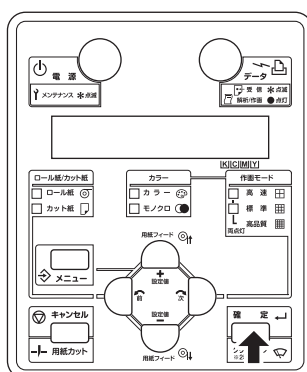
- Bi-D HiSpeed パターン作画を開始します。
- Bi-D HiSpeed パターン作画の、用紙両端と中央の作画結果を見て、直線にズレのないように見える番号を選択します。
次図の作画サンプルの例では、「4」を選択します。



- e. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、手順 d で選んだ番号を入力します。



- f. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- Bi-D HiSpeed の設定値が登録されます。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
9. 手順 8 と同様にして、Bi-D Speed (双方向作画・高速モード)、Bi-D Normal (双方向作画・標準モード) の設定値を登録します。
- 画質微調整を終了します。

3.8 コンピュータとの接続

本製品とコンピュータの接続方法について説明します。

3.8.1 接続ケーブルの準備

本製品では、コンピュータとの接続に、ネットワーク・インターフェイスを装備しています。本製品とコンピュータを接続するためには、ネットワーク・インターフェイスケーブルが必要です。

接続するコンピュータや目的に応じて準備してください。

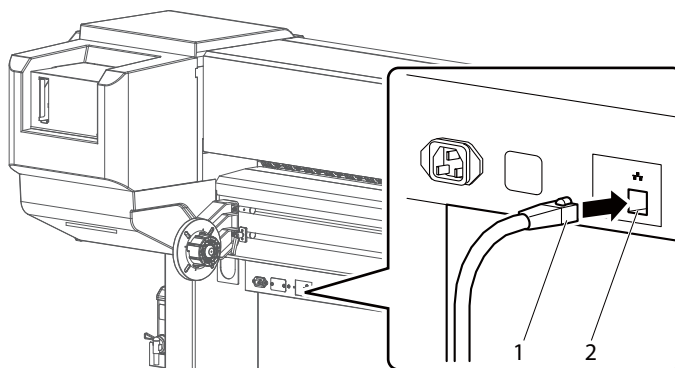
参 考

- ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続方法については、「3.8.2 ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続」を参照してください。
- 接続するケーブルの推奨仕様については、「7.3 インターフェイス仕様」を参照してください。

3.8.2 ネットワーク・インターフェースケーブルの接続

ネットワーク・インターフェースケーブルの接続手順について説明します。
以下の手順に従って、本製品をコンピュータに接続してください。

1. 本製品とコンピュータ双方の電源を OFF します。
2. ネットワーク・インターフェースケーブルのコネクタを、製品右側面のネットワーク・インターフェイスコネクタに差込みます。



番号	名称
1	ネットワーク・インターフェースケーブル
2	ネットワーク・インターフェイスコネクタ

3. ネットワーク・インターフェースケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータに接続します。

参 考

- コンピュータへの接続については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。
- プロッタ側のネットワーク設定は、「4.5 設定メニュー」を参照してください。

4 操作方法

4.1	はじめに	4-1
4.2	作画フロー	4-1
4.3	用紙について	4-2
4.3.1	用紙種類	4-2
4.3.2	用紙の取扱上の注意	4-3
4.3.3	用紙の保管時の注意	4-4
4.3.4	作画領域	4-4
4.3.5	ヘッド高さ調整	4-5
4.3.6	用紙送り補正.....	4-9
4.4	操作パネルのメニュー設定	4-14
4.5	設定メニュー	4-17
4.5.1	用紙種類メニュー	4-19
4.5.2	ペン設定メニュー	4-24
4.5.3	コマンド設定メニュー.....	4-25
4.5.4	レイアウト設定メニュー.....	4-26
4.5.5	機能設定メニュー	4-26
4.5.6	サイドマージンメニュー.....	4-27
4.5.7	メディア検出メニュー.....	4-27
4.5.8	メディア幅メニュー	4-27
4.5.9	巻取り装置メニュー	4-28
4.5.10	パワーオンクリーニングメニュー.....	4-28
4.5.11	原点設定メニュー	4-29
4.5.12	メディアカットメニュー.....	4-30
4.5.13	カットエラーチェックメニュー	4-30
4.5.14	CR 作画移動幅メニュー	4-31
4.5.15	重ね描き回数メニュー.....	4-31
4.5.16	重ね描きウェイトメニュー	4-31
4.5.17	斜行チェックメニュー.....	4-32
4.5.18	オートクリーニングメニュー	4-32
4.5.19	インク残量メニュー	4-33
4.5.20	ロール紙長さ設定メニュー	4-34
4.5.21	ヘッド洗浄メニュー	4-35
4.5.22	カッター交換メニュー.....	4-35
4.5.23	初期化メニュー	4-36
4.5.24	寿命確認メニュー	4-37
4.5.25	IP アドレスメニュー	4-37
4.5.26	サブネットマスクメニュー	4-38
4.5.27	ゲートウェイメニュー.....	4-38
4.5.28	MAC アドレスメニュー.....	4-38

4.6	テスト作画メニュー	4-39
4.7	調整作画メニュー	4-40
4.8	クリーニングメニュー	4-41
4.9	簡易選択メニュー	4-42
4.10	バージョンメニュー	4-44
4.11	操作パネルからの各種操作	4-45
4.11.1	用紙送り	4-45
4.11.2	作画の中断	4-46
4.11.3	用紙のカット	4-47
4.11.4	用紙のマニュアルカット	4-48
4.11.5	作画の一時停止	4-50

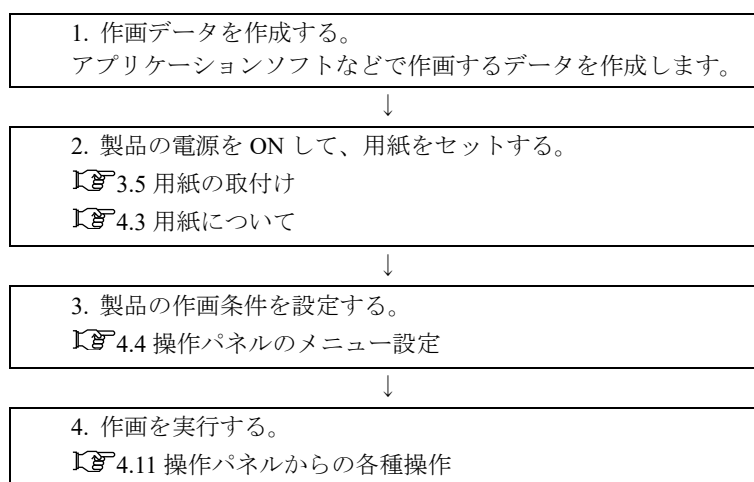
4 操作方法

4.1 はじめに

この章では、本製品の操作方法について説明します。

4.2 作画フロー

本製品で作画するために必要な手順を以下のフローに示します。
必要に応じて、それぞれの項目を参照してください。



注 記

- 作画中はフロントカバーを開けないでください。フロントカバーを開けた場合、製品は作画を中断します。フロントカバーを閉じると製品は作画を再開しますが、作画品質は保証できなくなります。

4.3 用紙について

本製品で使用可能な用紙の詳細について説明します。

4.3.1 用紙種類

用紙の種類と品質は、作画結果の仕上がりに大きく影響します。以下の説明をよく理解して、用途に合った用紙を使用してください。

本製品では、以下の推奨用紙を用意しています。用途にあわせて、適切な用紙を選択してください。

用紙種類	用紙サイズ	仕様			備考
CAD フォーム No.50	1,600 mm × 300 m	作画精度保証環境	温度 (°C)	22 ~ 30	—
			湿度 (%)	40 ~ 60	
		動作保証環境 (巻取り使用时含む)	温度 (°C)	15 ~ 32	
			湿度 (%)	20 ~ 65	
用紙設定	吸着ファン	通常			
CAD KS ロール紙	1,600 mm × 300 m	作画精度保証環境	温度 (°C)	22 ~ 30	—
			湿度 (%)	40 ~ 60	
		動作保証環境 (巻取り使用时含む)	温度 (°C)	15 ~ 32	
			湿度 (%)	20 ~ 65	
用紙設定	吸着ファン	通常			
CAD クラフト紙	1,600 mm × 300 m	作画精度保証環境	温度 (°C)	22 ~ 30	—
			湿度 (%)	40 ~ 60	
		動作保証環境 (巻取り使用时含む)	温度 (°C)	15 ~ 32	
			湿度 (%)	20 ~ 65	
用紙設定	吸着ファン	通常			
CAD 筋入クラフト紙	1,600 mm × 400 m	作画精度保証環境	温度 (°C)	22 ~ 30	—
			湿度 (%)	40 ~ 60	
		動作保証環境 (巻取り使用时含む)	温度 (°C)	15 ~ 32	
			湿度 (%)	20 ~ 65	
用紙設定	吸着ファン	弱い			

注 記

- 本製品では、次の各場合に発生した不具合については保証対象外となります。
 - 推奨用紙を使用しているも、上記の使用条件を満たしていない場合
 - 上記以外の用紙を使用した場合

4.3.2 用紙の取扱上の注意

用紙を取扱う場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- 推奨用紙は、適切な環境下でご使用ください。
作画に適した温度・湿度は次のとおりです。

	温度	湿度
作画精度保証範囲	22℃～30℃	40%～60%
変化率	1時間あたり2℃以内	1時間あたり5%以内
- 折り目、傷、破れ、反り、および巻き癖のある用紙は使用しないでください。
用紙は、作画環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。用紙の使用前には、作画環境に約30分間以上放置して、作画環境に慣らしてください。
- 作画環境に慣らさないうちに作画を行うと、作画用紙のズレ、シワなどにより紙ジャムが発生する恐れがあります。また、作画品質にも悪影響があります。
- 低湿時の環境で使用する場合は、用紙の貼付きによってカットした用紙が落ちない場合があります。その場合、用紙先端カット後フロントカバーを開けて用紙を取除いてください。
- 用紙の貼付きによってカットした用紙が落ちない場合、用紙カットエラーになる場合があります。その場合、「4.5.13 カットエラーチェックメニュー」をOFFにして、手動で用紙を取除いてください。
- 用紙には印字面と非印字面があります。非印字面に印字すると、カスレ・にじみの原因となります。
- 用紙の印字面には手を触れないでください。手についた水分・油脂が、作画品質に影響します。
- 長時間作画を行わない場合は、加圧レバーを上げておいてください。紙浮き、シワなどが起こりにくくなります。
- 長時間作画を行わず加圧レバーを下げた状態が続くと、加圧力で用紙が浮いてしわになる場合があります。その場合、「4.5.1.1.6 紙浮き防止メニュー」を参照して設定を行ってください。
- 用紙をセットした状態で、長時間放置しないでください。用紙によって癖がつき、紙浮き、紙ジャム、印字品質低下の原因となります。特に冬季・乾燥期・正式出図時には、こうした用紙の使用は避けてください。
- 用紙の個装箱・個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、紛失しないでください。

4.3.3 用紙の保管時の注意

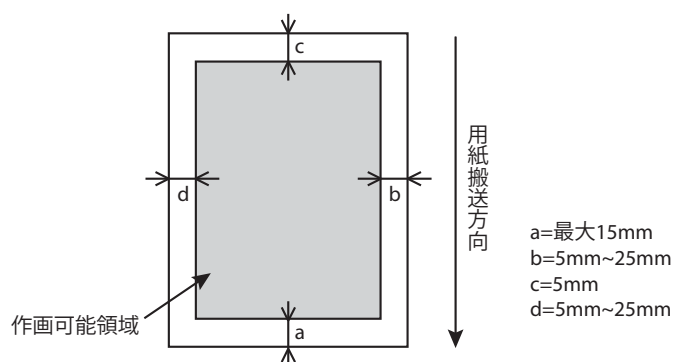
用紙を保管する場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないロール紙は、ロール紙受けから取外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。

4.3.4 作画領域

本製品の作画可能な領域は以下のとおりです。



4.3.5 ヘッド高さ調整

印字率の高い作画を行う場合や反りの強い用紙を使用する場合、ヘッド擦れを起こす場合があります。

ヘッド高さを切替えることでヘッド擦れを回避できる場合があります。

ヘッド高さは、プリントヘッド部のヘッド高さ調整レバーで切替えることができます。

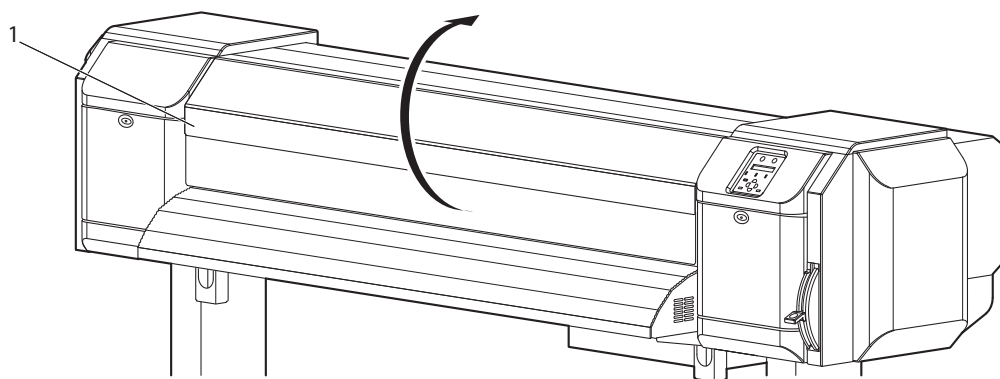
以下の手順に従って、ヘッド高さを切替えてください。

4.3.5.1 ヘッド高さを高くする場合

注 記

- ヘッド高さ調整レバーを上げた場合、作画品質は保証できません。
- 作画中にフロントカバーを開け、ヘッド高さを切替えないでください。
ヘッド高さを切替えると、画質調整が変わってしまい、作画品質が保証できません。

1. フロントカバーを開けます。

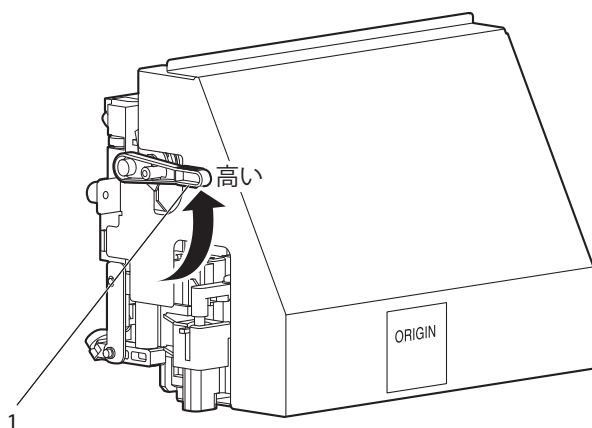


番号	名称
1	フロントカバー

2. ヘッド高さ調整レバー（オレンジ色）を動かして、ヘッド高さを切替えます。

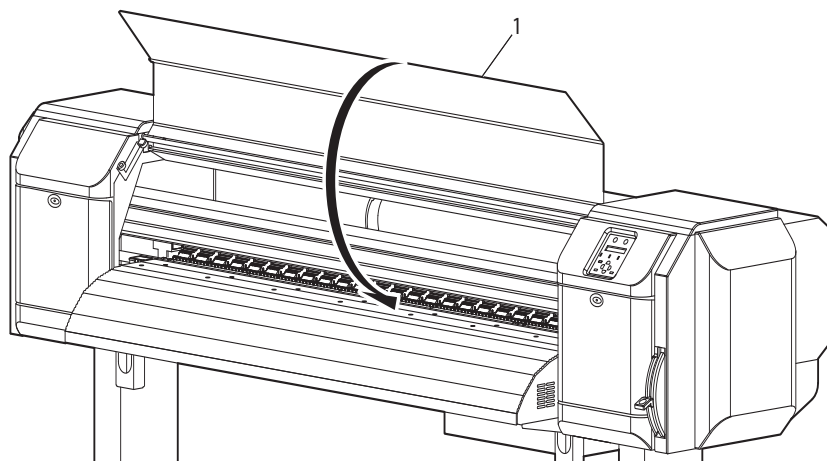
注 記

- ヘッド高さ調整レバーを次図の位置より上げないでください。
製品を破損させる恐れがあります。



番号	名称
1	ヘッド高さ調整レバー

3. フロントカバーを閉じます。



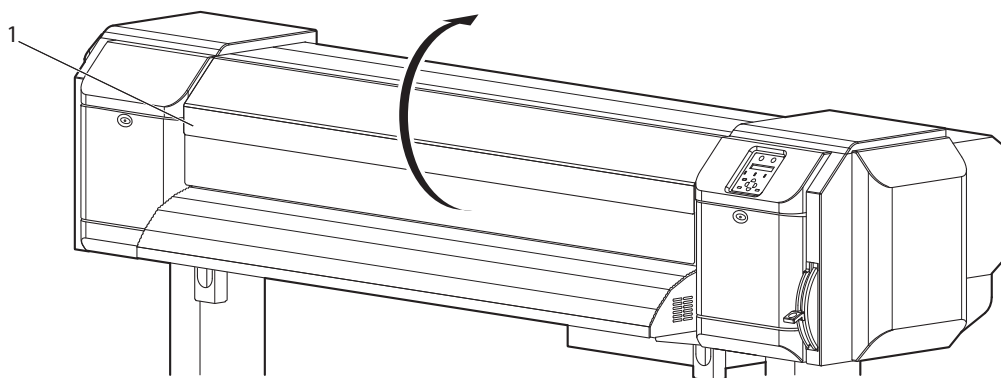
番号	名称
1	フロントカバー

4.3.5.2 ヘッド高さを元に戻す場合

注 記

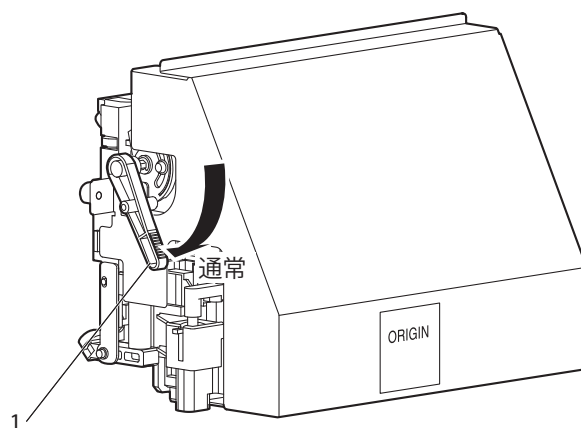
- 作画中にフロントカバーを開け、ヘッド高さを切替えないでください。
ヘッド高さを切替えると、画質調整が変わってしまい、作画品質が保証できません。

1. フロントカバーを開けます。



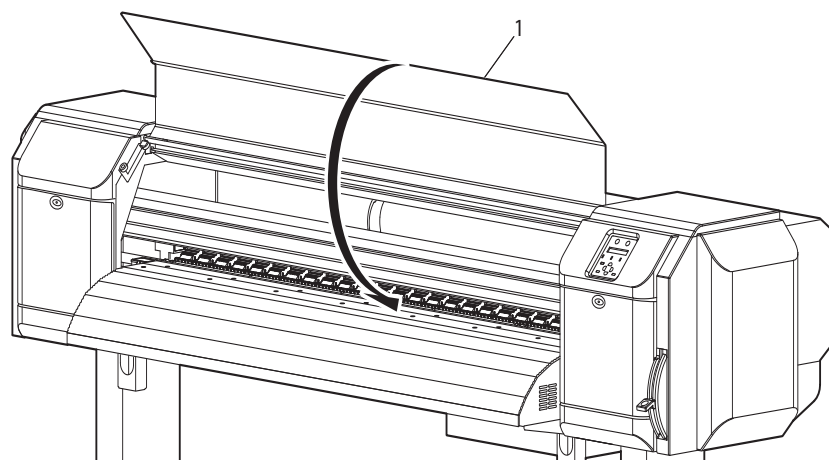
番号	名称
1	フロントカバー

2. ヘッド高さ調整レバー（オレンジ色）を動かして、ヘッド高さを切替えます。



番号	名称
1	ヘッド高さ調整レバー

3. フロントカバーを閉じます。



番号	名称
1	フロントカバー

4.3.6 用紙送り補正

用紙送り補正について説明します。

用紙によっては、用紙送り量が変化するため、作画結果に以下の現象がみられることがあります。

- 作画された画像が重なる
- 作画された画像に白い筋が入る 等

このような場合には、次の方法で用紙搬送精度が改善することがあります。

1. 用紙送り補正値を調整する。
☞4.3.6.1 用紙送り補正値の調整手順
2. 用紙を強く固定する。
☞4.3.6.2 用紙を強く固定する方法

4.3.6.1 用紙送り補正値の調整手順

1. 操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー 1 : セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [次] キーを押します。
 - 操作パネルに「セット 1 : メテ` イアシュルイ」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「メテ` イア : シュルイ 1」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。
 - e. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - 操作パネルに「**> 1 : サクカ` モート` 」と表示されます。

参 考

- 「**」には、選択した用紙種類（種類 1～8）が表示されます。

☞4.5.1 用紙種類メニュー

- f. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、「**> 2 : オクリホセイ」を選びます。

- g. 操作パネルの [次] キーを押します。
- 操作パネルに「ホセイ 1 : ショキチヨウセイサクカ[°]」と表示されます。
 - 用紙送り補正メニューに移行します。
☞4.5.1.1.2 用紙送り補正メニュー

2. 初期調整作画を行ないます。

- a. 操作パネルの [確定] キーを押します。
- 操作パネルに「フィート[°] ナカ[°] サ : 2 5 0 m m」と表示されます。

参 考

- 初期調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、用紙送り補正の精度が若干向上します。
 フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、設定値を変更してください。

- b. 操作パネルの [確定] キーを押します。
- 操作パネルに「データサクカ[°] チュウ」と表示されます。
 - 初期調整作画を開始します。



番号	名称
1	フィード長さ
2	用紙搬送方向

- 初期調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- c. 初期調整作画終了後、用紙をカットします。
☞4.11.3 用紙のカット
☞4.11.4 用紙のマニュアルカット
3. 定規等を使用して、初期調整作画の「+」間の長さを測ります。

4. 初期調整値を設定します。
 - a. 操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、「ホセイ 2 : ショキチョウセイチ」を選びます。
 - b. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - ・ 操作パネルに「チョウセイチ : 2 5 0 . 0 / 2 5 0 mm」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、手順 3 で測った実測値を入力します。
 - d. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - ・ 初期調整値が保存されます。
 - ・ 操作パネルに「ホセイ 2 : ショキチョウセイチ」と表示されます。
5. 確認調整作画を行ないます。
 - a. 操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、「ホセイ 3 : カクニンチョウセイサクカ[°]」を選びます。
 - b. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - ・ 操作パネルに「フィート[°] ナカ[°] サ : 2 5 0 m m」と表示されます。

参 考

- ・ 確認調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
- ・ フィード長さを長くすると、用紙送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、設定値を変更してください。

- c. 操作パネルの [確定] キーを押します。
 - ・ 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示されます。
 - ・ 確認調整作画を開始します。

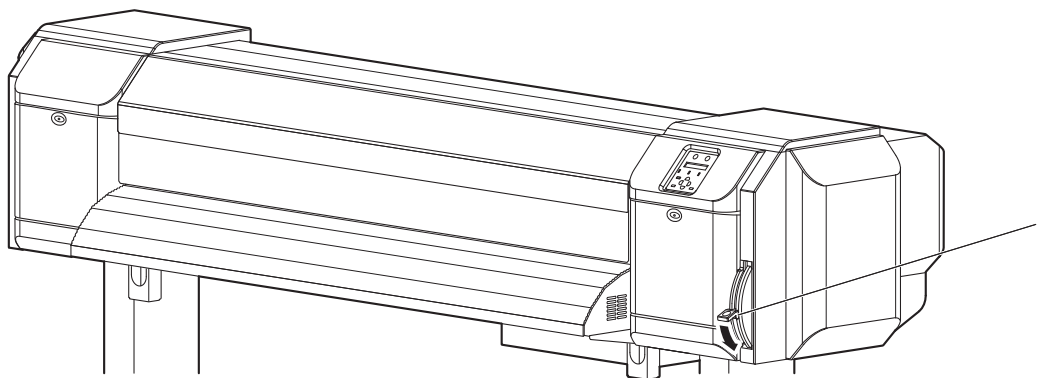


番号	名称
1	フィード長さ
2	用紙搬送方向

- ・ 確認調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- d. 確認調整作画終了後、用紙をカットします。
- ☞4.11.3 用紙のカット
 - ☞4.11.4 用紙のマニュアルカット
6. 定規等を使用して、確認調整作画の作画された「+」間の長さを測り、作画時のフィード長さと一致しているか確認します。
- a. 長さが一致していない場合は、手順 1 ～ 5 に従って再度調整を行います。
 - b. 長さが一致した場合は、用紙送り補正值の調整を終了します。

4.3.6.2 用紙を強く固定する方法

1. 製品にロール紙をセットします。
☞3.5.2 ロール紙のセット方法
2. 用紙セットレバーを一番下まで下げます。



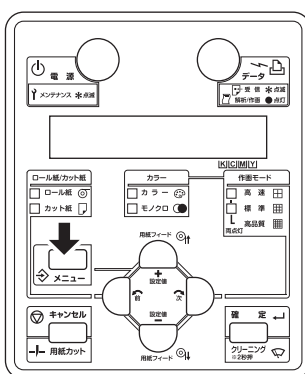
番号	名称
1	用紙セットレバー

3. 用紙送り補正値を再度調整します。
☞4.3.6.1 用紙送り補正値の調整手順

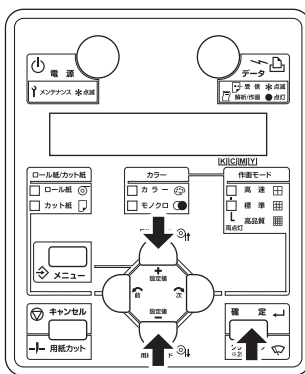
4.4 操作パネルのメニュー設定

以下の手順に従って、各メニューの設定を行ってください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
3. 操作パネルの [設定値+] キーまたは [設定値-] キーを押して、設定する項目を選択し、[確定] キーを押します。

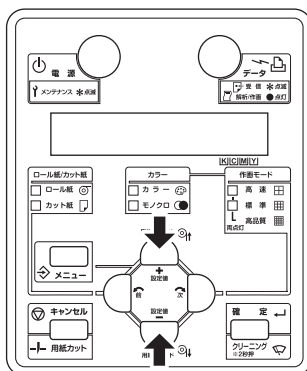


- 設定項目を確定します。
- 設定項目にサブメニューがある場合は、次のメニュー階層に移行します。

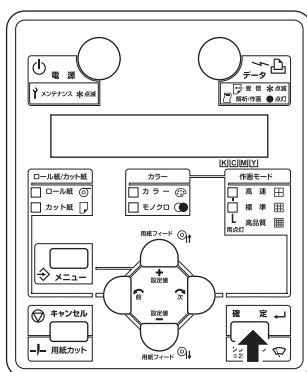
注 記

- 設定項目にサブメニューがある場合は、設定パネルの液晶表示部の右端に「>」と表示されます。
- 各設定項目の概要については、「4.5 設定メニュー」を参照してください。

4. 操作パネルの液晶表示部で、点滅している部分は設定値を変更することができます。
操作パネルの「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押して、設定値を変更します。



5. 変更した設定値を保存する場合は、操作パネルの「確定」キーを押します。

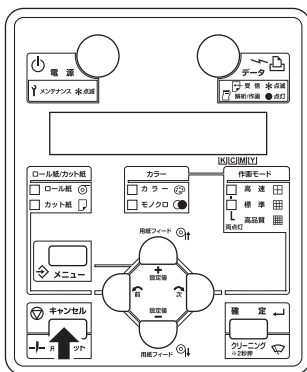


- ・ 設定値が保存され、次の設定項目に移行します。

注 記

- ・ 設定値を変更後、「確定」キーを押さずに「キャンセル」キー、および「設定値+」キーまたは「設定値-」キーを押すと、変更した設定値は保存されません。

6. 設定を終了する場合は、操作パネルの [キャンセル] キーを押します。



- 1つ前の階層の設定メニューに戻ります。
- メインメニューが表示されている場合は、通常状態に戻ります。

4.5 設定メニュー

パネルメニューで、製品の各種設定を行います。

設定項目	内容
メディア種類	作画に使用する用紙種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.1 用紙種類メニュー
ペン設定	作画に使用するペンについての各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.2 ペン設定メニュー
コマンド設定	プロッタコマンドの各種条件設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.3 コマンド設定メニュー
レイアウト設定	レイアウト機能についての各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.4 レイアウト設定メニュー
機能設定	作画データの処理についての各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.5 機能設定メニュー
サイドマージン	作画時の左右のマージンを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.6 サイドマージンメニュー
メディア検出	用紙イニシャル時に用紙幅および先端の検出を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.7 メディア検出メニュー
メディア幅・幅確認	用紙イニシャル時に用紙検出を行わない場合、用紙セット目安から用紙の左端までの距離（用紙幅）を設定します。 用紙イニシャル時に用紙検出を行う場合、検出した用紙幅を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.8 メディア幅メニュー
巻取り装置	巻取り装置（オプション）の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.9 巻取り装置メニュー
パワーオンクリーニング	パワーオンクリーニングの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.10 パワーオンクリーニングメニュー
原点設定	作画データの作画開始位置（原点）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.11 原点設定メニュー
メディアカット	用紙のカット動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.12 メディアカットメニュー
CR 作画移動幅	作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 4.5.14 CR 作画移動幅メニュー

設定項目	内容
重ね描き回数	作画 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.15 重ね描き回数メニュー
重ね描きウェイト	重ね描き作画時のウェイト時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.16 重ね描きウェイトメニュー
斜行チェック	用紙搬送中の斜行検出を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.17 斜行チェックメニュー
オートクリーニング	作画中にオートクリーニングを行う時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.18 オートクリーニングメニュー
ロール紙長さ	セットしたロール紙の長さを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.20 ロール紙長さ設定メニュー
ヘッド洗浄	ヘッド洗浄処理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.21 ヘッド洗浄メニュー
カッター交換	カッター交換処理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.22 カッター交換メニュー
初期化	製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.23 初期化メニュー
寿命確認	製品各部の部品寿命を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.24 寿命確認メニュー
IP アドレス	製品の IP アドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.25 IP アドレスメニュー
サブネットマスク	製品のサブネットマスクを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.26 サブネットマスクメニュー
ゲートウェイ	製品のゲートウェイを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.27 ゲートウェイメニュー
MAC アドレス	製品の MAC アドレスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.28 MAC アドレスメニュー
一時詳細表示	簡易設定メニューで「Off」または「ALL Off」に設定した項目を、設定メニューで一時的に表示させることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：設定メニューの全ての項目が表示された状態で、前階層のメニューに戻ります。 ・ [キャンセル] キー：設定メニューが表示されているときに押すと、簡易選択メニューで設定した元の状態に戻ります。  4.5 設定メニュー

4.5.1 用紙種類メニュー

作画に使用する用紙種類を設定します。

設定項目	設定値	内容
メディア	種類 1	作画に使用する用紙種類を設定します。 作画動作に関する設定値は「種類 1～8」として、それぞれ 8 通り設定することができます。 ・ [確定] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー
	種類 2	
	種類 3	
	種類 4	
	種類 5	
	種類 6	
	種類 7	
	種類 8	
	—	・ [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー









ユーザ用紙についての各種設定を行います。

ユーザ用紙メニューでは、以下の作画動作についての各設定値を「種類 1～8」として、それぞれ 8 通り設定することができます。

注 記


- 推奨用紙以外の用紙（ユーザ用紙）を使用した場合、次の諸問題が発生することがあります。
 - 用紙検出エラー
 - 用紙の斜行、破れ、シワ
 - 用紙の詰まり
 - インクのにじみ、かすれ、汚れにより、良好な作画品質が得られない
 - ロール紙のエンド検出が出来ない 等

ユーザ用紙の使用が原因となって発生した諸問題については、保証対象外（有償修理）となります。
 詳細については、「7.5.1 製品に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

設定項目	設定値	内容
種類 1 ~ 8	作画モード	作画するデータの用途や作画速度等に合わせて、作画モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.1 作画モードメニュー
	送り補正	用紙送り補正についての各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [次] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.2 用紙送り補正メニュー
	吸着ファン	吸着ファンの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.3 吸着ファンメニュー
	インク量	インク量を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.4 インク量メニュー
	インク乾燥時間	インク乾燥時間の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.5 インク乾燥時間メニュー
	紙浮き防止	紙浮き防止の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.6 紙浮き防止メニュー
	先端フィード	先端フィードの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：次階層のメニューに進みます。  4.5.1.1.8 先端フィードメニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル] キー：前階層のメニューに戻ります。  4.5.1 用紙種類メニュー

4.5.1.1.1 作画モードメニュー

作画するデータの用途や作画速度等に合わせて、作画画質についての設定値（作画モード）を設定します。

設定項目	設定値	内容
作画モード	<超高速>	高速よりも作画速度を優先したい場合に設定します。
	高速	標準よりも作画速度を優先したい場合に設定します。
	標準	作画速度を優先したい場合に設定します。 正式出図時など、作画結果に精度を要求される場合にご使用ください。
	高品質	標準よりも作画画質を高品質にしたい場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー

4.5.1.1.2 用紙送り補正メニュー

用紙送り補正についての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
補正	初期調整作画	初期調整作画を行います。 • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ (1) 初期調整作画メニュー
	初期調整値	初期調整値を設定します。 • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ (2) 初期調整値メニュー
	確認調整作画	確認調整作画を行います。 • [確定]キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ (3) 確認調整作画メニュー
	—	• [キャンセル]キー：前階層のメニューに戻ります。 ☞ 4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー

(1) 初期調整作画メニュー

初期調整作画を行います。

設定項目	設定値	内容
フィード長さ	100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm	• 初期調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）を変更します。 • [確定]キー：設定値が確定します。 操作パネルに「デ — タサクカ チュウ」と表示され、初期調整作画が開始します。 作画終了後、通常状態に移行します。
	—	• [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 4.5.1.1.2 用紙送り補正メニュー


(2) 初期調整値メニュー

初期調整値を設定します。

設定項目	設定値	内容
調整値	<初期調整作画メニューの 設定値> ± 50.0 mm	初期調整値を設定します。
	—	• [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 4.5.1.1.2 用紙送り補正メニュー

(3) 確認調整作画メニュー


確認調整作画を行います。

設定項目	設定値	内容
フィード長さ	100 mm ～ <250 mm> ～ 500 mm	<ul style="list-style-type: none"> 確認調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）を変更します。 [確定]キー：設定値が確定します。操作パネルに「データサクカ チュウ」と表示され、確認調整作画が開始します。作画終了後、通常状態に移行します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.1.1.2 用紙送り補正メニュー

4.5.1.1.3 吸着ファンメニュー


吸着ファンの動作を設定します。

用紙の性質に合わせて、作画時の用紙吸引力を調節します。

設定項目	設定値	内容
吸着ファン	さらに弱い	特に柔らかい用紙を使用する時に、「弱い」設定でも用紙ジャムを起こす恐れがある場合に設定します。
	<弱い>	柔らかい用紙を使用する時に使用します。
	通常	一般的な用紙を使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー

4.5.1.1.4 インク量メニュー

用紙の性質に合わせて、作画時のインク吐出量を調節します。

設定項目	設定値	内容
インク量	<50%> ～ 100%	インク量を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー

4.5.1.1.5 インク乾燥時間メニュー

作画用紙のインクを乾燥させるため、作画終了からロール紙カットまでの待機時間を設定します。

設定項目	設定値	内容
インク乾燥時間	<0 秒> ~ 270 秒 ~ 60 分	インク乾燥時間を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー

4.5.1.1.6 紙浮き防止メニュー

紙浮き防止メニューの設定を行います。

長時間作画を行わず加圧レバーを下げた状態が続くと、加圧力で用紙が浮いてしわになる場合があります。

紙浮き防止メニューを設定した場合、設定時間毎に用紙を少し送り、紙浮きを防止します。

設定項目	設定値	内容
開始時間	<オフ>	紙浮き防止動作を設定します。
	5 分	<ul style="list-style-type: none"> • オフ：紙浮き防止動作を行いません。 • 5 分：通常状態時に 5 分経過後、送り量メニューで設定した長さ分、用紙を送ります。 ⓘ 4.5.1.1.7 送り量メニュー
	10 分	<ul style="list-style-type: none"> • 10 分：通常状態時に 10 分経過後、送り量メニューで設定した長さ分、用紙を送ります。 ⓘ 4.5.1.1.7 送り量メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー


4.5.1.1.7 送り量メニュー

紙浮き防止メニューで 5 分、10 分に設定した場合の用紙送り量を設定します。

設定項目	設定値	内容
送り量	<50 mm> / 100 mm	紙浮き防止メニューを設定した場合の、用紙送り量を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー



4.5.1.1.8 先端フィードメニュー

作画開始時に用紙送りを行います。

設定項目	設定値	内容
先端フィード	<0 mm> ~ 400 mm	先端フィード量を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【  4.5.1.1 ユーザ用紙メニュー

4.5.2 ペン設定メニュー

作画に使用するペンについての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
ペン優先	パネル	ペン設定について、パネルでの設定を優先するか、コマンドからの設定を優先するかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「パネル」に設定した場合は、次の設定項目に進みます。 【  4.5.2.1 ペン設定項目で「パネル」に設定した場合
	<コマンド>	
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：前階層のメニューに戻ります。 【  4.5 設定メニュー

4.5.2.1 ペン設定項目で「パネル」に設定した場合

設定項目	設定値	内容
ペン1幅～ペン8幅	0.10 mm / 0.15 mm / 0.20 mm / 0.25 mm / 0.30 mm / 0.35 mm / <0.40 mm> / 0.45 mm / 0.50 mm / 0.55 mm / 0.60 mm / 0.65 mm / 0.70 mm / 0.75 mm / 0.80 mm / 0.85 mm / 0.90 mm / 0.95 mm / 1.00 mm	コンピュータから受信した作画データの、ペン番号に対するペン幅（線幅）を設定します。

4.5.3 コマンド設定メニュー

プロッタコマンドの各種条件設定を行います。

設定項目	設定値	内容
コマンド	<MH-GL、GL/2>	コンピュータから製品に送信するプロッタコマンドの条件設定を行います。
	MH-GL/2	
作画単位	<0.025 mm>	作画時の移動量の単位を設定します。
	0.010 mm	
原点	<中心>	作画データの原点位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 中心：ハードクリップの中心 • LL 点：ハードクリップの左下位置
	LL 点	
描き出し位置	<P1 点>	作画時の初期描き出し位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • P1 点：スケーリングポイントの初期位置 • LL 点：ハードクリップの左下位置 • フル：用紙の左下位置
	LL 点	
	フル	
ターミネータ	ノーマル	作画データに含まれるプロッタコマンドについて、作画終了時の機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ノーマル：プロッタコマンド本来の機能のみを使用する • スペシャル：SP0; (SP;) コマンドをデータの終了として認識する
	<スペシャル>	
解像度	<360 dpi>	画像データを作成する場合の解像度を設定します。
	720 dpi	
	1,440 dpi	
階調表現	<高速拡散>	MH-GL/GL2（ベクタ）データを作成する場合の、階調表現方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 高速拡散：誤差拡散風のマトリックスにより、高速な階調表現を行います。 • 高品質拡散：平均誤差最小法により、高品質に階調表現を行います。 • 薄い拡散：他社製プロッタ用に作成されたデータを作成する時に、「高速拡散」設定では作画結果が濃くなってしまう場合に設定します。
	高品質拡散	
	薄い拡散	
重ね描き	<後描き優先>	作画データで、図形が重なり合った部分の作画方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 後描き優先：後から作画する方の色を優先して作画します。 • 混ぜ合わせ：重なり合った部分の色を混ぜ合わせて作画します。
	混ぜ合わせ	
タイムアウト	オフ / 2 秒～<30 秒>～800 秒	コンピュータからの作画データ受信が途切れてから、作画データの終了を認識するまでの時間を設定します。

4.5.4 レイアウト設定メニュー

レイアウト機能についての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
配置方法	<コマンド>	作画データのレイアウト方法を設定します。 ・コマンド：作画データにてページサイズ指定コマンドがある場合、ページサイズ指定コマンドにて指定した領域から用紙サイズを判断し、データを配置します。 ・MAX-MIN：座標系原点やページサイズ指定コマンドに関係なく実データの最大値（MAX）最小値（MIN）より、そのデータがどの用紙サイズに収まるか判断し、領域の中心が用紙の中心と一致するようにデータを配置します。
	MAX-MIN	
つなぎ作画	<オフ>	つなぎ作画について設定します。 ・オフ：つなぎ作画を行いません。 ・オン：つなぎ作画を行います。
	オン	
カット位置	<データ優先>	作画終了後の用紙カット位置を設定します。 ・データ優先：作画データの大きさに合わせて、用紙をカットします。 ・規格サイズ：セットされた用紙幅にあわせて、規格サイズとなるように用紙をカットします。
	規格サイズ	
レイアウト	<オフ>	レイアウト機能について設定します。 ・オフ：作画データを配置変更しないで作画させます。 ・オン：作画データのサイズを自動判別して、使用するロール紙に無駄なく配置して作画させます。縦長の作画データで 90° 回転させてロール紙に収まる場合、作画データを 90° 回転させて作画させます。
	オン	

4.5.5 機能設定メニュー

作画データの処理についての各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
スケール	25% ~ <100%> ~ 400%	作画データの拡大・縮小倍率を設定します。 きわめて細かい線が含まれるラスタデータを、拡大または縮小して作画する場合は、スケールを 100% に設定して作画してください。
ミラー	<オフ>	作画データを反転させて作画する場合に設定します。 ・オフ：作画データを反転しません。 ・Y 軸オン：作画データを Y 軸方向へ反転させて作画する場合に設定します。
	Y 軸オン	

4.5.6 サイドマージンメニュー

作画時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。

設定項目	設定値	内容
サイドマージン	<5 mm> ~ 25 mm	サイドマージンを設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.5.7 メディア検出メニュー

用紙イニシャル時の、用紙検出方法について設定します。

設定項目	設定値	内容
検出	通常	用紙イニシャル時に、用紙の幅および先端の検出を行います。
	<幅のみ>	用紙イニシャル時に、用紙の幅の検出のみを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.5.8 メディア幅メニュー

用紙イニシャル時に出した用紙幅を表示します。

設定項目	設定値	内容
メディア幅	****mm	用紙イニシャル時に検出した用紙幅を表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5.8 メディア幅メニュー

4.5.9 巻取り装置メニュー

巻取り装置（オプション）の動作を設定します。

注 記

- 製品に巻取り装置が取付けられていない場合は、巻取り装置メニューを「オン」に設定しないでください。製品が正しく動作しなくなります。

参 考

- 巻取り装置（オプション）の詳細については、以下のいずれかにお問い合わせください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
 - ☎7.5.1 製品に関するお問い合わせ窓口

設定項目	設定値	内容
巻取り装置	<オフ>	巻取り装置を使用しません。
	オン	巻取り装置を使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☎4.5 設定メニュー

4.5.10 パワーオンクリーニングメニュー

電源を ON した時に、自動的にクリーニングを行うかどうかを設定します。

設定項目	設定値	内容
パワーオンクリーニング	<オフ>	パワーオンクリーニングを行いません。
	オン	電源を ON した時に、自動でクリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☎4.5 設定メニュー

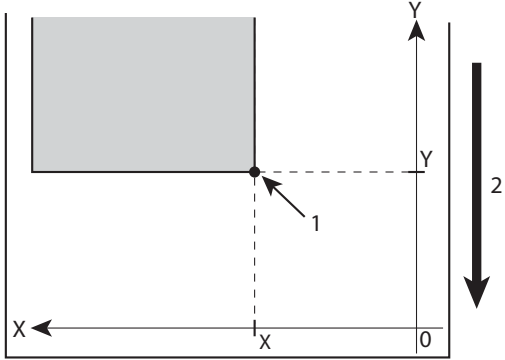


4.5.11 原点設定メニュー

作画データの作画開始位置（原点）を設定します。

既に作画した用紙に、作画データの配置を変えて余白部分に再度作画したい場合などに設定します。

注 記

- 原点設定を行ってプロッタの内部作画パターン（ノズルチェック等）を作画させた場合、作画開始位置は原点設定位置よりも若干ずれます。

設定項目	設定値	内容
原点設定	<ul style="list-style-type: none"> • X（プリントヘッド移動量）： 0000 mm ～ 99999 mm • Y（用紙送り量）： 0000 mm ～ 9999 mm 	<p>以下のキーを操作して、プリントヘッドの位置および用紙送り量を変更します。</p> <p>[次]キー：プリントヘッド移動量を減少させます。 [前]キー：プリントヘッド移動量を増加させます。 [設定値+]キー：用紙送り量を増加させます。 [設定値-]キー：用紙送り量を減少させます。</p>  <p>1. 作画開始位置 2. 用紙搬送方向</p> <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー： 操作パネルに「ゲンテンニイトウチュウ」と表示され、プリントヘッドが作画開始位置まで移動します。 操作パネルに次の内容が表示されます。
位置確認→確定		<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キーまたは一定時間経過後： 設定値が確定します。 プリントヘッドは元の位置に戻ります。 設定値を保存して、前階層のメニューに戻ります。 【 4.5 設定メニュー
—		<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【 4.5 設定メニュー

4.5.12 メディアカットメニュー

用紙のカット動作について説明します。

作画終了後に、用紙を自動的にカットする場合（オートカット）、または手動でカットする場合（マニュアルカット）の動作を設定します。

設定項目	設定値	内容
メディアカット	オフ -2 段階	作画終了後、オートカットを行いません。 製品が通常状態の時、操作パネルの [用紙カット] キーを押すと、用紙を 2 段階に分けてカットします。
	< オフ -3 段階 >	作画終了後、オートカットを行いません。 製品が通常状態の時、操作パネルの [用紙カット] キーを押すと、用紙を 3 段階に分けてカットします。
	オン -2 段階	作画終了後、自動的に用紙を 2 段階に分けてカットします。 製品が通常状態の時、操作パネルの [用紙カット] キーを押すと、用紙を 2 段階に分けてカットします。
	オン -3 段階	作画終了後、自動的に用紙を 3 段階に分けてカットします。 製品が通常状態の時、操作パネルの [用紙カット] キーを押すと、用紙を 3 段階に分けてカットします。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー


4.5.13 カットエラーチェックメニュー

用紙カット動作後、用紙カットエラーチェックを行うかどうか設定します。

設定項目	設定値	内容
カットエラーチェック	< オン >	用紙カットエラーチェックを行います。
	オフ	用紙カットエラーチェックを行いません。 用紙カット動作後、「ヨウシ ヲ トリハズ ス ー > カクテイ」と表示されます。 用紙ガイド上から用紙を取外し、[確定] キーを押してください。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー


4.5.14 CR 作画移動幅メニュー

作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。

設定項目	設定値	内容
CR 作画移動	データ幅	プリントヘッドが作画データ幅の範囲を移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、作画速度が向上します。
	<機械幅>	プリントヘッドが原点から製品の最大用紙幅までを移動します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー


4.5.15 重ね描き回数メニュー

作画 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。

設定項目	設定値	内容
重ね描き回数	<1 回>～9 回	重ね描き回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー


4.5.16 重ね描きウェイトメニュー

重ね描き作画時のウェイト時間を設定します。

設定項目	設定値	内容
重ね描きウェイト	<0.0 秒>～5.0 秒	重ね描きウェイト時間を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー





4.5.17 斜行チェックメニュー

用紙搬送中の斜行検出を設定します。

設定項目	設定値	内容
斜行チェック	オフ	斜行チェックを行いません。
	<オン>	斜行チェックを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【  4.5 設定メニュー


4.5.18 オートクリーニングメニュー

オートクリーニングの動作について、各種設定を行います。

設定項目	設定値	内容
オートクリーニング	待機中	待機中のオートクリーニングについて設定します。 【  4.5.18.1 待機オートクリーニングメニュー
	印字中	作画中のオートクリーニングについて設定します。 【  4.5.18.2 作画中オートクリーニングメニュー
	印字前	作画開始前のオートクリーニングについて設定します。 【  4.5.18.3 作画開始前オートクリーニングメニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【  4.5 設定メニュー


4.5.18.1 待機オートクリーニングメニュー

待機中のオートクリーニングを行う間隔を設定します。

設定項目	設定値	内容
待機中	<0分>～1440分	待機中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0分：オートクリーニングを行いません。 ・ その他：設定した時間が経過した後、ヘッドクリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ [確定] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [キャンセル] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【  4.5.18 オートクリーニングメニュー


4.5.18.2 作画中オートクリーニングメニュー

作画中のオートクリーニングを行う間隔を設定します。

設定項目	設定値	内容
印字中	<0分>～180分	作画中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0分：オートクリーニングを行いません。 • その他：設定した時間が経過した後、ヘッドクリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.18 オートクリーニングメニュー

4.5.18.3 作画開始前オートクリーニングメニュー

作画開始前のオートクリーニングについて設定します。


設定項目	設定値	内容
印字前	<オフ>	オートクリーニングを行いません。
	オン	作画前にヘッドクリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.18 オートクリーニングメニュー

4.5.19 インク残量メニュー

インクカートリッジスロットに取付けられている、インクカートリッジのインク残量を表示します。




注 記

- インク残量メニューを表示させる場合は、純正品のインクカートリッジを使用してください。
純正品以外のインクカートリッジを使用すると、インク残量が正しく表示されません。

設定項目	設定値	内容
インク残量	0～100%	インクカートリッジのインク残量が表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー

4.5.20 ロール紙長さ設定メニュー

セットしたロール紙の長さを設定します。


設定項目	設定値	内容
ロール紙	<オフ>	ロール紙長さ設定を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー
	ロール紙1	セットしたロール紙の長さを設定します。 ロール紙長さの設定値は「ロール紙1」～「ロール紙3」として、それぞれ3通り設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。  4.5.20.1 ロール紙長さ設定メニュー
	ロール紙2	
	ロール紙3	
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー

4.5.20.1 ロール紙長さ設定メニュー

セットしたロール紙の長さを設定します。

注 記

- ロール紙を交換した場合は、ロール紙長さを再度設定してください。
ロール紙長さを設定しないと、ロール紙残量表示が正しく表示されません。

設定項目	設定値	内容
長さ	1 m ~ <300 m> ~ 500 m	ロール紙の長さを設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [キャンセル]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  4.5.20 ロール紙長さ設定メニュー

4.5.21 ヘッド洗浄メニュー

ヘッド洗浄処理を行います。

注 記

- 必ず専用の洗浄液（型番：AR8500-CL）を使用してください。

設定項目	設定値	内容
ヘッド洗浄	スル	ヘッド洗浄処理を行います。 ・ [確定] キー： ヘッド洗浄処理が開始します。 ・ 操作パネルに「カートリッジを抜いてください」と表示されます。 インクカートリッジを抜いて、洗浄カートリッジを取付けてください。 【5.2.1 インクカートリッジの交換】
	—	・ [キャンセル] キー：ヘッド洗浄処理を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 【4.5 設定メニュー】

4.5.22 カッター交換メニュー

カッター交換処理を行います。

参 考

- カッター交換の詳細については、「5.2.3 カッターの交換」を参照してください。

設定項目	設定値	内容
カッター交換	開始	カッター交換処理を開始します。 ・ [確定] キー： プリントヘッド部がカッター交換位置に移動します。
	終了	カッター交換処理を終了します。 ・ [確定] キー： プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
	—	・ [キャンセル] キー：カッター交換処理を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 【4.5 設定メニュー】



4.5.23 初期化メニュー

製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。

設定項目	設定値	内容
初期化	ALL	全ての設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	メディア種類	メディア種類メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	ペン設定	ペン設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	コマンド設定	コマンド設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	レイアウト設定	レイアウト設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	機能設定	機能設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー： 操作パネルに「ハ° ラメータシヨキカチュウ」と表示され、設定値の初期化を行います。 • [キャンセル]キー：初期化を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.5.24 寿命確認メニュー

製品各部の部品寿命を表示します。


設定項目	設定値	内容
寿命確認	ヘッド	<ul style="list-style-type: none"> 各製品の部品寿命を表示します。 部品寿命については、*印の数（最大5個：残り100%）で表示しています。 部品寿命が近づくにつれて、*印の数が1個（20%）ずつ減っていきます。 *印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、部品の寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。  7.5.3 保守・修理に関するお問合せ窓口
	ポンプ	
	CR モータ	
	PF モータ	
	—	<ul style="list-style-type: none"> [キャンセル]キー：前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー

4.5.25 IP アドレスメニュー

製品の IP アドレスを設定します。

注 記

- 製品の IP アドレスは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
IP アドレス	000.000.000.000 ~ <192.168.001.253> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、IP アドレスを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> [設定値+]キー：設定値を増加させます。 [設定値-]キー：設定値を減少させます。 [確定]キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [キャンセル]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  4.5 設定メニュー

4.5.26 サブネットマスクメニュー

製品のサブネットマスクを設定します。

注 記

- 製品のサブネットマスクは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
サブネットマスク	000.000.000.000 ~ <255.255.255.000> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、サブネットマスクを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> [設定値+]キー：設定値を増加させます。 [設定値-]キー：設定値を減少させます。 [確定]キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [キャンセル]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.5.27 ゲートウェイメニュー

製品のゲートウェイを設定します。

注 記

- 製品のゲートウェイは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
ゲートウェイ	000.000.000.000 ~ <192.168.001.254> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、ゲートウェイを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> [設定値+]キー：設定値を増加させます。 [設定値-]キー：設定値を減少させます。 [確定]キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [キャンセル]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.5.28 MAC アドレスメニュー

製品のMACアドレスを表示します。

設定項目	設定値	内容
MAC アドレス	表示のみ	MAC アドレスが表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [キャンセル]キー：前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 4.5 設定メニュー

4.6 テスト作画メニュー

プリントヘッドのノズルチェックや製品の設定内容作画を行います。

参 考

- テスト作画の操作手順については、以下を参照してください。

【図】3.7 テスト作画

設定項目	内容
ノズルチェック	ノズルチェック作画を行います。 ヘッドの目詰まり、作画の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。 【図】3.6.1 ノズルチェック
設定内容作画	設定内容作画を行います。 現在の設定内容を確認する時に使用します。 【図】3.6.2 設定内容作画
—	<ul style="list-style-type: none">• [確定]キー： 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、テスト作画が開始します。• [キャンセル]キー：パネル設定メニューに戻ります。

4.7 調整作画メニュー

作画に最適な画質の調整（画質微調整）を行うときに設定します。

画質微調整は、作画モードごとに設定する必要があります。

☞3.7 画質微調整

使用する作画モードを選択後、画質微調整を行ってください。

☞4.5.1.1.1 作画モードメニュー

設定項目	内容
確認パターン	画質微調整のためのテストパターンを作画します。
Bi-D HiSpeed	超高速作画モードで双方向作画を行うときの設定値を設定します。
Bi-D Speed	高速作画モードで双方向作画を行うときの設定値を設定します。
Bi-D Normal	通常作画モードで双方向作画を行うときの設定値を設定します。
—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー： 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、テストパターン作画が開始します。 • [キャンセル]キー：パネル設定メニューに戻ります。

4.8 クリーニングメニュー

ヘッドクリーニングを行います。

参 考

- ヘッドクリーニングは、製品が通常状態の時でも行うことができます。
操作手順については、以下を参照してください。
I 5.3.3 ヘッドクリーニング

設定項目	内容
微量	「通常」よりも少量のインクを排出します。
通常	通常はこのモードを選択します。
強力	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。
微量充填	微量充填を行います。 初期充填を行っても作画が安定しない場合に、微量充填を行ってください。 I 3.4 インクカートリッジの取付け
—	<ul style="list-style-type: none"> • [確定]キー： 操作パネルに「クリーニング° チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに%で表示されます。 • [キャンセル]キー：パネル設定メニューに戻ります。

4.9 簡易選択メニュー

設定メニューの表示内容を設定します。

普段設定しない設定項目を表示させないようにすることができます。

操作パネルの [前] キーまたは [次] キーを押して設定値の「On (表示)」、「Off (非表示)」を切り替えます。

設定値が On の場合、操作パネルに「*」が表示されます。

注 記

- 簡易選択メニューで「Off」を選択した場合でも、設定メニューの「一時詳細表示」を選択すると、設定メニューで一時的に表示させることができます。

▶ 4.5 設定メニュー

設定項目	設定値	内容
メディア種類	<オン>	メディア種類メニューを表示するかどうか設定します。
	オフ	
ペン設定	オン	ペン設定メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
コマンド設定	オン	コマンド設定メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
レイアウト設定	オン	レイアウト設定メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
機能設定	オン	機能設定メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
サイドマージン	オン	サイドマージンメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
メディア検出	オン	メディア検出メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
メディア幅	オン	メディア幅メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
巻取り装置	オン	巻取り装置メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
パワーオンクリーニング	オン	パワーオンクリーニングメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
原点設定	オン	原点設定メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	

設定項目	設定値	内容
メディアカット	オン	メディアカットメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
カットエラーチェック	オン	カットエラーチェックメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
CR 作画移動幅	オン	CR 作画移動幅メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
重ね描き回数	オン	重ね描き回数メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
重ね描きウェイト	オン	重ね描きウェイトメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
斜行チェック	オン	斜行チェックメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
オートクリーニング	オン	オートクリーニングメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
インク残量	<オン>	インク残量メニューを表示するかどうか設定します。
	オフ	
ロール紙長さ設定	<オン>	ロール紙長さ設定メニューを表示するかどうか設定します。
	オフ	
ヘッド洗浄	オン	ヘッド洗浄メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
カッター交換	<オン>	カッター交換メニューを表示するかどうか設定します。
	オフ	
初期化	オン	初期化メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
寿命確認	オン	寿命確認メニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
IP アドレス	オン	IP アドレスメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
サブネットマスク	オン	サブネットマスクメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
ゲートウェイ	オン	ゲートウェイメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	
MAC アドレス	オン	MAC アドレスメニューを表示するかどうか設定します。
	<オフ>	

設定項目	設定値	内容
ALL On		設定メニューの設定項目を全て表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キーを押すと、簡易選択メニューの全ての項目に「*」が表示されます。
ALL Off		設定メニューの設定項目を全て表示しません。 <ul style="list-style-type: none"> • [確定]キーを押すと、簡易選択メニューの全ての項目で「*」が消えます。 • 「ALL Off」を選択した場合でも、設定メニューで「一時詳細表示」を選択すると、設定メニューで一時的に表示させることができます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：設定値を保存し、パネル設定メニューに戻ります。

4.10 バージョンメニュー

ファームウェアのバージョンを表示します。

設定項目	設定値	内容
Ver. M / C	*.*.* (メイン側) / *.*.* (コントローラ側)	メイン側 (M) およびコントローラ側 (C) のファームウェアのバージョンを表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]キー：パネル設定メニューに戻ります。

4.11 操作パネルからの各種操作

操作パネルから操作できる各種機能について説明します。

参考

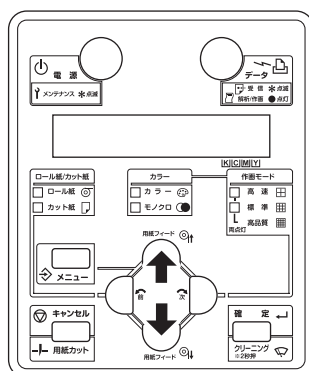
- 各キーの名称、機能については、「2.3.3 操作パネル」を参照してください。

4.11.1 用紙送り

ロール紙を任意の位置に送ることができます。

以下の手順に従って、用紙送りを行ってください。

- 操作パネルが通常状態であることを確認します。
- 用紙セットレバーが下がっていることを確認します。
- 操作パネルの [用紙フィード↓] キーまたは [用紙フィード↑] キーを押します。



- 用紙が順方向または逆方向に送られます。
- 用紙を任意の位置まで送ったら、操作パネルの [用紙フィード↓] キーまたは [用紙フィード↑] キーを放します。

4.11.3 用紙のカット

用紙のカット方法について説明します。

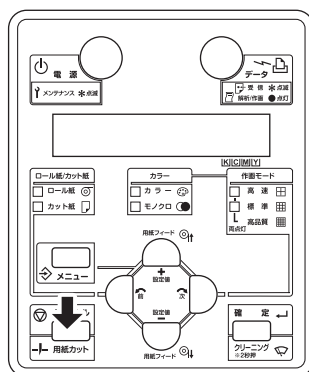
メディアカットメニューで「オン-2段階」、または「オン-3段階」に設定している場合は、作画が終了すると、製品は自動的に用紙をカットします。

☞ 4.5.12 メディアカットメニュー

操作パネルが通常状態の場合は、操作パネルの[用紙カット]キーを押すと、用紙を任意の位置でカットすることができます。

以下の手順に従って、ロール紙をカットしてください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 操作パネルの[用紙カット]キーを押します。



- 製品は余白分の用紙を送出し、ロール紙をカットをします。

注 記

- 新しいロール紙をセットした場合に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない時は、ロール紙の先端をカットしてください。
- カッターは消耗品です。定期的に交換してください。
☞ 5.2.3 カッターの交換

4.11.4 用紙のマニュアルカット

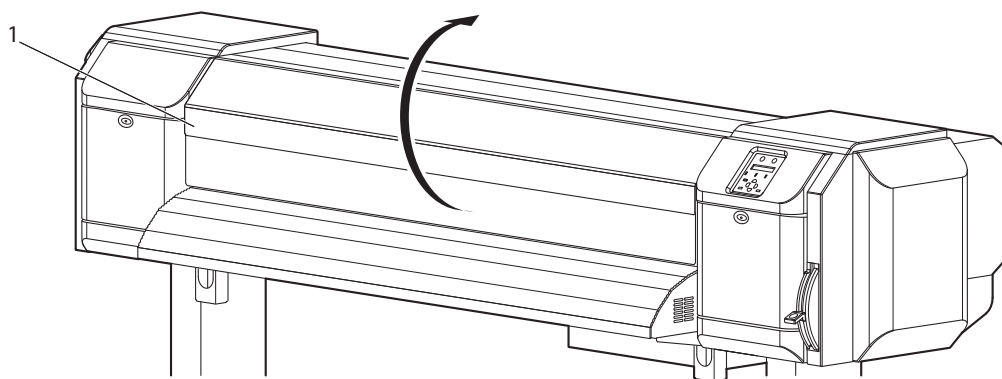
ロール紙のマニュアルカット方法について説明します。

メディアカットメニューで「オフ -2 段階」または「オフ -3 段階」に設定している場合は、ロール紙を手動でカット（マニュアルカット）することができます。

4.5.12 メディアカットメニュー

以下の手順に従って、ロール紙をカットしてください。

1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。
 - 作画等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
2. ロール紙をカットする位置を変更したい場合は、「4.11.1 用紙送り」に従って、ロール紙をカットしたい位置まで搬送します。
3. フロントカバーを開けます。

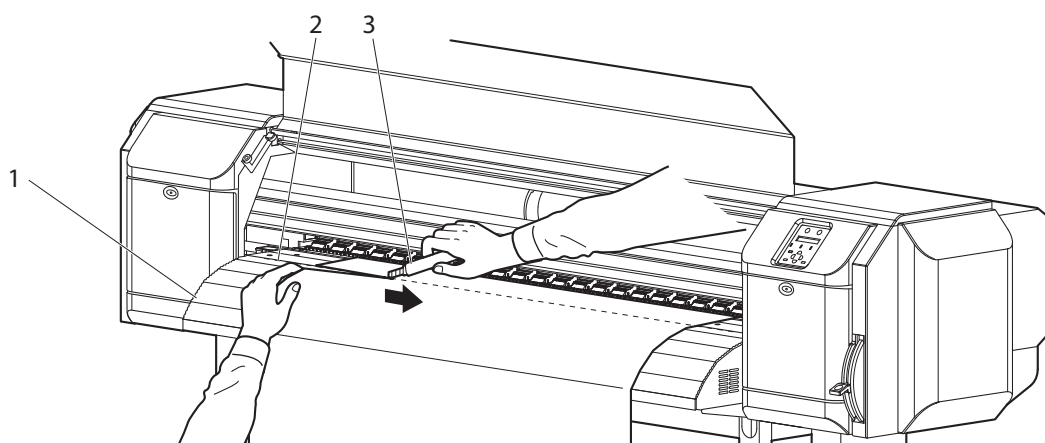


番号	名称
1	フロントカバー

4. 用紙ガイド上にある用紙カット溝に沿うように、市販のカッターの刃を当て、ロール紙をカットします。

⚠ 注意

- ロール紙をカットする場合は、以下の事項に注意してください。
取扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。
- 用紙を押える場合は、用紙カット溝の上に指を乗せない
- カッターは用紙カット溝に沿ってゆっくり動かす



番号	名称
1	用紙ガイド
2	用紙カット溝
3	カッター

- ロール紙のカットを終了します。

注記

- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。

4.11.5 作画の一時停止

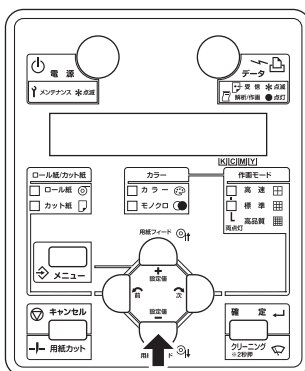
製品が作画中に、作画を一時停止させることができます。

以下の手順に従って、作画の一時停止および再開を行ってください。

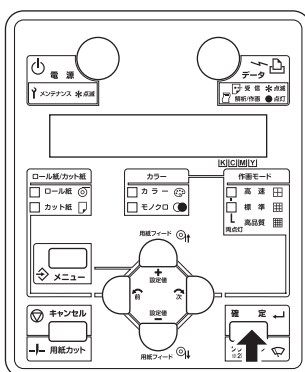
注 記

- 作画の一時停止を行った場合、作画品質は保証できません。

1. 製品が作画中であることを確認します。
2. 操作パネルの [設定値-] キーを押します。



- 製品が作画を一時停止します。
 - 操作パネルに「サクカ サイカイ → カクテイ」と表示されます。
3. 作画を再開させる場合は、操作パネルの [確定] キーを押します。



- 製品が作画を再開します。

5 保守

5.1	はじめに	5-1
5.2	消耗品の交換	5-2
5.2.1	インクカートリッジの交換	5-2
5.2.2	ロール紙の交換	5-6
5.2.3	カッターの交換	5-10
5.3	清掃	5-19
5.3.1	製品外装の清掃	5-20
5.3.2	製品内部の清掃	5-21
5.3.3	ヘッドクリーニング	5-24
5.4	廃液の処理	5-25
5.5	輸送・移動	5-27
5.5.1	移動の方法	5-27
5.5.2	輸送の方法	5-29

5 保守

5.1 はじめに

この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。

5.2 消耗品の交換

インクカートリッジ、ロール紙、カッターの交換時期および交換手順について説明します。

5.2.1 インクカートリッジの交換

インクカートリッジの交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

a. 操作パネルに「インクスクナイ」と表示される場合

- インクカートリッジ内のインク残量が少なくなると表示されます。
- 警告ブザーが鳴り続けます。
ブザーを止めたい場合は、操作パネルの [確定] キーを押してください。
- 新しいインクカートリッジに交換してください。

b. 操作パネルに「インクナシ」と表示された場合

- インクカートリッジ内のインクがなくなると表示されます。
- 警告ブザーが鳴り続けます。
ブザーを止めたい場合は、操作パネルの [確定] キーを押してください。
- 速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

注 記

- インクカートリッジは交換時以外は抜き差しを行わないでください。
インクカートリッジの抜き差しを行うと、インクチューブ内にエアが入り、ノズル抜け等の不具合が発生する可能性があります。
- 「インクナシ」と表示された場合、新しいインクカートリッジを挿入するまで作画することができなくなります。
- 交換用のインクカートリッジがお手元がない場合は、使い終わったインクカートリッジを製品に挿入したままにしてください。
インクカートリッジを取外した状態で製品を放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。

(2) 種類

本製品で使用できるインクカートリッジの当社純正品は以下のとおりです。

品名	型番
インクカートリッジ K (ブラック : 220ml)	AR-INKS-BK

注 記

- インクカートリッジを交換する場合は、純正品のインクカートリッジをご使用ください。
本製品は純正品のインクカートリッジの使用を前提に調整されています。
純正品以外を使用すると
- 作画結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなる恐れがあります。
- 故障しても保証対象外（有償修理）となります。

(3) 交換手順

以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

⚠ 注 意

- インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。
万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクカートリッジを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

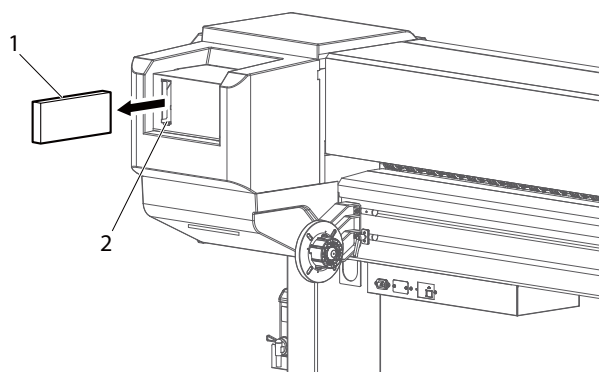
注 記

- インクカートリッジは強く振らないでください。
カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
分解したインクカートリッジは使用できません。
- インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、作画環境に 3 時間以上放置してから使用してください。
- インクカートリッジには、インクを補充しないでください。
正常に作画できなくなる恐れがあります。
- インクカートリッジの抜き差しは、交換時のみ行ってください。
交換時以外でインクカートリッジの抜き差しを行うと、正常に作画できなくなる恐れがあります。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。
2. 交換するインクカートリッジをインクカートリッジスロットから取外します。

注 記

- 弊社では地球環境保全および資源の再利用化を目指し、使用済みインクカートリッジの回収を行っています。使用済みインクカートリッジの回収方法および廃棄方法は、弊社インターネットのホームページ (<http://www.mutoh.co.jp>) をご覧ください。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

3. 新しいインクカートリッジを袋から取出します。

注 記

- インクカートリッジは、カートリッジスロットに取付ける直前に開封してください。インクカートリッジを開封した状態で長期間放置すると、正常に作画できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、パッケージに印刷してある年月日より2年以内に使い切ってください。使用期限を過ぎたインクカートリッジを使用すると、作画品質に影響する場合があります。
- インクカートリッジは、製品にセットしてから6ヶ月が経過したら交換してください。

4. 新しいインクカートリッジを取付けます。

5. 操作パネルが通常状態に戻ったことを確認します。

注 記

- 作画中にインクカートリッジを交換した場合は、作画を再開します。

- インクカートリッジの交換を終了します。

5.2.2 ロール紙の交換

ロール紙の交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

ロール紙は、以下の場合に交換してください。

- a. 製品にセットしているロール紙がなくなった場合
 - 操作パネルに「ロールシエント[®]」と表示されます。
 - 作画中に用紙がなくなった場合は作画動作を中断します。
- b. 使用する用紙種類を変更したい場合

(2) 種類

参 考

- ロール紙の種類および詳細は、「4.3.1 用紙種類」参照してください。

(3) 交換手順

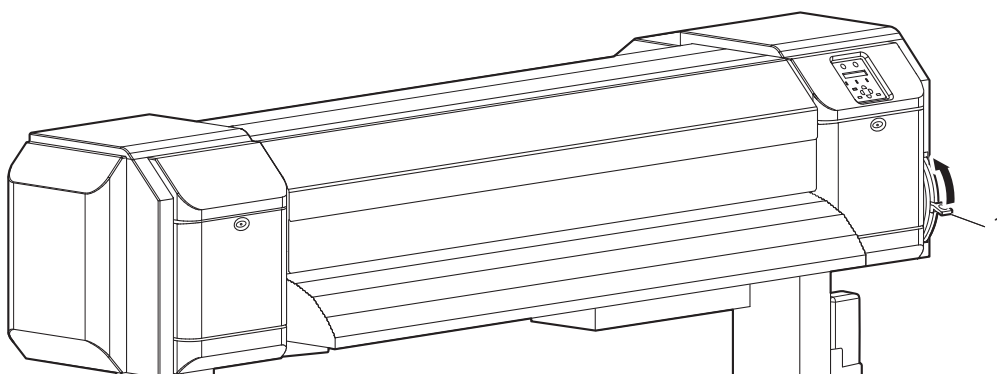
以下の手順に従って、ロール紙を交換してください。

1. 製品の電源が ON になっている場合は、作画等の動作を行っていないことを確認します。

⚠ 注意

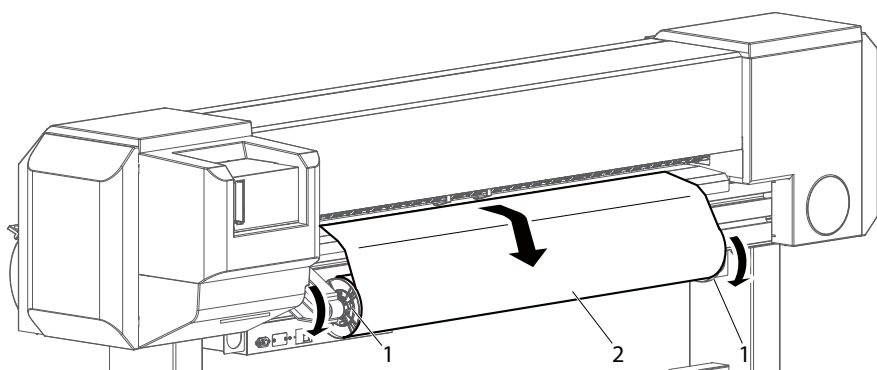
- 用紙カバー開閉時には、指を挟まないように注意してください。

2. 用紙セットレバーを上げます。



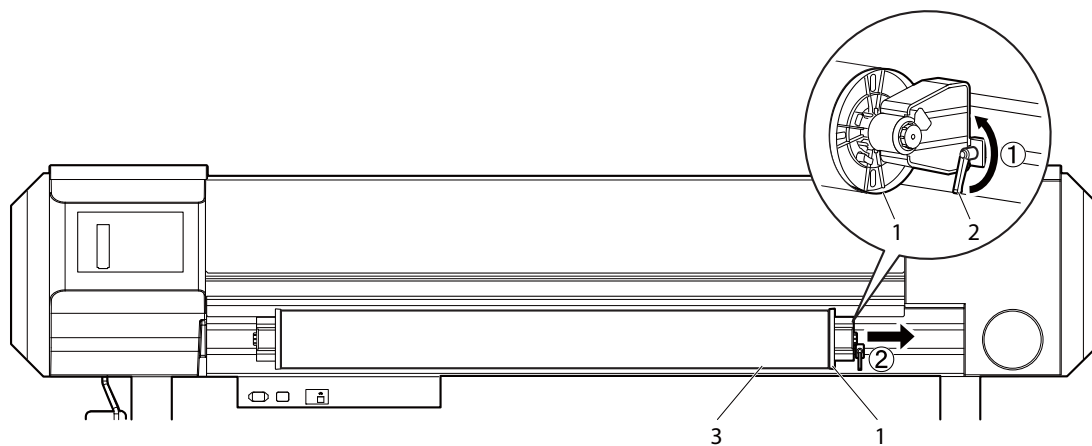
番号	名称
1	用紙セットレバー

3. ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻取ります。



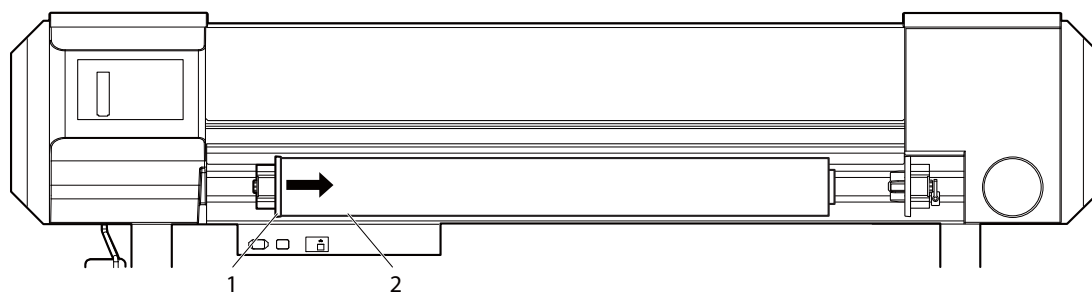
番号	名称
1	ロール紙受け
2	ロール紙

4. ロール紙受け（右）の固定レバーを緩めて、ロール紙受けからロール紙を取外します。



番号	名称
1	ロール紙受け（右）
2	固定レバー
3	ロール紙

5. ロール紙受け（左）からロール紙を取外します。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙

6. 別のロール紙を取付ける場合は、以下の内容に従って、作業を行ってください。

参 考

- ロール紙の取付け方法は、「3.5 用紙の取付け」を参照してください。
 - 使用しないロール紙は、「4.3.3 用紙の保管時の注意」に従って、保管してください。
-

- ロール紙の交換を終了します。

5.2.3 カッターの交換

カッターの交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

カッターは、以下の場合に交換してください。

- a. 用紙がきれいにカットできない場合
用紙カットに失敗すると、操作パネルに「メテ` ィアカットエラー」と表示されます。
- b. カット部に毛羽立ちなどが発生した場合

(2) 種類

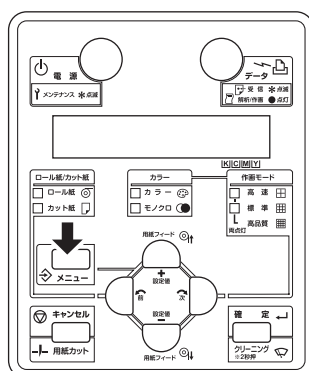
本製品で使用できるカッターの当社純正品は以下のとおりです。

品名	型番
カッター交換刃	VJ-CB

(3) 交換手順

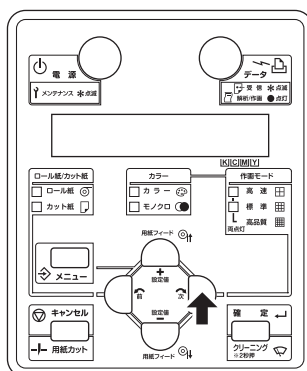
以下の手順に従って、カッターを交換してください。

1. 製品の電源が ON になっている場合は、以下を確認してください。
 - 作画等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
2. 操作パネルにカッター交換メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [メニュー] キーを押します。



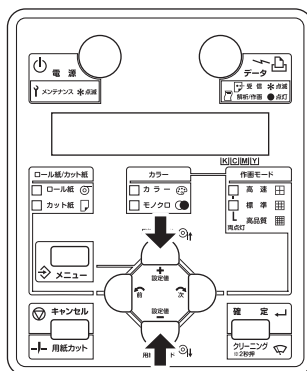
- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー状態に移行します。

- b. 操作パネルの [次] キーを押します。

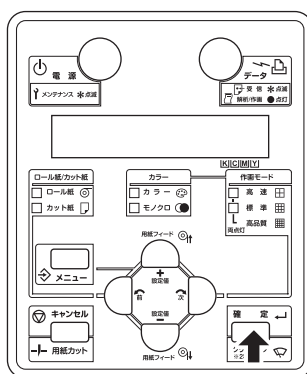


- 操作パネルに「セット 1 : メテ`ィアシュルイ」と表示されます。

- c. 操作パネルの [設定値 +] キーまたは [設定値 -] キーを押して、「セット 2 2 : カッターコウカン」を選択します。

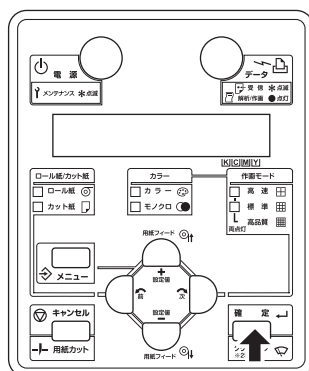


- d. 操作パネルの [確定] キーを押します。



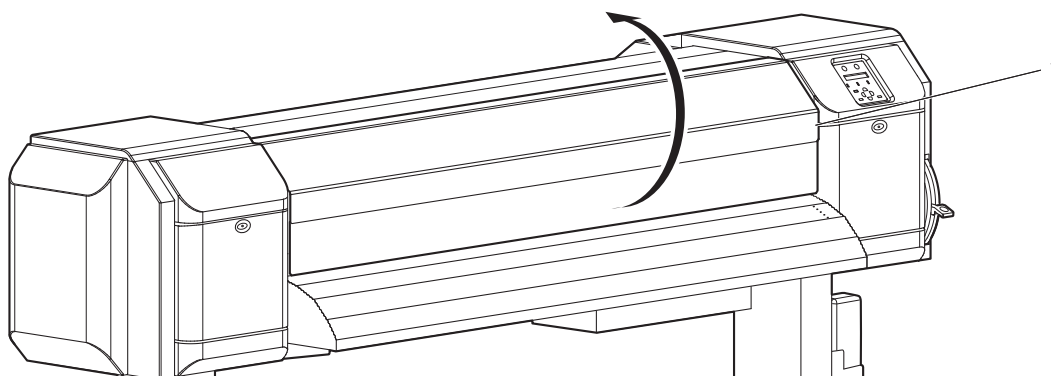
- 操作パネルに「カッターコウカン : カイシ」と表示されます。
- カッター交換メニューに移行します。
 1. 4.5.22 カッター交換メニュー

3. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- カッター交換処理に入ります。
- プリントヘッド部が製品中央部（カッター交換位置）に移動します。
- 操作パネルに「カッターコウカン： シュウリョウ」と表示されます。

4. フロントカバーを開けます。



番号	名称
1	フロントカバー

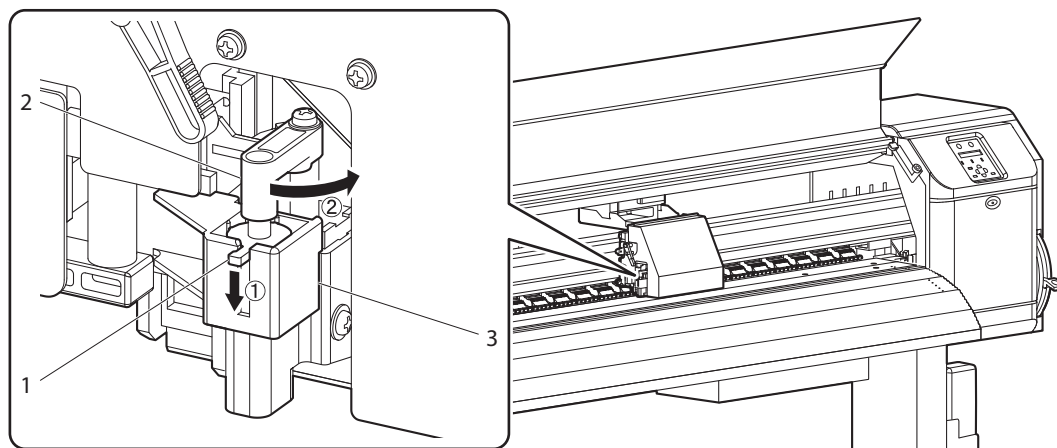
注 記

- カッター交換作業は短時間で行ってください。
プリントヘッド部をカッター交換位置のまま放置すると、ヘッドの目詰まりの原因となります。

5. カッターのつまみを軽く押しながら、カッター押さえを図の方向に回転させます。

注 記

- カッターのつまみを強く押ししたり、急に放したりしないでください。
カッターホルダーにはバネが組込まれており、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターを奥まで押込まないでください。
カッター刃が製品内部を傷つける恐れがあります。



番号	名称
1	カッター
2	カッター押さえ
3	カッターホルダー

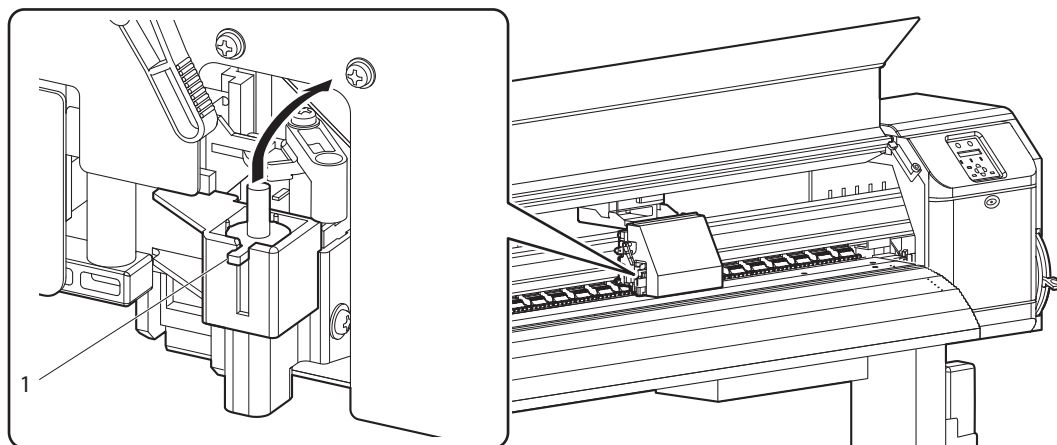
6. カッターを取出します。

注意

- カッターの刃先には触れないでください。
けがをする恐れがあります。
- カッターの刃先を硬いものに当てたり、カッターを落としたりしないでください。
カッター刃が傷ついたり、欠けたりする恐れがあります。

注記

- 使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

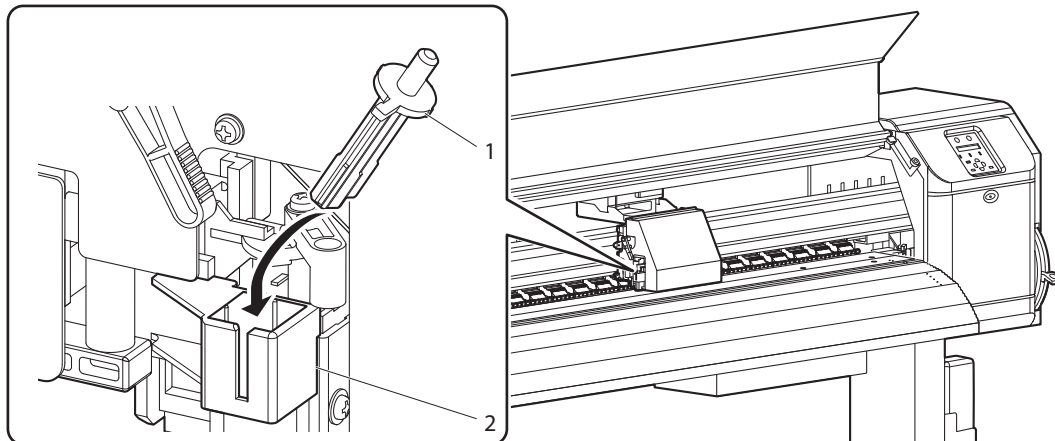


番号	名称
1	カッター

7. 新しいカッターを図のように取付けます。

注 記

- カッターホルダーに組込まれているバネを飛ばさないように取付けてください。

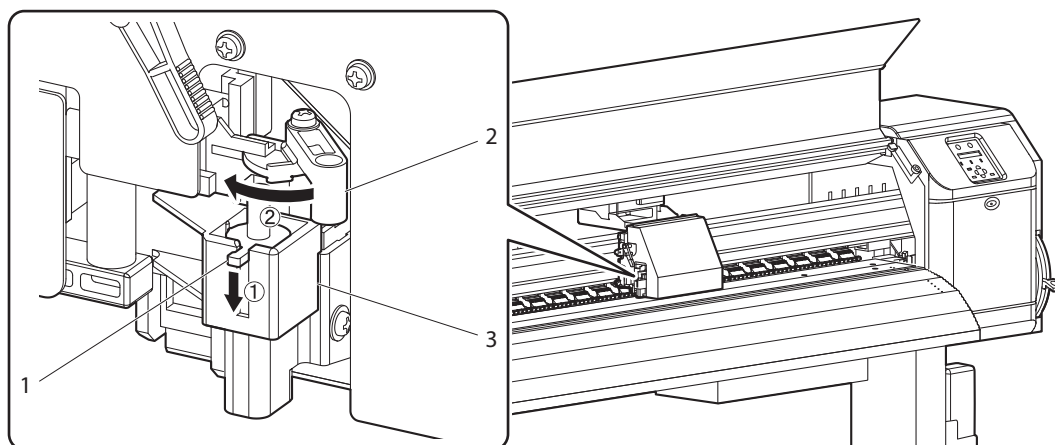


番号	名称
1	カッター
2	カッターホルダー

8. カッターのつまみを軽く押しながら、カッター押さえを元の位置に戻します。

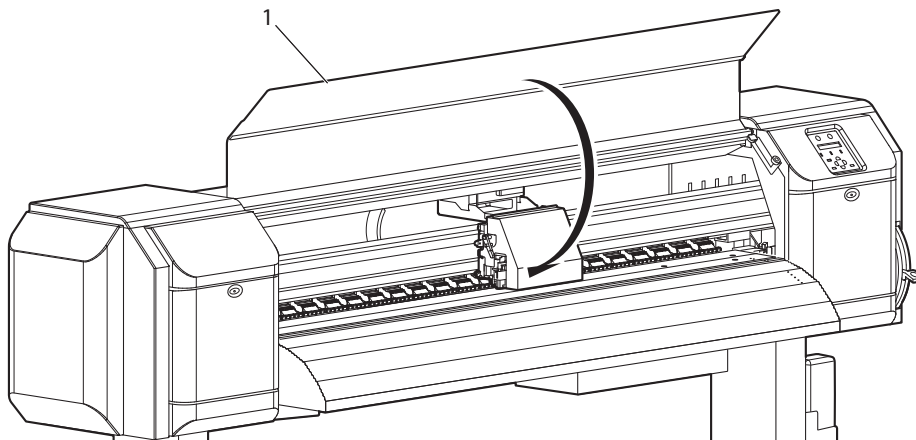
注 記

- カッター押さえのつまみを強く押ししたり、急に放したりしないでください。
カッターホルダーにはバネが組込まれており、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターを奥まで押込まないでください。
カッター刃が製品内部を傷つける恐れがあります。
- カッター押さえは、次図を参考にして正しく取付けてください。
正しく取付けないと、エラーが発生する場合があります。
エラーが発生した場合は、カッター押さえレバーが正しく取付けられているか確認してください。



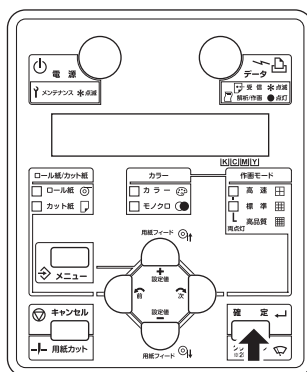
番号	名称
1	カッター
2	カッター押さえ
3	カッターホルダー

9. フロントカバーを閉じます。



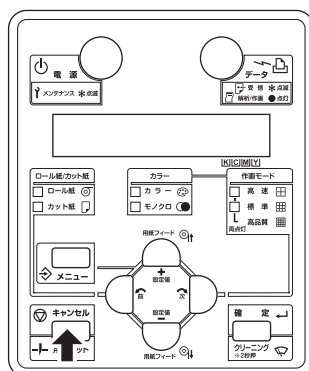
番号	名称
1	フロントカバー

10. 操作パネルの [確定] キーを押します。



- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- 操作パネルに「カッターコウカン： カイシ」と表示されます。

11. 操作パネルの [キャンセル] キーを 3 回押します。



- 製品は通常状態に移行します
- カッターの交換を終了します。

5.3 清掃

本製品を常によい状態で使用できるように、定期的に清掃する必要があります。

警告

- 通風口などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- 異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「7.5.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

注意

- 清掃を行うときは、必ず電源を OFF して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。塗装を傷める原因となります。
- 製品内部に水気が入らないように注意してください。製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。
- ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。感電または故障する恐れがあります。

製品の各清掃方法について説明します。

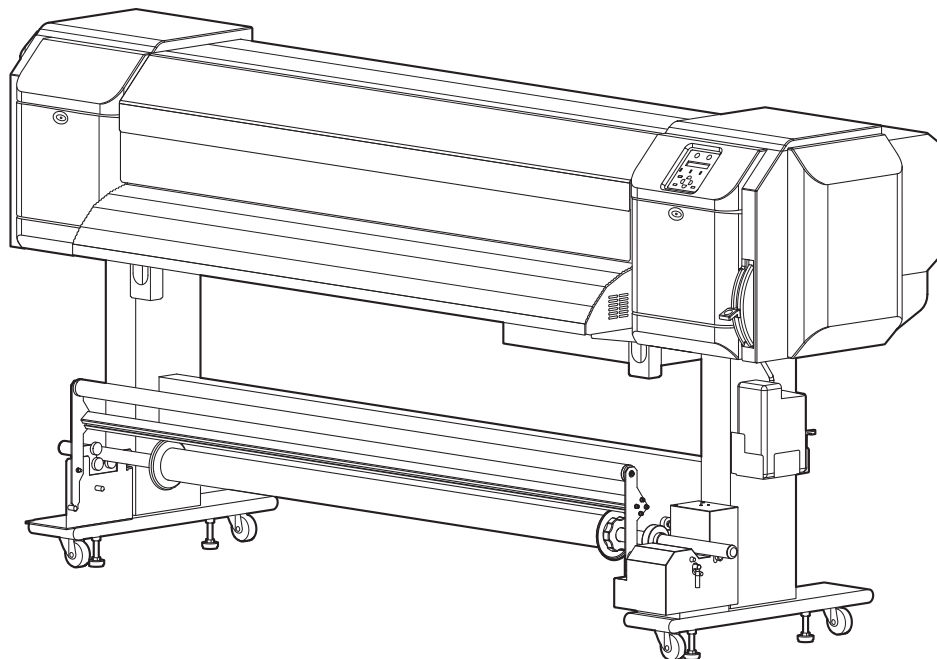
5.3.1 製品外装の清掃

(1) 清掃時期

1ヶ月毎に清掃してください。

(2) 清掃手順

製品外装に付着したホコリや汚れは、柔らかい布を使って拭き取ってください。



5.3.2 製品内部の清掃

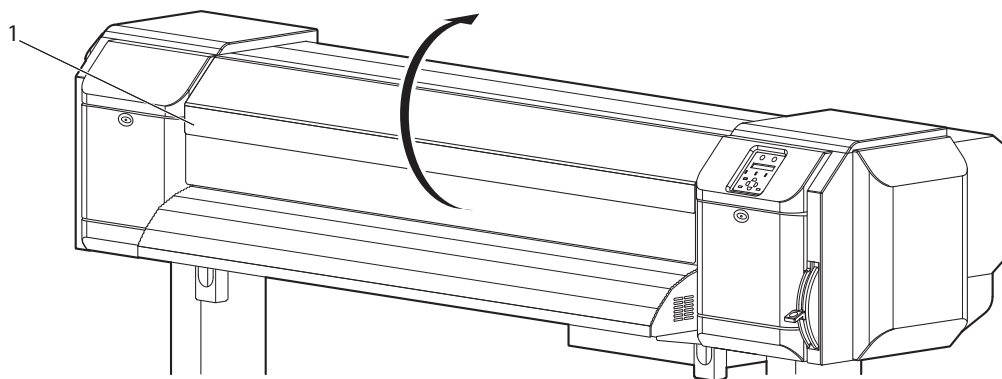
(1) 清掃時期

1ヶ月毎に清掃してください。

(2) 清掃手順

以下の手順に従って、清掃してください。

1. フロントカバーを開けます。

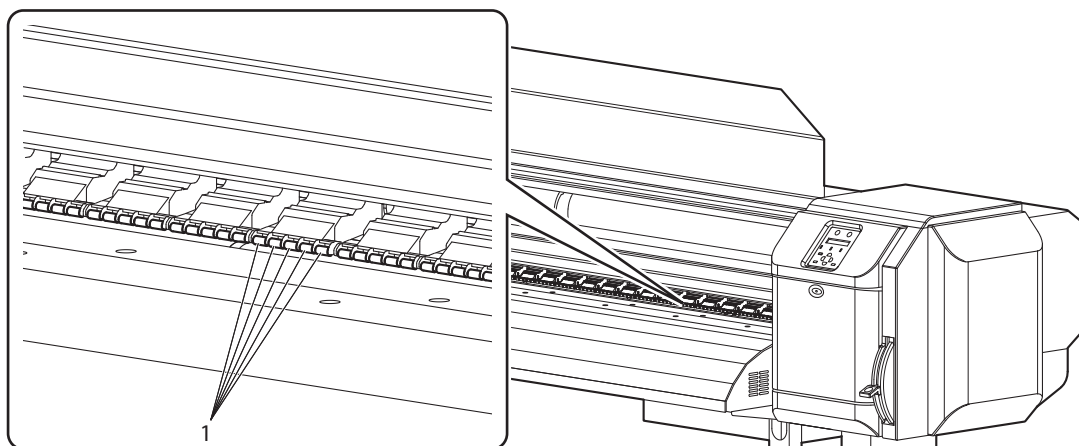


番号	名称
1	フロントカバー

2. 加圧ローラは、柔らかいブラシを使って、紙粉やホコリを払います。

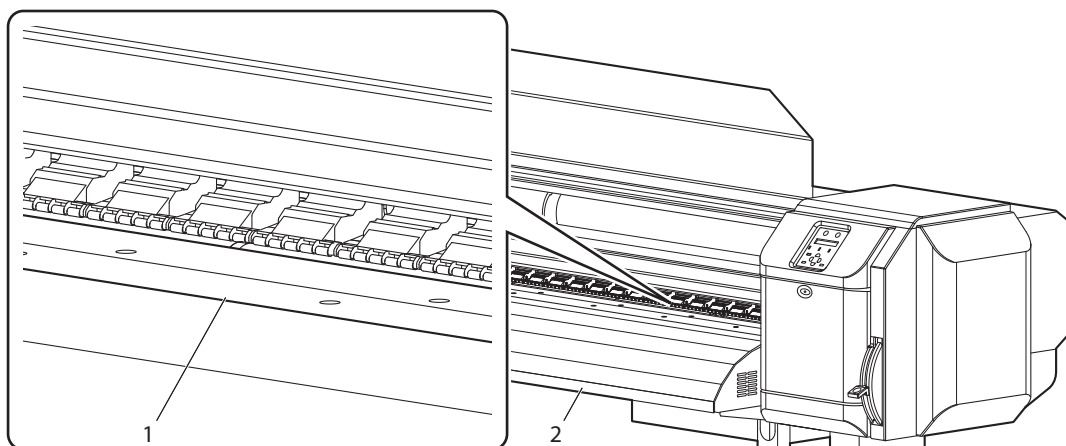
注 記

- 製品内部に付着した紙粉は、エアダスターなどで吹き飛ばさないでください。製品内部から異音が発生する場合があります。



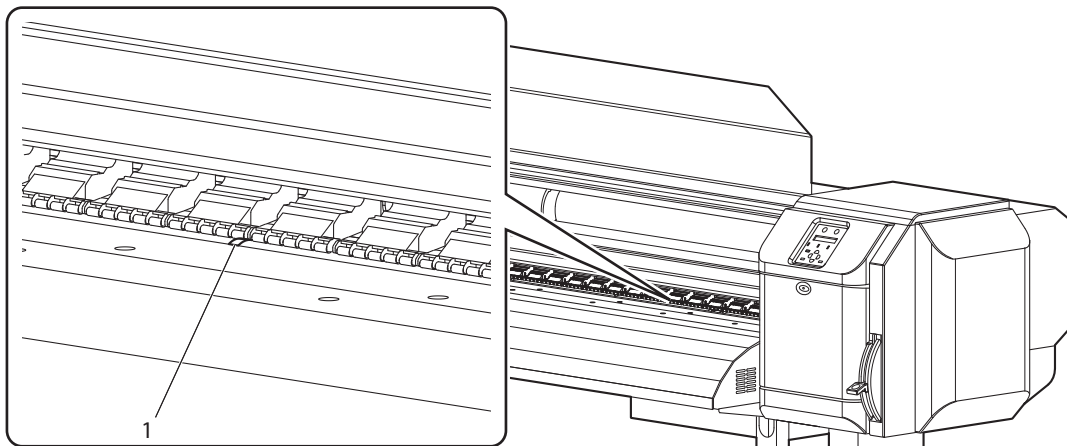
番号	名称
1	加圧ローラ

3. プラテンおよび用紙ガイドは、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、紙粉やインクなどの汚れを拭き取ります。



番号	名称
1	プラテン
2	用紙ガイド

4. グリッドローラは水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、中央部の未塗装（銀色）部分の汚れを落とします。



番号	名称
1	グリッドローラ

5.3.3 ヘッドクリーニング

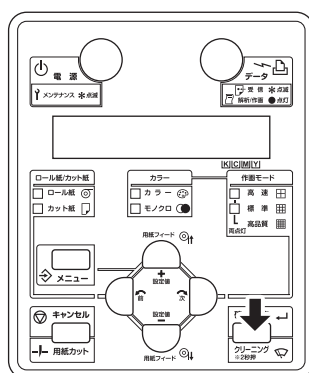
作画した画面がかすれたり、欠けたりするようになったら、ヘッド表面とノズルの清掃（ヘッドクリーニング）を行います。

以下の手順に従って、ヘッドクリーニングを行ってください。

注 記

- ヘッドクリーニング時には、用紙を取外してください。
用紙をセットしたままクリーニングを行うと、ヘッドと用紙が接触する可能性があります。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 用紙セットレバーが手前側に戻っていることを確認します。
3. 操作パネルの [クリーニング] キーを 2 秒以上押し続けます。



- 操作パネルに「クリーニング`チュウ ノコリ**フン」と表示されます。
- ヘッドクリーニングを開始します。

注 記

- 1 回のヘッドクリーニングで作画のかすれ・欠けがなくならなかった場合には、強力クリーニングを行ってください。
4.8 クリーニングメニュー
- ヘッドクリーニングを数回行っても、作画のかすれ・欠けがなくなる場合は、「6 トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

5.4 廃液の処理

廃液の処理時期、処理方法について説明します。

(1) 処理時期

廃液は以下の場合に処理してください。

- a. 作画開始前に、廃液が廃液タンクに半分以上貯まっている場合
- b. 操作パネルに「ハイエキタンク マンタン」と表示された場合

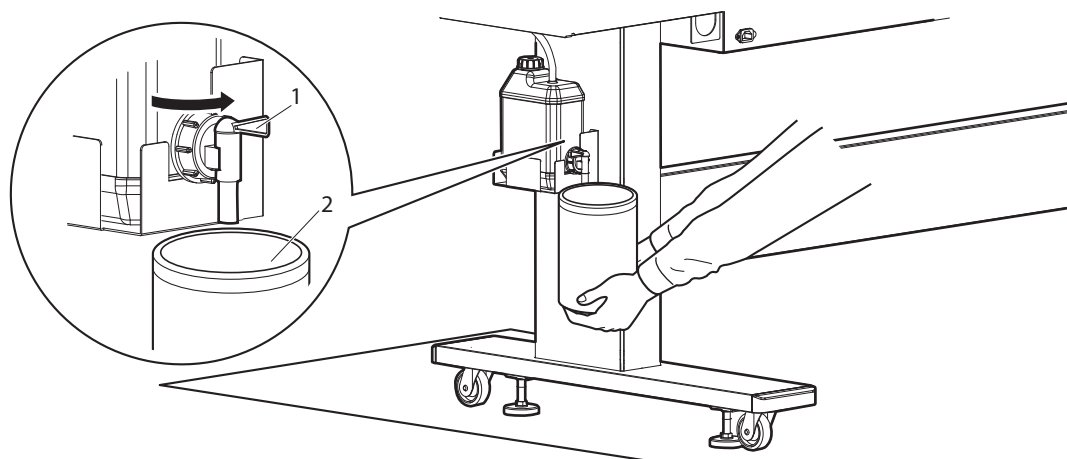
(2) 処理方法

以下の手順に従って、廃液を処理してください。

1. サプライ廃液ボトルなどの、廃液を受ける空容器を用意します。
2. いらない用紙などを廃液タンクの下の床に敷きます。
3. 廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。

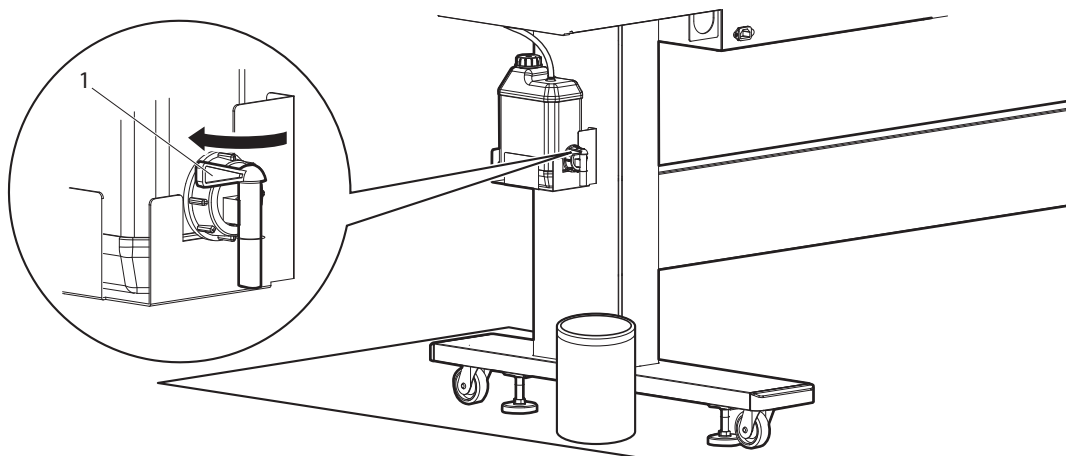
注 記

- 廃液コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛散することがあります。空容器を廃液コックに近付けて処理を行ってください。



番号	名称
1	廃液コック
2	空容器

4. 廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。



番号	名称
1	廃液コック

5. 廃液コックの口を布等で拭取ります。
6. 廃液は産業廃棄物として処理します。
- 廃液の処理を終了します。

5.5 輸送・移動

本製品の輸送、移動方法について説明します。

5.5.1 移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

注意

- 製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- 製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。
製品内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。

(1) 移動前の手順

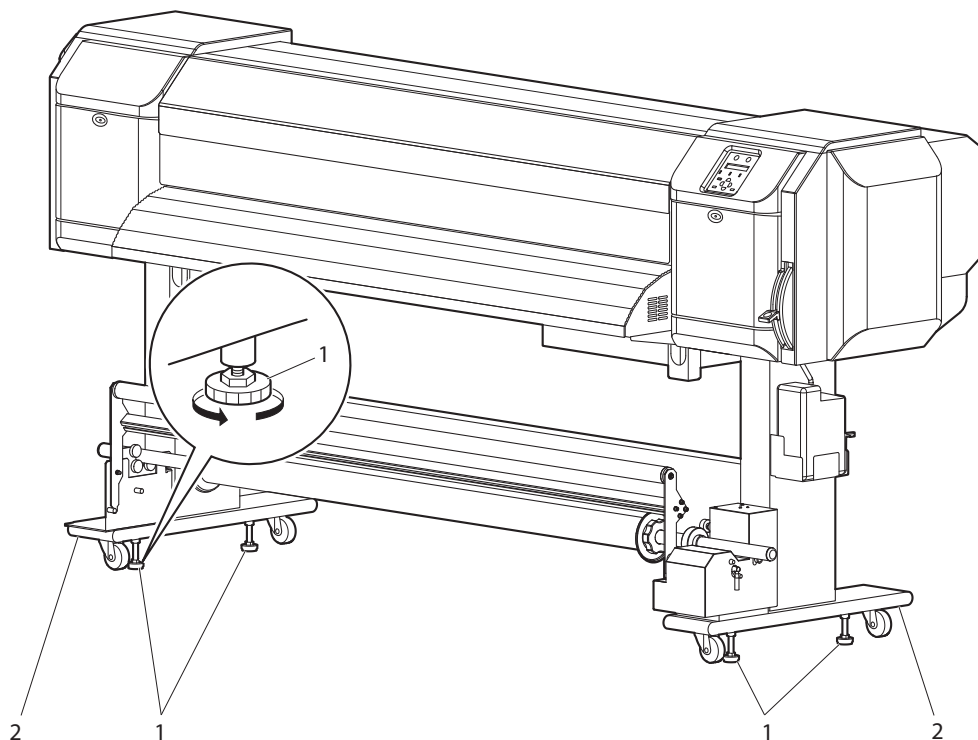
以下の手順に従って本製品を移動してください。

1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。
☞ 3.3.2 電源を OFF する方法
2. 廃液を処理します。
☞ 5.4 廃液の処理
3. 電源ケーブル等のケーブル類を全て取外します。
4. 専用スタンドのアジャスタ（4箇所）を、次図の方向に回転させて緩めます。

5. 本製品を移動します。

注 記

- 専用スタンドに付属のキャスタは、運搬機器のキャスタとは異なり、屋内の平坦な場所において多少の移動を行う場合のみを想定して作られています。



番号	名称
1	アジャスタ
2	専用スタンド

(2) 移動後の手順

移動後は以下の手順に従って、本製品を使用可能な状態にしてください。

1. 設置に適した場所を確認します。
I 3.1 設置要領書
2. 設置場所に移動後、製品を固定します。
3. 電源ケーブル等のケーブル類を取付けます。
I 3.2 電源ケーブルの接続
I 3.8 コンピュータとの接続
4. ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まり等がないか確認します。
I 3.6.1 ノズルチェック
5. 画質微調整を行います。
I 3.7 画質微調整

5.5.2 輸送の方法

本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

注 記

- 本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

6 トラブルシューティング

6.1	はじめに	6-1
6.2	製品の異常・故障	6-2
6.2.1	設置・導入時のトラブル	6-2
6.2.2	全く作画しない場合	6-2
6.2.3	用紙に関するトラブル	6-4
6.2.4	作画に関するトラブル	6-7
6.3	表示の詳細	6-9
6.3.1	動作状態表示	6-9
6.3.2	メッセージ型エラー表示と対処方法	6-11
6.3.3	データエラー表示と対処方法	6-12
6.3.4	コマンドエラー表示と対処方法	6-13
6.3.5	再起動が必要なエラー	6-14
6.4	用紙が詰まった場合	6-15

6 トラブルシューティング

6.1 はじめに

この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。

この章の内容のどの項目にも当てはまらず、エラーが発生する場合は、「7.5.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

注 記

- 製品保証サービスを受ける場合は、保証書をご用意ください。保証書の提示がない場合、保証期間内であっても有償サービスとなる場合があります。保守サービス契約を締結されている場合は、契約書等をご用意ください。

6.2 製品の異常・故障

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

6.2.1 設置・導入時のトラブル

(1) インクの初期充填ができない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じ、用紙セットレバーを下げてください。	☞3.5 用紙の取付け
2	インクカートリッジは奥まで確実に差込んでいますか？	インクカートリッジを確実に差込んでください。	☞5.2.1 インクカートリッジの交換

(2) 初期充填してもインクが出ない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクカートリッジは冷えて凍っていませんか？	最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。	☞5.3.3 ヘッドクリーニング
2	初期充填中に電源を切りませんでしたか？	再度電源を入れ初期充填を継続してください。	☞3.4 インクカートリッジの取付け
3	初期充填後ごくまれに正常に印字できない場合があります。	数回クリーニングを行い、その都度確認してください。	☞5.3.3 ヘッドクリーニング

6.2.2 全く作画しない場合

(1) 電源投入後まったく動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	電源ケーブルはつながっていますか？	電源ケーブルをつないでください。	☞3.2 電源ケーブルの接続
2	AC電源は規定の電圧になっていますか？	他のコンセントに接続してください。	☞3.2 電源ケーブルの接続
3	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じてください。用紙セットレバーを下げてください。	☞3.5 用紙の取付け

(2) 用紙をセットしても動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じてください。 用紙セットレバーを下げてください。	☞ 3.5 用紙の取付け
2	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙をまっすぐにセットしてください。	☞ 3.5 用紙の取付け
3	インクカートリッジは入っていますか？	インクカートリッジを挿入してください。	☞ 3.4 インクカートリッジの取付け
4	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.3.1 用紙種類
5	プロッタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書

(3) コンピュータからデータを送るとプロッタ側でエラーが出て作画しない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	コンピュータ側とプロッタ側のインターフェイス条件やコマンドモードは合っていますか？	コンピュータ側とプロッタ側の機種の設定が合っているか確認してください。	☞ 3.8 コンピュータとの接続

(4) LAN でオンラインできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ネットワーク・インターフェイスクーブルはきちんと接続していますか？	クロスケーブル、ストレートケーブルの種類を確かめてから、ネットワーク・インターフェイスクーブルをきちんと接続してください。	☞ 3.8.2 ネットワーク・インターフェイスクーブルの接続
2	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワーク設定を正しく設定してください。	☞ 4.5.25 IP アドレスメニュー～4.5.27 ゲートウェイメニュー
3	コンピュータより作画データを送ると、操作パネルの DATA ランプは点灯しますか？	DATA ランプが点灯しない場合は、コンピュータメーカーに連絡してください。	—

6.2.3 用紙に関するトラブル

(1) 用紙イニシャル中に用紙が外れる、破れる

注 記

- 詰まったり、破れたりした用紙は、「6.4 用紙が詰まった場合」に従って取除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.3.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞ 3.5.2 ロール紙のセット方法
3	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞ 3.5.1 ロール紙の取付け
4	加圧ローラに用紙の切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞ 5.3.2 製品内部の清掃
5	プロッタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
6	折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用していませんか？	用紙を交換してください。	☞ 4.3.2 用紙の取扱上の注意
7	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	推奨用紙を使用してください。 推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、吸着ファンメニューを設定してください。	☞ 4.3.1 用紙種類 ☞ 4.5.1.1.3 吸着ファンメニュー

(2) 用紙イニシャル中に用紙がシワになる

注 記

- 詰まったり、破れたりした用紙は、「6.4 用紙が詰まった場合」に従って取除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.3.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞ 3.5.2 ロール紙のセット方法
3	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙を真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.5.2 ロール紙のセット方法
4	加圧ローラに用紙の切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞ 5.3.2 製品内部の清掃
5	プロッタにエアコンの風が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
6	折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用していませんか？	用紙を交換してください。	☞ 4.3.2 用紙の取扱上の注意

(3) 用紙イニシャルで用紙サイズを間違えている

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.3.1 用紙種類
2	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙を真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.5.2 ロール紙のセット方法
3	用紙をセットしたとき、カール癖が上側になっていませんか？	用紙のカール癖を取除くか、新しい用紙をセットしなおしてください。	☞ 3.5.2 ロール紙のセット方法
4	プロッタにエアコンの風が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プロッタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 3.5.1 ロール紙の取付け
5	一度作画した用紙を再度使用していませんか？	新品の用紙を使用してください。	☞ 4.3.1 用紙種類

(4) 用紙詰まりが頻発する

注 記

- 推奨用紙以外の用紙では、正常な用紙送りに関して保証できません。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞4.3.1 用紙種類
2	指定環境以外で使用していませんか？	指定環境内で使用してください。	☞4.3.2 用紙の取扱上の注意
3	古い用紙を使用していませんか？	新しい用紙に交換してください。	☞5.2.2 ロール紙の交換
4	用紙に折り目、シワ等がありませんか？		
5	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	推奨用紙を使用してください。 推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、吸着ファンメニューを設定してください。	☞4.3.1 用紙種類 ☞4.5.1.1.3 吸着ファンメニュー

(5) 作画中に用紙が斜行する

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞4.3.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞3.5.2 ロール紙のセット方法
3	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞3.5.1 ロール紙の取付け

(6) ロール紙がきれいにカットできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	カッターの切れ味は良好ですか？	カッターを交換してください。	☞5.2.3 カッターの交換
2	ロール紙に静電気は帯電していませんか？	帯電した静電気を除去してください。	—

6.2.4 作画に関するトラブル

(1) 部分的に作画が汚れたり、抜けたりする

注 記

- 推奨用紙以外の用紙では、適切な作画品質を得られない場合があります。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	【図】5.2.2 ロール紙の交換
2	折り目、シワのある用紙を使用していませんか？		
3	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	推奨用紙を使用してください。 推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、吸着ファンメニューを設定してください。	【図】4.3.1 用紙種類 【図】4.5.1.1.3 吸着ファンメニュー

(2) 作画はするが、描く位置がおかしい（描けないところがある）

番号	考えられる要因	対策	参照
1	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	【図】3.5.2 ロール紙のセット方法
2	原点や書き出し位置は、設定していませんか？	原点や書き出し位置の設定を解除するか、または再設定してください。	【図】4.5 設定メニュー

(3) 作画した線がにじむ

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	【図】4.3.1 用紙種類
2	厚い用紙や薄い用紙を使用していませんか？	推奨用紙を使用してください。	【図】4.3.1 用紙種類
3	用紙の印字面に作画していますか？	用紙の印字面を確認して正しくセットしてください。	【図】3.5 用紙の取付け
4	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	【図】3.7 画質微調整
5	用紙送り補正を行ってみましたか？	用紙送り補正を行ってください。	【図】4.3.6 用紙送り補正
6	ヘッド高さが「高い」になっていませんか？	ヘッド高さを「通常」に戻してください。	【図】4.3.5 ヘッド高さ調整

(4) 作画に白スジや黒スジが出る

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞4.3.1 用紙種類
2	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞3.5.1 ロール紙の取付け
3	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行なってください。	☞5.3.3 ヘッドクリーニング
4	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	☞3.7 画質微調整
5	用紙送り補正を行ってみましたか？	用紙送り補正を行ってください。	☞4.3.6 用紙送り補正
6	ヘッド高さが「高い」になっていませんか？	ヘッド高さを「通常」に戻してください。	☞4.3.5 ヘッド高さ調整

(5) 作画した線が繋がらない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクカートリッジは有効期限内ですか？	新しいインクカートリッジを使用してください。	☞5.2.1 インクカートリッジの交換
2	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞4.3.1 用紙種類
3	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	☞3.7 画質微調整
4	用紙送り補正を行ってみましたか？	用紙送り補正を行ってください。	☞4.3.6 用紙送り補正

(6) 作画線が二重になる、作画結果がかすれる

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行なってください。	☞5.3.3 ヘッドクリーニング
2	ヘッド高さが「高い」になっていませんか？	ヘッド高さを「通常」に戻してください。	☞4.3.5 ヘッド高さ調整

6.3 表示の詳細

ここでは、本製品の正常動作時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

6.3.1 動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。
本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

番号	表示	対策	参照
1	サクカ° テ° キマス	待機中（用紙はセットされています）。	—
2	メテ° イア° ナシ	待機中（用紙はセットされていません）。	【図】3.5 用紙の取付け
3	テ° ータジ° ュシンチュウ	データ受信中です。	—
4	テ° ータカイセキチュウ	データ解析中です。	—
5	テ° ータサクカ° チュウ	作画中です。	—
6	クリーニング° チュウ **%	ヘッドクリーニング中です。 しばらくお待ちください。	【図】5.3.3 ヘッドクリーニング
7	インクシ° ュウテンカイシ ー> カクテイ	インク充填を開始します。 [確定]キーを押してください。	【図】3.4 インクカートリッジの取付け
8	インクシ° ュウテンチュウ **%	インク充填中です。 しばらくお待ちください。	【図】3.4 インクカートリッジの取付け
9	センシ° ョウチュウ	ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。	【図】4.5.21 ヘッド洗浄メニュー
10	ゲ° ンテンニイト° ウチュウ	原点設定メニューで、プリントヘッドが作画開始位置に移動中です。 しばらくお待ちください。	【図】4.5.11 原点設定メニュー
11	イチカクニン ー>カクテイ	原点設定メニューで、プリントヘッドが作画開始位置に移動しました。 [確定]キーを押してください。	【図】4.5.11 原点設定メニュー
12	カートリッジ° ヲヌイテクタ° サイ	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄カートリッジを取付けてください。	【図】4.5.21 ヘッド洗浄メニュー
13	**ハ° ラメータシヨキカチュウ**	初期化メニューで、設定値の初期化中です。 しばらくお待ちください。	【図】4.5.23 初期化メニュー
14	**2 ヒ° ョウ オシツツ° ケル**	[クリーニング]キーを押していた時間が2秒未満でした。 再度キーを2秒以上押し続けてください。	【図】2.3.3 操作パネル
15	I n s e r t センシ° ョウカートリッジ°	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄カートリッジを取付けてください。	【図】4.5.21 ヘッド洗浄メニュー

番号	表示	対策	参照
16	I n s e r t インクカートリッジ	インク充填中です。 インクカートリッジを取付けてください。	☞3.4 インクカートリッジの取付け
17	メテ` ィア : シュルイ * O K ?	用紙イニシャル中です。 しばらくお待ちください。 (*は設定した用紙種類を表示します。)	☞3.5.4 用紙種類の設定手順
18	メテ` ィア イニシャル チュウ		
19	カハ` ーオーフ` ン	フロントカバーが開いています。	☞3.5 用紙の取付け
20	メテ` ィアヲセットシテクタ` サイ	用紙セットレバーが上がっています。 用紙をセットしてください。	☞3.5 用紙の取付け
21	ヨウシ ヲ トリハス` ス ー> カク テイ	用紙カット後、カットされた用紙を取外してください。	☞4.5.13 カットエラーチェックメニュー

参 考

- オプション機能用の表示で、**Authorization Code** による設定値が表示される場合があります。詳細については以下のいずれかにお問い合わせください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
 - ☞7.5.1 製品に関するお問い合わせ窓口

6.3.2 メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合、エラーの原因を取除くと、メッセージ型エラーは復旧し、本製品は動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	メテ ^o イアニンシキエ ラー	用紙認識に失敗しました。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してください。	☞3.5 用紙の取付け
2	メテ ^o イアシャコウエ ラー	用紙が斜行しました。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してください。	☞3.5 用紙の取付け
3	ロールシエント ^o	ロール紙がなくなりました。 (動作を停止します)	新しいロール紙をセットしてください。	☞5.2.2 ロール紙の交換
4	インク スクナイ	インクの残量が少なくなりました。 (動作を継続します)	新しいインクカートリッジを用意してください。	☞5.2.1 インクカートリッジの交換
5	インク ナシ	インクがなくなりました。 (動作を停止します)	新しいインクカートリッジに交換してください。	☞5.2.1 インクカートリッジの交換
6	カートリッジ ナシ	カートリッジが装着されていません。 (動作を停止します)	インクカートリッジを取付けてください。	☞3.4 インクカートリッジの取付け
7	ハイエキタンク マンタン	廃液タンクが満タンになりました。 (動作を停止します)	廃液を処理してください。	☞5.4 廃液の処理
8	シ ^o ュミョウカクニン [ヘッド ^o]	プリントヘッドの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞7.5 ユーザサポート
9	シ ^o ュミョウカクニン [ポンプ ^o]	ポンプモータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞7.5 ユーザサポート
10	シ ^o ュミョウカクニン [CR モータ]	CR モータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞7.5 ユーザサポート
11	シ ^o ュミョウカクニン [PF モータ]	PF モータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞7.5 ユーザサポート

番号	表示	内容	対策	参照
12	ヘッド高さを Low にシフト	電源 OFF 動作中に、ヘッド高さが High になっています。 (動作を停止します)	ヘッド高さを Low に戻してください。	☞ 3.3.2 電源を OFF する方法
13	メディアカットエラー	用紙がカットできませんでした。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してください。	☞ 3.5 用紙の取付け

注 記

- インク無しとカートリッジ無しが同時に発生したときはカートリッジ無し表示を優先します。

6.3.3 データエラー表示と対処方法

本製品の動作中に、データエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

データエラーとは、コンピュータと本製品とのデータ通信上の障害が発生した場合に表示されます。

データエラーが発生すると、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取除くと、データエラーは復旧し、本製品は作画動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	I **** エラー []	データ受信中にエラーが発生しました。	プロッタとコンピュータとの通信条件を確認してください。	☞ 4.4 操作パネルのメニュー設定

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。


6.3.4 コマンドエラー表示と対処方法

本製品の動作中に、コマンドエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

コマンドエラーとは、コンピュータから本製品に送信されたコマンドデータの解析中に、何らかの障害が発生した場合に表示されます。

コマンドエラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取除くと、コマンドエラーは復旧し、本製品は作画動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	MH ** エラー []	コンピュータから不正なコマンドデータが送信されました。	コンピュータとプロッタのコマンド設定が合っているか確認してください。	【  】4.4 操作パネルのメニュー設定

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

6.3.5 再起動が必要なエラー

本製品の動作中に、再起動が必要なエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 本製品の駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 本製品の電気回路（基板、モータ、センサ等）が故障した場合
- 本製品の制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。連絡の際には、必ずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

番号	表示	内容	対策	参照
1	E ***エラー ○○○ ○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取除いてください。 2. 交換した部品が正しく取付けられているか確認してください。 3. プロッタの電源をオフにして、10 秒以上たってから再度電源をオンにしてください。 	<p>☞ 6.4 用紙が詰まった場合</p> <p>☞ 5.2 消耗品の交換</p>

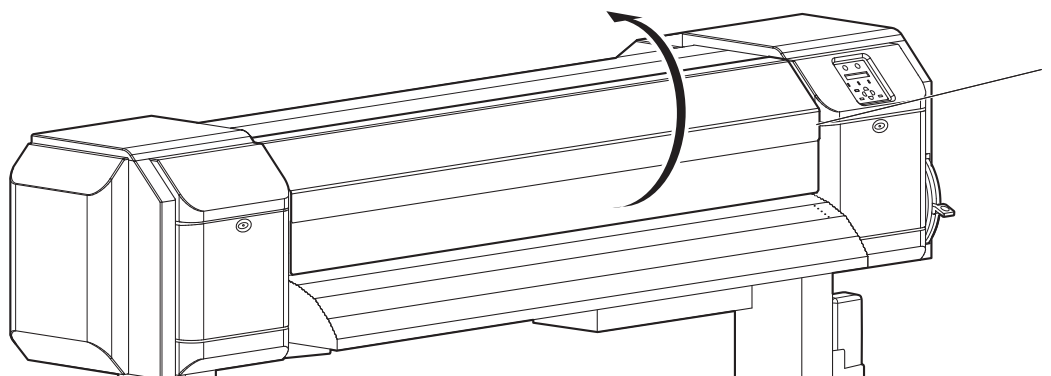
注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

6.4 用紙が詰まった場合

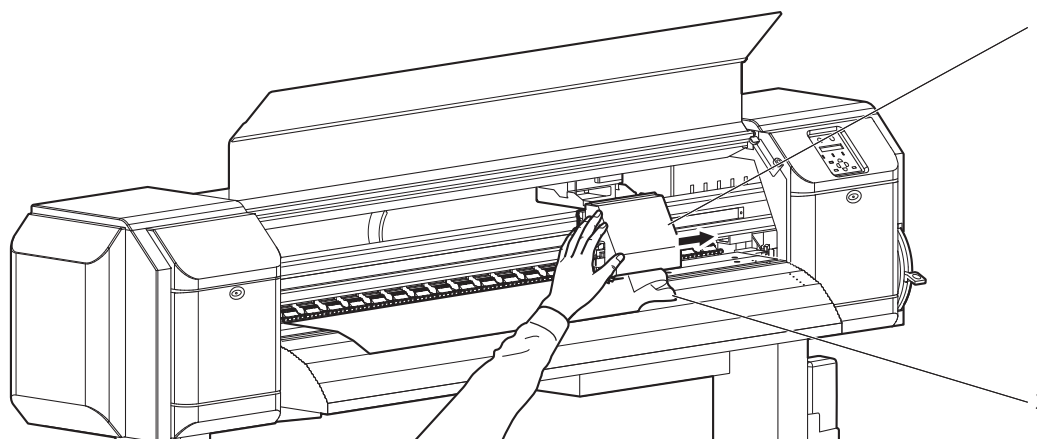
セットした用紙が詰まった場合は、以下の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。

1. 製品の電源を OFF します。
 ☞ 3.3.2 電源を OFF する方法
2. フロントカバーを開けます。



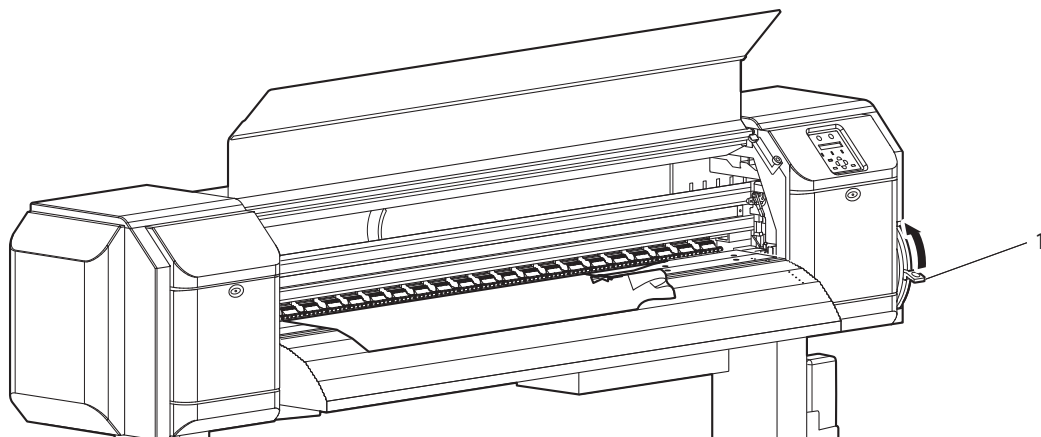
番号	名称
1	フロントカバー

3. プリントヘッド部を用紙上から右へ移動させます。



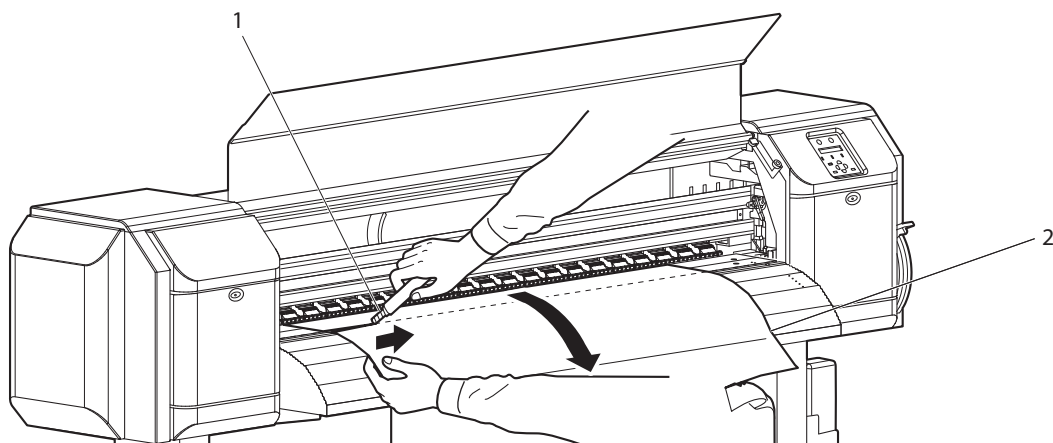
番号	名称
1	プリントヘッド部
2	ロール紙

4. 用紙セットレバーを上げます。



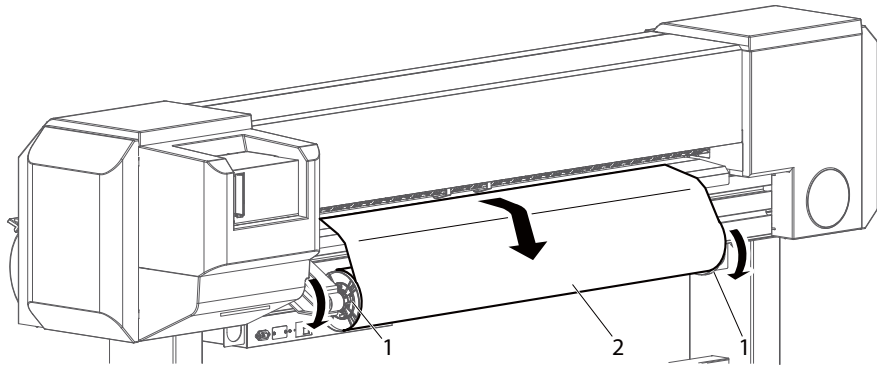
番号	名称
1	用紙セットレバー

5. 用紙を手前側に引出して、破れた部分をカッターナイフ等でカットします。



番号	名称
1	カッターナイフ
2	ロール紙

6. ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻取ります。



番号	名称
1	フランジ
2	ロール紙

7. 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取除きます。

7 付録

7.1	はじめに	7-1
7.2	製品仕様	7-2
7.3	インターフェイス仕様	7-3
7.3.1	ネットワーク・インターフェース仕様	7-3
7.4	オプション・サプライ用品リスト	7-4
7.4.1	オプション類	7-4
7.4.2	サプライ用品	7-4
7.5	ユーザサポート	7-5
7.5.1	製品に関するお問い合わせ窓口	7-5
7.5.2	テクニカルサポート連絡窓口	7-5
7.5.3	保守・修理に関するお問合せ窓口	7-6
7.6	改訂履歴	7-7

7 付録

7.1 はじめに

この章では、本製品の各仕様、オプション・サプライ用品、ユーザサポートについて説明します。

7.2 製品仕様

項目		仕様		
型式名称		AR-9100		
作画方式		オンデマンドピエゾ駆動方式		
駆動方式		ファームウェアサーボ / DC モータ駆動		
用紙搬送方式		多点加圧グリッドローラ方式		
用紙固定方式		手動レバーによる加圧ローラダウン方式		
用紙給排紙		後方給紙 / 前方排紙		
ロール紙外径		2 インチ : 103 mm 以下 3 インチ : 180 mm 以下		
最大用紙幅		1,625 mm		
最大印字幅		1,615 mm		
作画マージン		前 : 最大 15 mm、後 : 5 mm、 左 : 5 mm ~ 25 mm、右 : 5 mm ~ 25 mm		
用紙カット方式		横切りオートカット方式 / マニュアルカット方式		
ヘッド高さ調整		通常 / 高いの 2 段階調整		
CPU		64Bit RISC CPU		
メモリ		256MB		
コマンド		MH-GL、MH-GL2		
インターフェイス		ネットワーク・インターフェース (Ethernet IEEE802.3)		
インク	供給方式	独立カートリッジからのチューブ供給方式		
	カートリッジ	ブラック : 220 ml ± 5 ml		
環境条件		温度	湿度	
動作環境	動作環境		15 °C ~ 32 °C	20% ~ 65%、結露なきこと
	作画精度保証範囲		22 °C ~ 30 °C	40% ~ 60%、結露なきこと
	変化率		1 時間あたり 2 °C 以内	1 時間あたり 5% 以内
	保存環境	インク未充填時	- 20 °C ~ 60 °C	20% ~ 80%、結露なきこと
インク充填時		- 10 °C ~ 40 °C	20% ~ 80%、結露なきこと	
電源	電圧	AC 90 V ~ 264 V		
	周波数	50Hz / 60Hz ± 1Hz		
消費電力	待機時	27 W 以下		
	作画時	160 W 以下		
外径寸法	高さ	1,261 mm (専用スタンド含む)		
	幅	2,698 mm		
	奥行き	885.5 mm		
製品重量		150 kg (専用スタンド含む)		

7.3 インターフェイス仕様

本製品でサポートしている各種インターフェイスの仕様について説明します。

7.3.1 ネットワーク・インターフェース仕様

項目	仕様
ネットワークタイプ	Ethernet IEEE802.3
ネットワーク I/F	10BASE-T / 100BASE-TX 自動切替え式 (RJ-45 コネクタツイストペアケーブル) MDI / MDI-X 自動切替え
対応プロトコル	TCP/IP

7.4 オプション・サプライ用品リスト

7.4.1 オプション類

巻取小巻装置

名称	型番	販売単位
巻取小巻装置セット	AR90-ROL-16	1箱 (1組入り)

7.4.2 サプライ用品

(1) インクカートリッジ

名称	型番	販売単位
インクカートリッジ K (染料・ブラック)	AR-INKS-BK	1箱 (1本入り)
洗浄液	AR8500-CL	1箱 (1本入り)

(2) ロール紙

注 記

- 推奨用紙の詳細については「4.3.1 用紙種類」を参照してください。
- 推奨用紙以外の用紙の使用が原因となって発生した諸問題については、保証対象外となります。

(3) その他サプライ用品

名称	型番	販売単位
カッター交換刃	VJ-CB	1箱 (1本入り)

7.5 改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2018.7	00	AR9100-A-00	V.1.00

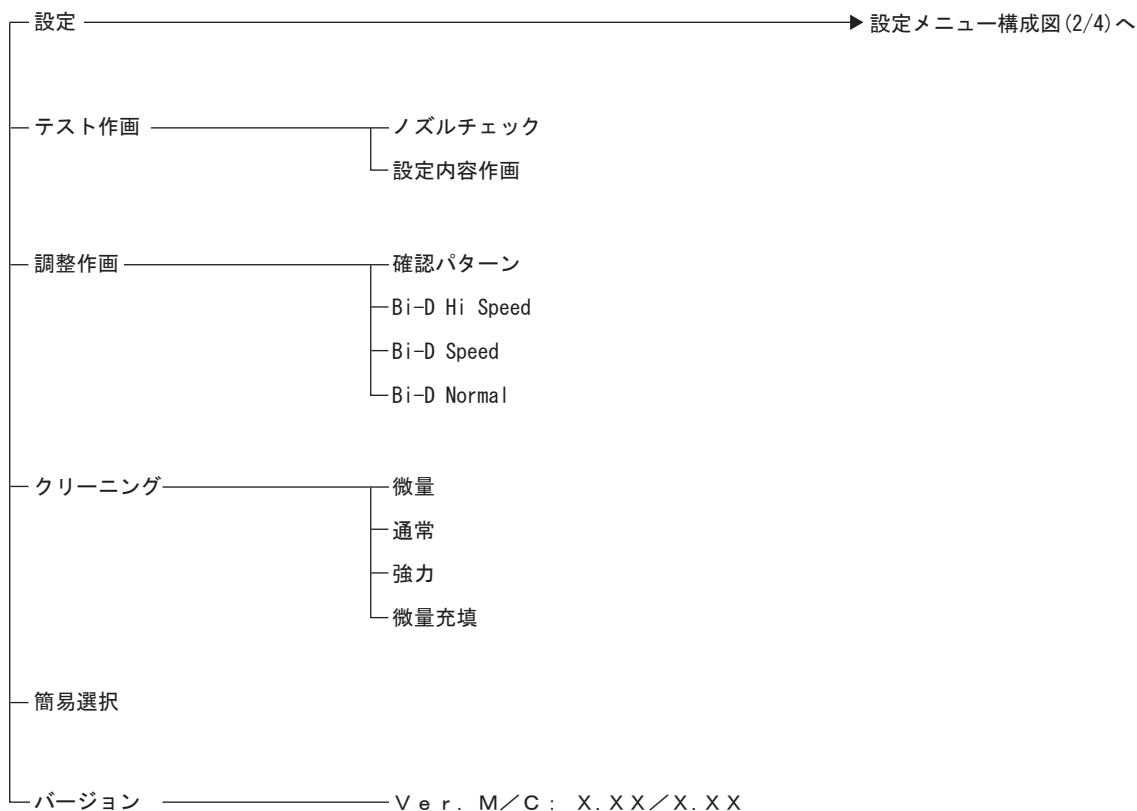
設定メニュー構成図

設定メニュー構成図については、以下を参照してください。

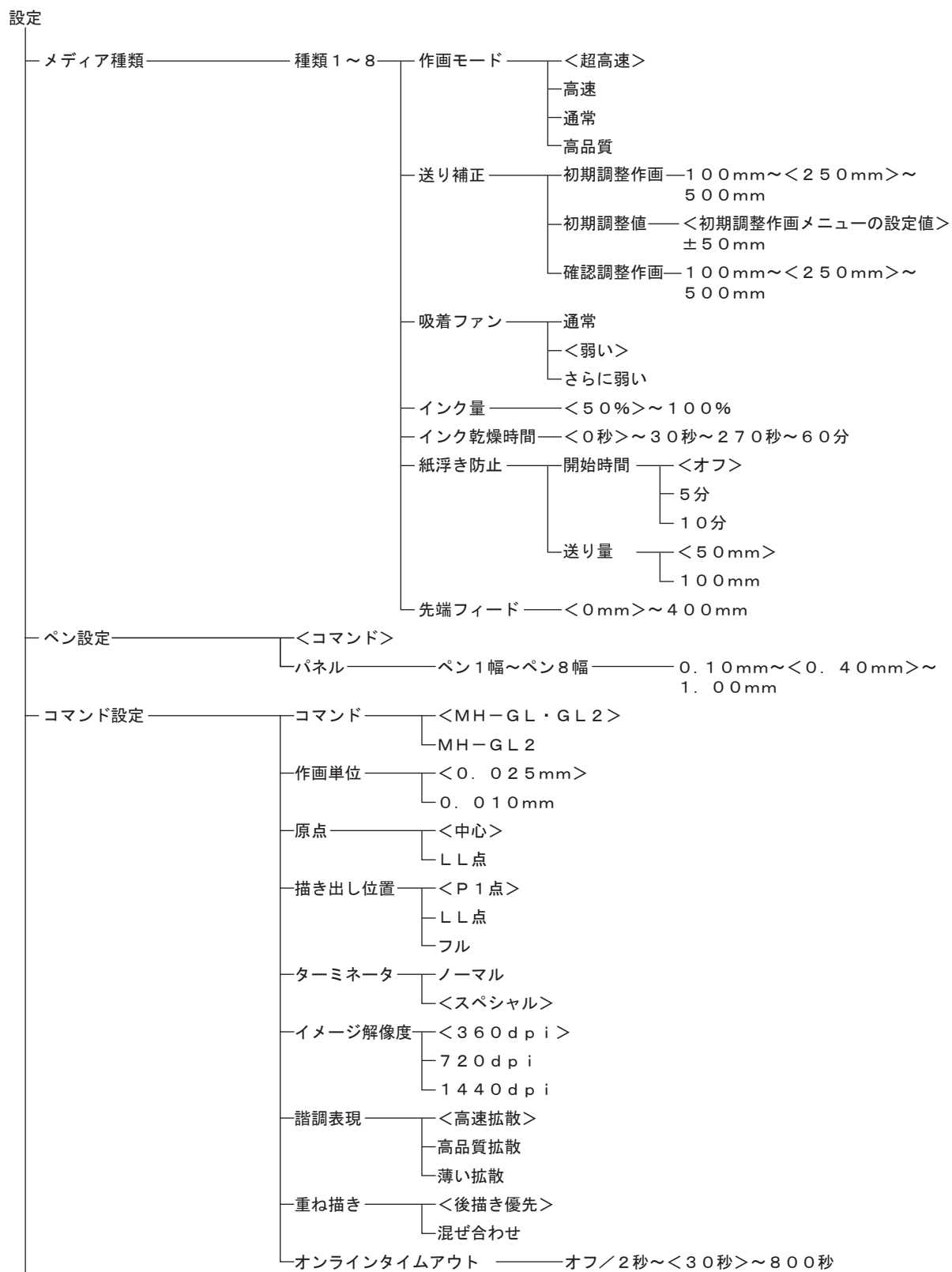
参 考

- 各設定項目の詳細については、「4.4 操作パネルのメニュー設定」を参照してください。
- <> 部は、工場出荷時の設定値 (初期値) です。

設定メニュー構成図 (待機中) (1/4)

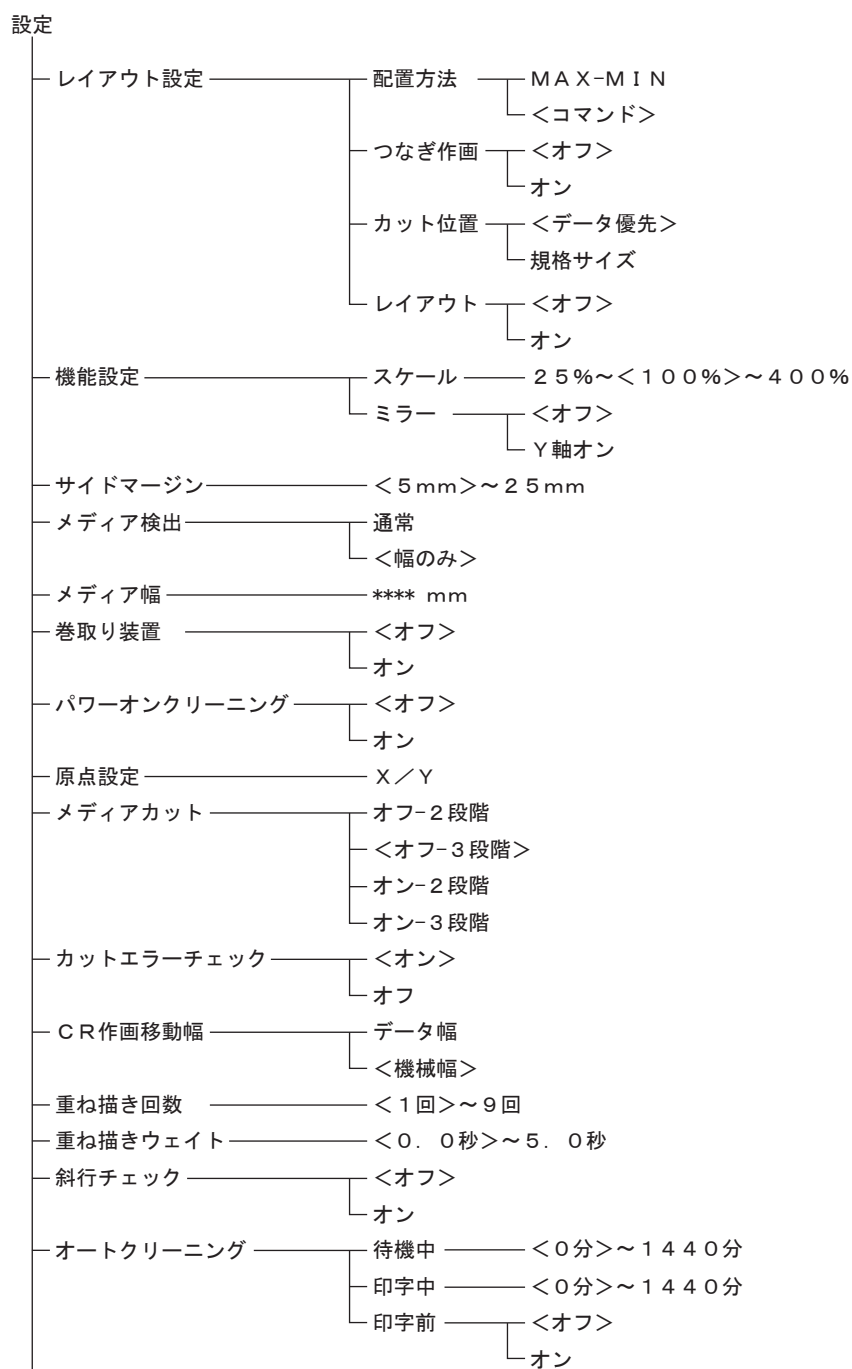


設定メニュー構成図（待機中）（2/4）



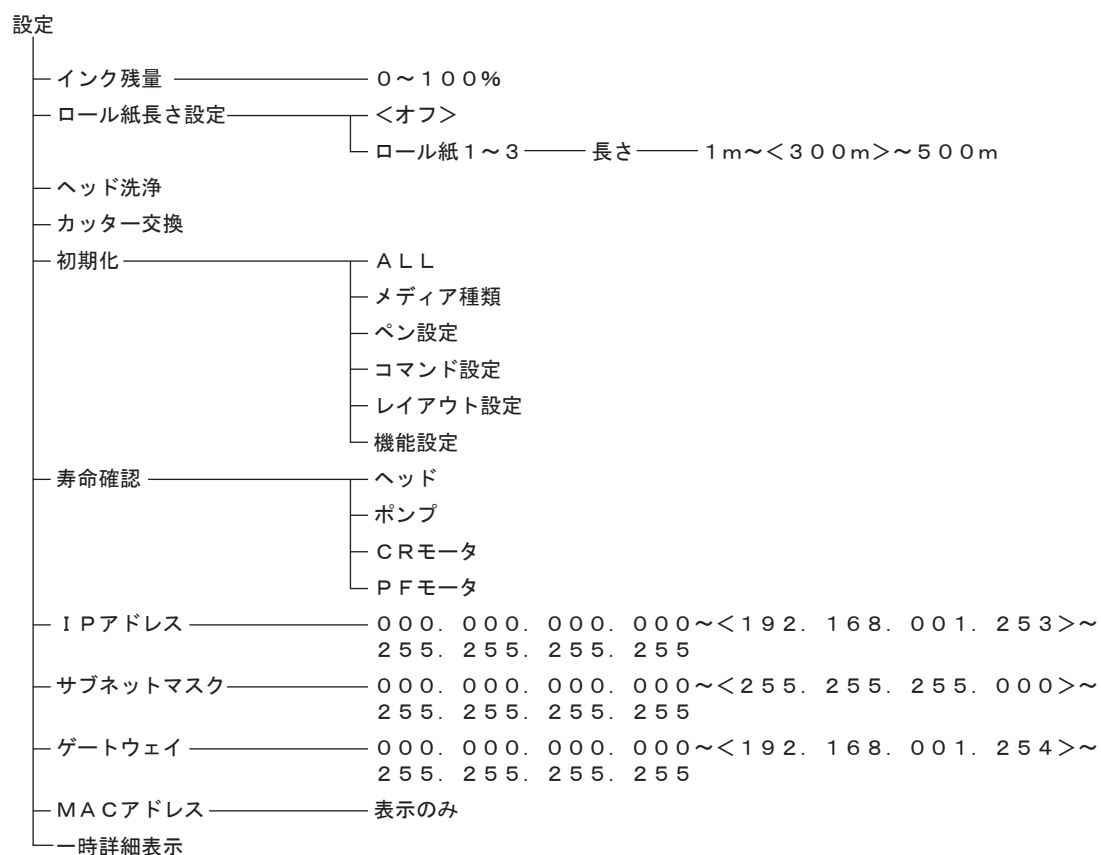
▶ 設定メニュー構成図(3/4)へ

設定メニュー構成図（待機中）（3/4）



▶ 設定メニュー構成図(4/4)へ

設定メニュー構成図（待機中）（4/4）



MUTOH

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000 (大代表)

- お問い合わせは
MUTOHホームページ (<http://www.mutoh.co.jp/>)
- ・製品案内 (<http://www.mutoh.co.jp/products/index.html>)
- ・製品サポート (<http://www.mutoh.co.jp/support/index.html>)